

令和5年度 部活動の地域移行のあり方検討委員会

日時 令和5年 12月6日(水) 15:00

場所 神戸市総合教育センター 701号室

議 事 次 第

1 開 会

開会あいさつ

2 委員紹介、委員委嘱

3 委員長あいさつ

4 協議・説明事項

(1)本市の現状

- ・ 令和5年度推進事業の報告

(2)今後の進め方について

(3)意見交換

(4)その他

5 事務連絡

6 閉 会

目 次

・部活動の地域移行のあり方検討委員会	委員名簿	P 1
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	開催要綱	P 2
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	傍聴要綱	P 3
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	第1回開催要項	P 4
・部活動の地域移行のあり方検討委員会	年間スケジュール	P 5

部活動の地域移行のあり方検討委員会 委員名簿

※敬称略 順不同

氏 名	役 職 等
あさ い ひろ ゆき 浅井 浩之	神戸市吹奏楽連盟 理事長
いし づか だい すけ 石塚 大輔	スポーツデータバンク(株) 代表取締役社長
お さか み ほ 小坂 美保	神戸女学院大学 体育研究室 准教授
みや ざわ きよ し 宮澤 清志	神戸市立中学校 PTA 連合会 会長
す どう こう じ 須藤 晃司	神戸市民文化振興財団 常務理事
なか た すすむ 中田 進	神戸総合型地域スポーツクラブ 全市連絡協議会 会長
わき いく ひろ 脇 郁博	神戸市スポーツ協会 常務理事
もり た ひろ ゆき 森田 啓之	兵庫教育大学大学院 生活・健康・情報系教育コース(保健体育) 教授
わ だ しん いち 和田 真一	神戸市立須佐野中学校長
あかまつ み な こ 赤松 三菜子	神戸市立高倉中学校長

部活動の地域移行のあり方検討委員会開催要綱

令和4年11月9日
教育長決定

(趣旨)

第1条 本市におけるこれまでの部活動の取組を検証するとともに、今後の部活動の地域移行のあり方について検討するため、部活動の地域移行のあり方検討委員会(以下「検討委員会」という。)を開催する。

(委員)

第2条 検討委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
 - (2) 前号に掲げる者のほか、教育長が特に必要があると認める者
- 2 委嘱する委員の人数は、20名以内とする。
- 3 前項の規定に関わらず、特別の事項を検討する必要がある場合、教育長は、臨時の委員を委嘱することができる。

(委嘱期間)

- 第3条 委員の委嘱期間は、委嘱の日から1年以内とする。
- 2 補欠の委員の委嘱期間は、前任者の残任期間とする。
- 3 臨時の委員は、その者の委嘱に係る当該特別の事項に関する検討が終了したときは、解嘱されるものとする。

(委員長及び副委員長の指名)

- 第4条 教育長は、委員の中から委員長及び副委員長を指名する。
- 2 委員長は、検討委員会の進行をつかさどる。
- 3 副委員長は、委員長に事故があるときは、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(検討委員会の公開)

- 第5条 検討委員会は、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合で、教育長が公開しないと決めたときは、この限りでない。
- (1) 神戸市情報公開条例(平成13年神戸市条例第29条)第10条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合
 - (2) 検討委員会を公開することにより公正かつ円滑な検討委員会の進行が著しく損なわれると認められる場合
- 2 検討委員会の傍聴については、教育長が別に定める。

(施行細目の委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の開催に必要な事項は、児童生徒担当部長が定める。

附 則(令和4年11月9日決裁)

この要綱は、令和4年11月10日より施行する。

部活動の地域移行のあり方検討委員会傍聴要綱

令和4年11月9日
教育長決定

(趣旨)

第1条 この要綱は、部活動の地域移行のあり方検討委員会開催要綱(令和4年11月9日決定)第5条第2項の規定に基づき、部活動の地域移行のあり方検討委員会の傍聴に関し必要な事項を定める。

(傍聴席の区分)

第2条 会場に傍聴席を設けるものとし、傍聴席は、一般席及び記者席に分ける。

(傍聴の手続)

第3条 会議を傍聴しようとする者は、傍聴章の交付を受け、着用しなければならない。

(傍聴章)

第4条 傍聴章は、会議当日所定の時間及び場所で、傍聴受付票に名前及び連絡先を記入することにより交付する。

2 所定の時間において第6条に定める定員を超えた場合は、傍聴受付票に記入した者の中から抽選を行い、傍聴章を交付する。

3 傍聴章の交付を受けた者は、交付を受けた日に限り、一般席で傍聴することができる。

(傍聴章の返還)

第5条 傍聴章の交付を受けた者は、傍聴を終え、退場しようとするときは傍聴章を返還しなければならない。

(傍聴人の定員)

第6条 一般席の傍聴人の定員は20人とする。ただし、委員長が特に決める場合は、この限りではない。

(傍聴席に入ることができない者)

第7条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 会議の妨害となると認められる器物等を携帯している者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるものを持っている者

(傍聴人の守るべき事項)

第8条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会議における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 騒ぎ立てないこと。
- (3) 飲食又は喫煙を行わないこと。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、会議の秩序を乱し、又は妨害となるような行為をしないこと。

(撮影及び録音等の禁止)

第9条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に教育委員会事務局児童生徒担当部長の許可を得た者は、この限りではない。

(傍聴人の退場)

第10条 傍聴人は、会議を非公開とする決定があったときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第11条 傍聴人は、すべて事務局職員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第12条 傍聴人がこの要綱に違反するときは、委員長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附 則(令和4年11月9日決裁)

この要綱は、令和4年11月10日より施行する。

(参考1)傍聴章

(参考2)傍聴受付票

部活動の地域移行のあり方検討委員会
傍聴章
No. _____

傍聴受付票(No. _____)	
【会議名】第 回 部活動の地域移行のあり方検討委員会	
【開催日】令和 年 月 日()	
名前	連絡先

令和5年度 部活動の地域移行のあり方検討委員会 第1回開催要項

1 趣 旨

本市におけるこれまでの部活動の取組を検証するとともに、今後の部活動の地域移行のあり方について検討するため、部活動の地域移行のあり方検討委員会を開催する。

2 日 時 令和5年12月6日(水)15:00～17:00

3 場 所 総合教育センター7階 701号室

4 委 員 別紙委員名簿参照

5 内 容

(1)開 会

(2)委員紹介

(3)協議・説明事項

- ① 本市の現状
- ② 今後の進め方について
- ③ 意見交換
- ④ その他

(4)事務連絡

(5)閉 会

今後の予定(案)

日程(令和5年度)	主な内容	備考
12月6日(水) 15:00~17:00	第1回 検討委員会 ① 本市の現状 ② 今後の検討の進め方	神戸市総合教育センター 701 会議室
3月上旬	第2回 検討委員会 ① R5の検討事項の総括 ② R6以降の検討課題の集約	場所未定

調査1 対象：児童生徒 期間 令和5年2月3日～3月17日

	小学校6年生	中学校1・2年生	合計
回答数/対象数	9,364 / 12,671人	16,766 / 22,514人	26,130 / 35,185人
回答率	73.9 %	74.5 %	74.3 %

調査2 対象：保護者 期間 令和5年2月3日～3月17日

	小学校6年生の保護者	中学校1・2年生の保護者	合計
回答数/対象数	6,617 / 12,671人	11,423 / 22,514人	18,040 / 35,185人
回答率	52.2 %	50.8 %	51.3 %

※ 回答率は、児童生徒1人あたり1つの回答とした場合

調査3 対象：学校関係者（校長・教頭、教員） 期間 令和4年12月22日～令和5年3月17日

	小学校管理職	中学校管理職	特別支援学校管理職	合計
回答数／対象数	303 / 329 人	195 / 170 人	20 / 18 人	518 / 517 人
回答率	92.1%	114.7%	111.1%	100.2%
	小学校教員	中学校教員	特別支援学校教員	合計
回答数／対象数	2,007 / 4,466 人	1,836 / 2,407 人	425 / 600 人	4,268 / 7,473 人
回答率	44.9%	76.3%	70.8%	57.1%

調査4

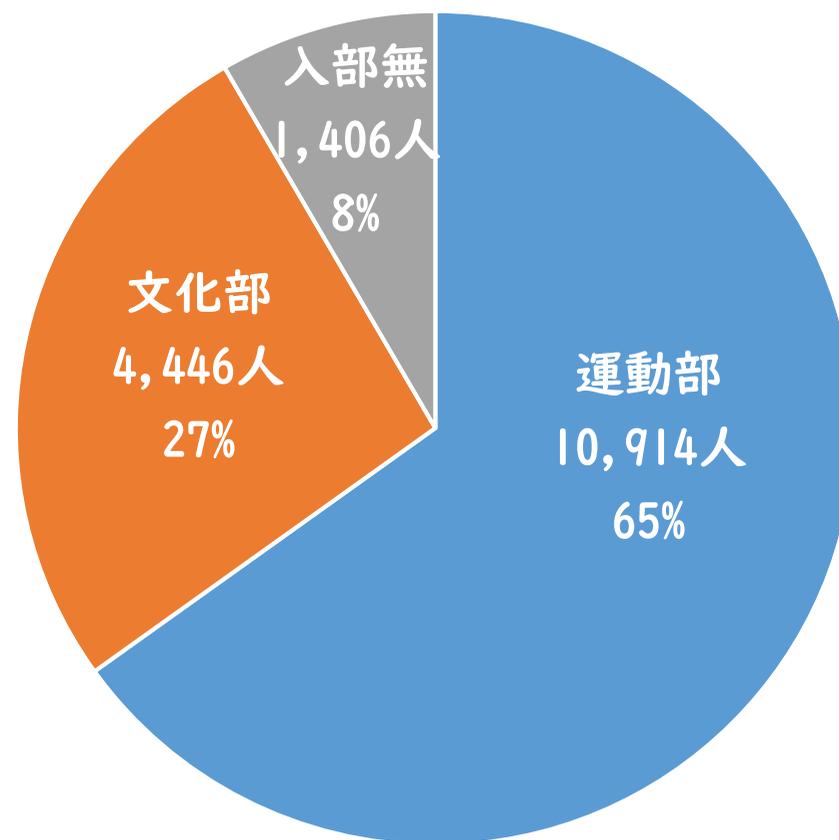
対象：休日部活動の受け皿を担っていただくことが想定されるスポーツ団体や文化芸術団体等

時期：令和5年3月中に発送予定（次回検討委員会において集計結果の説明）

調査内容：別紙参照のこと

アンケート回答者の入部状況

【16,766人回答】



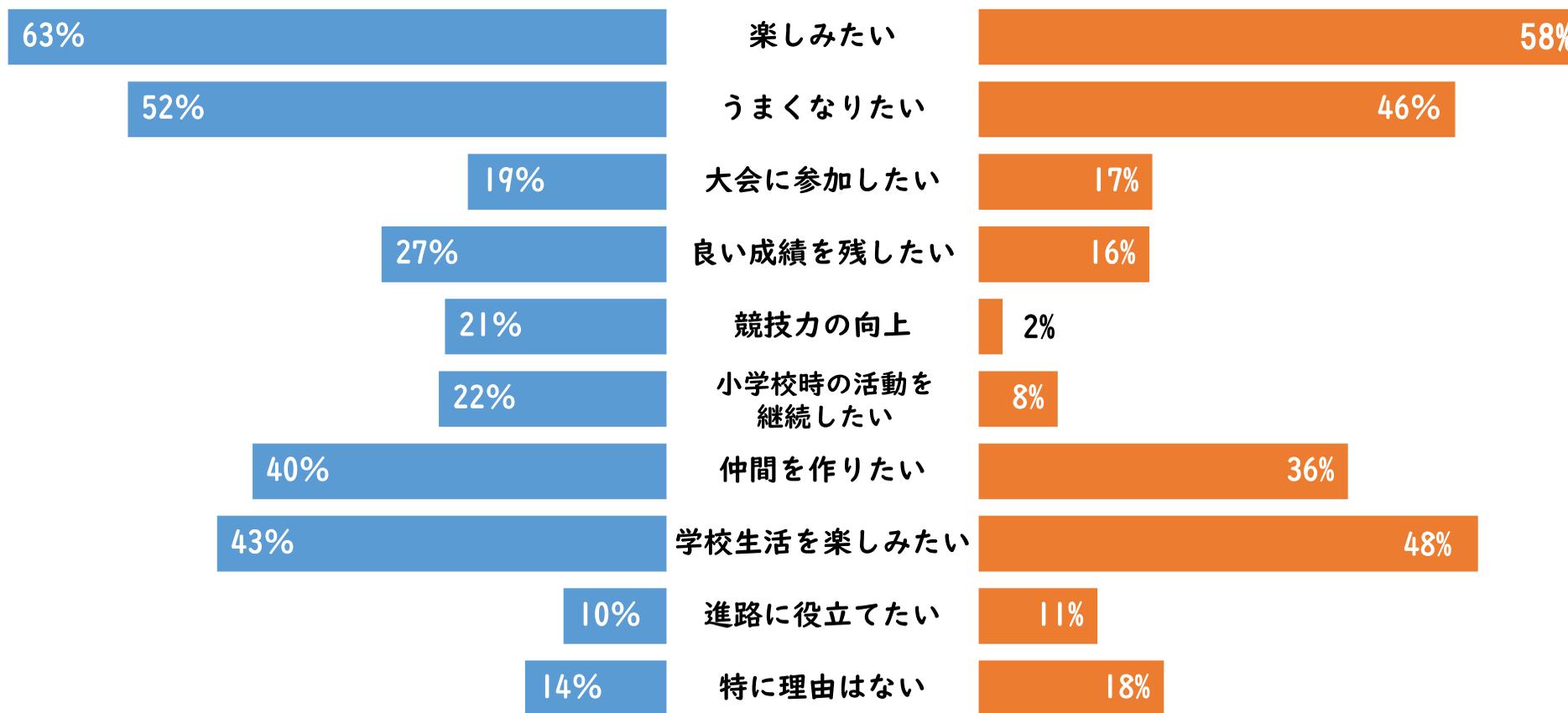
中学校部活動に入部した理由（複数回答）【15,139人回答】

運動部

【運動部 10,843人回答】

文化部

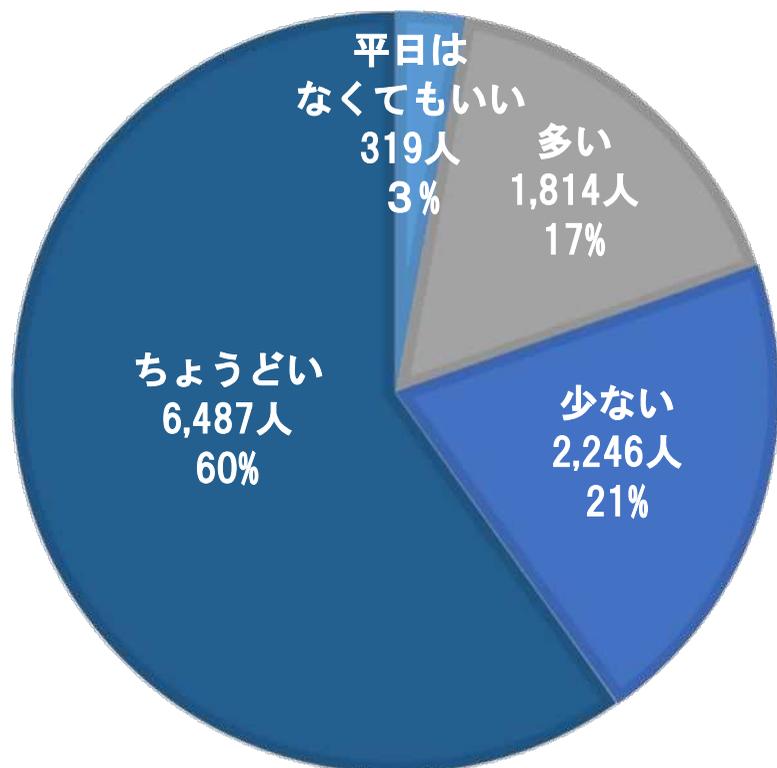
【文化部 4,426人回答】



平日の活動の日数や時間をどう思っているか

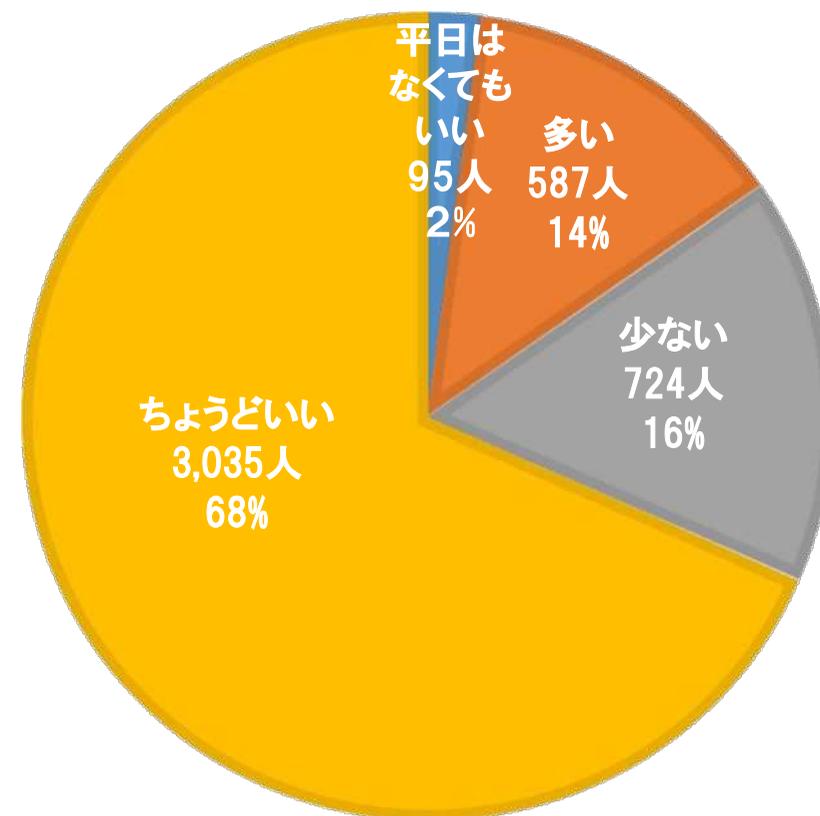
運動部

【運動部 10,866人回答】



文化部

【文化部 4,441人 回答】



平日の活動を多い・なくてもよいと思っている理由

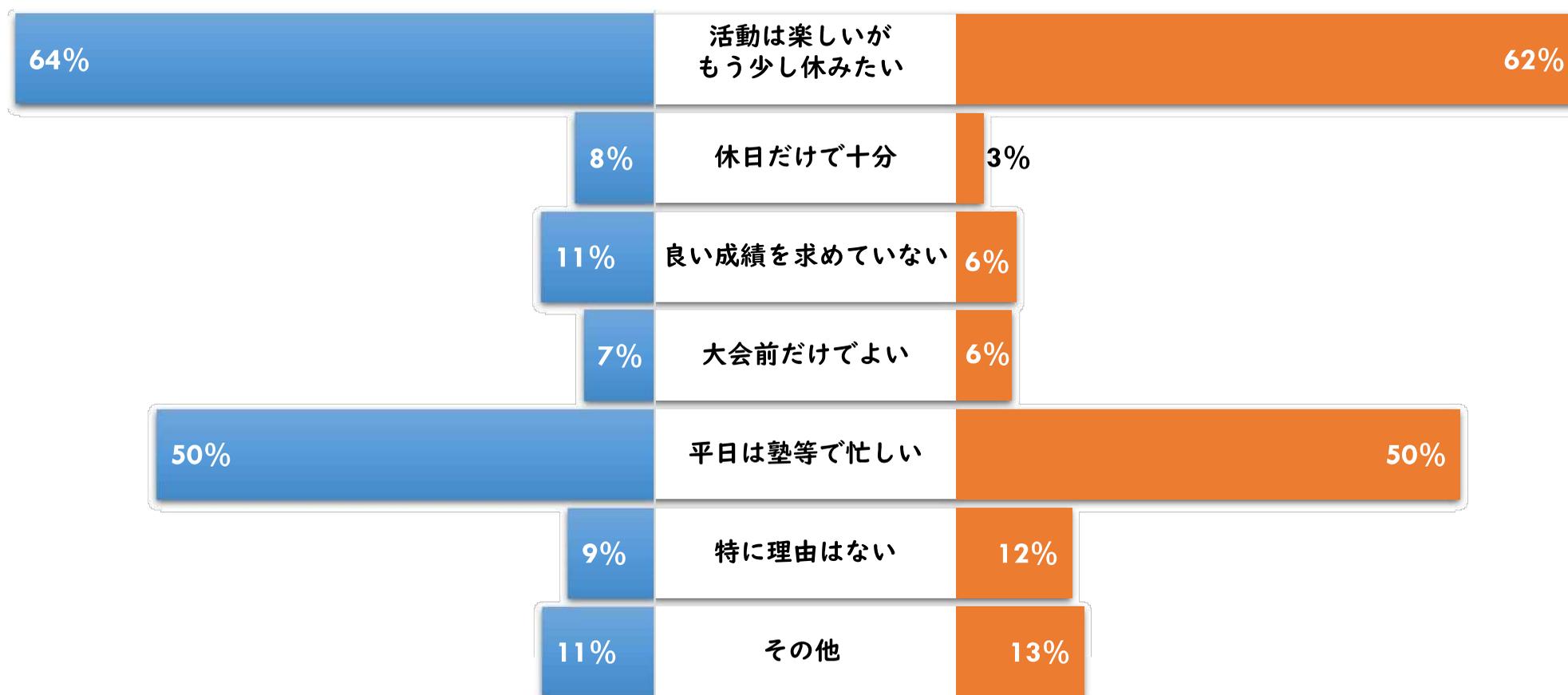
【2,769人回答】

運動部

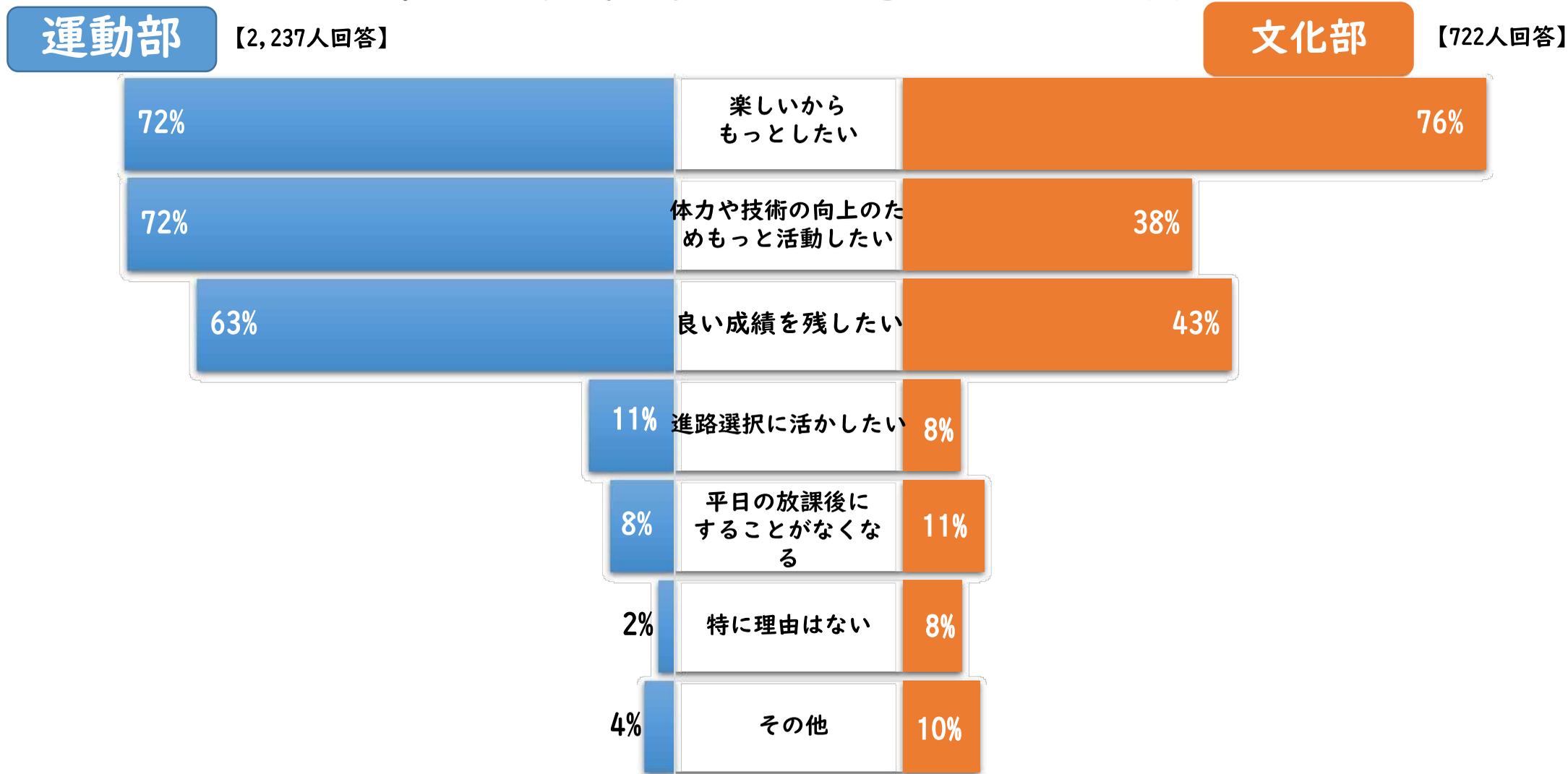
【運動部 2,121人 回答】

文化部

【文化部 1,023人回答】



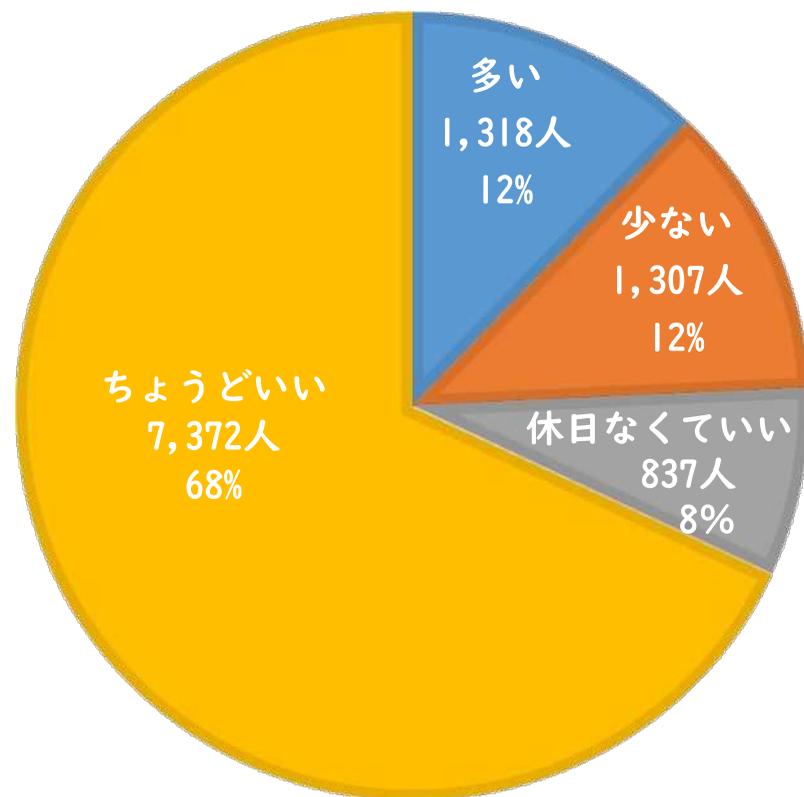
平日の活動を少ないと思っている理由



休日の活動の日数や時間をどう思っているか

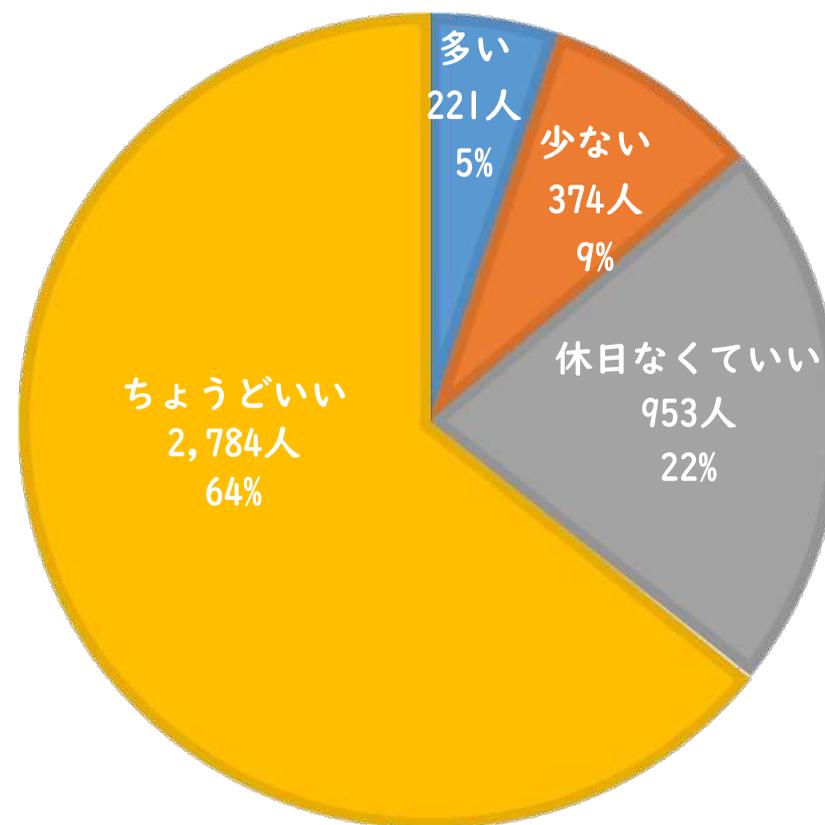
運動部

【10,834人回答】



文化部

【4,332人回答】



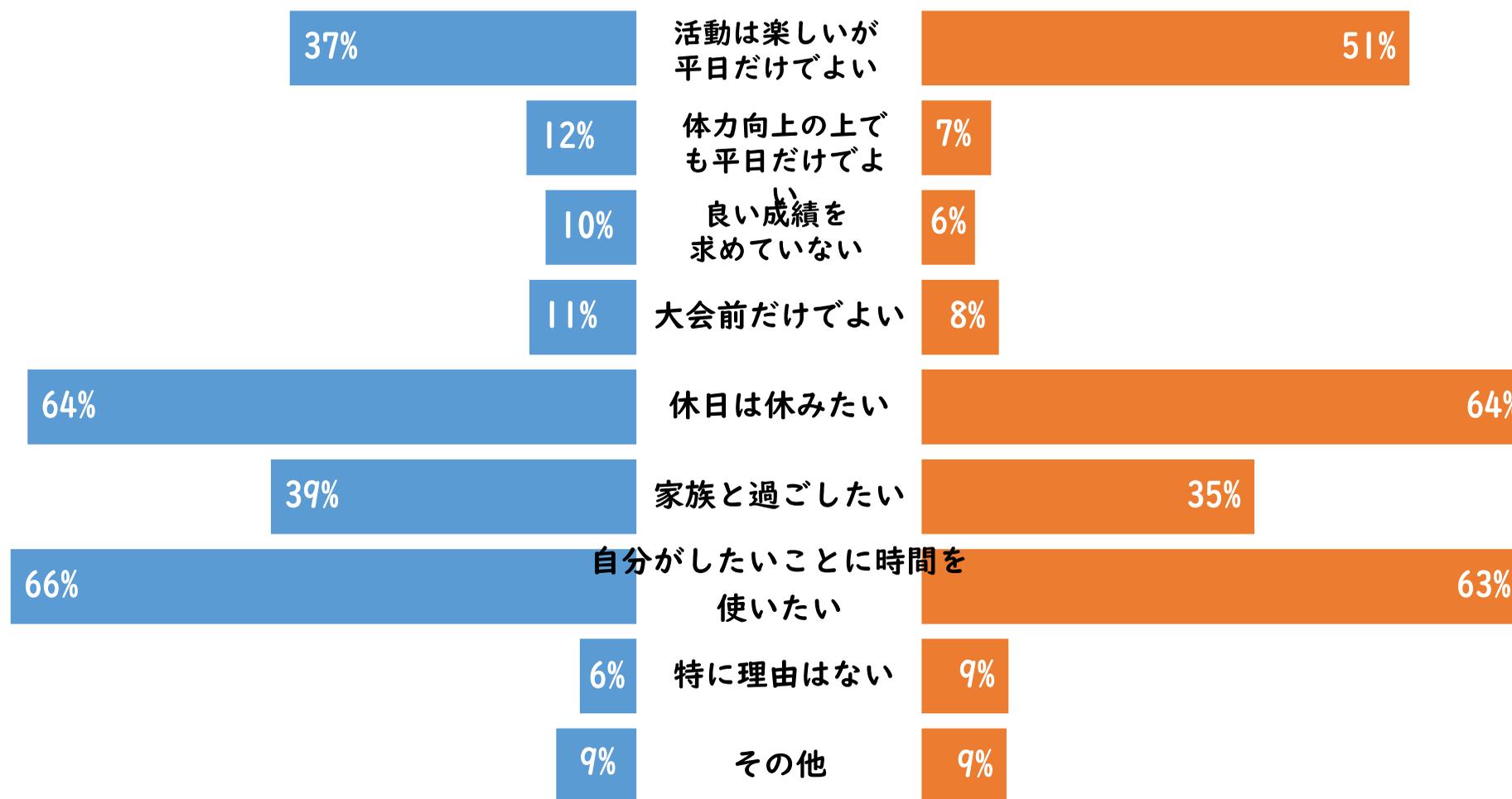
休日の活動を多い・なくてもよいと思っている理由【8,292回答】

運動部

【2,131回答】

文化部

【1,153回答】



休日の活動を少ないと思っている理由

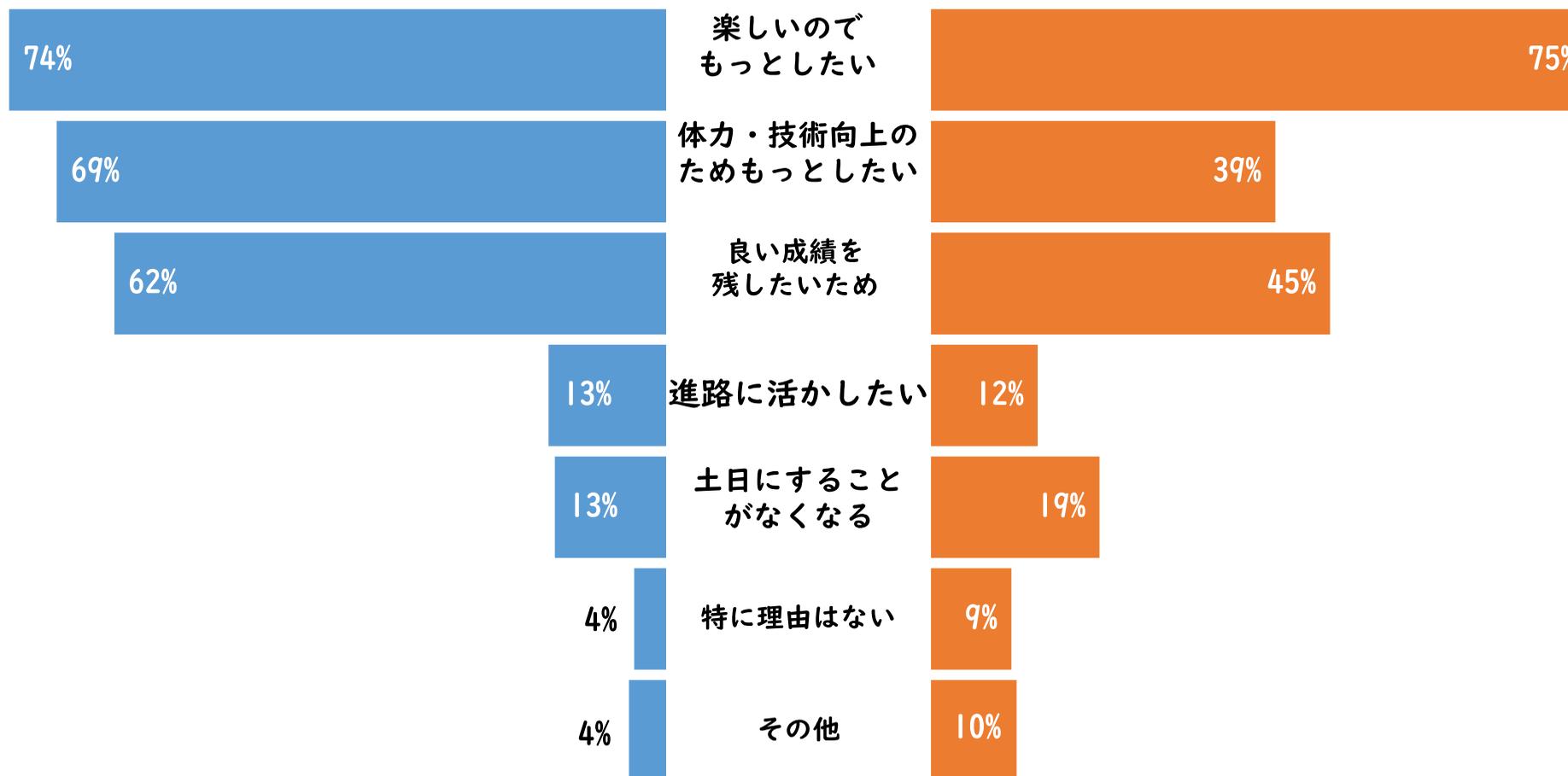
【1,661人回答】

運動部

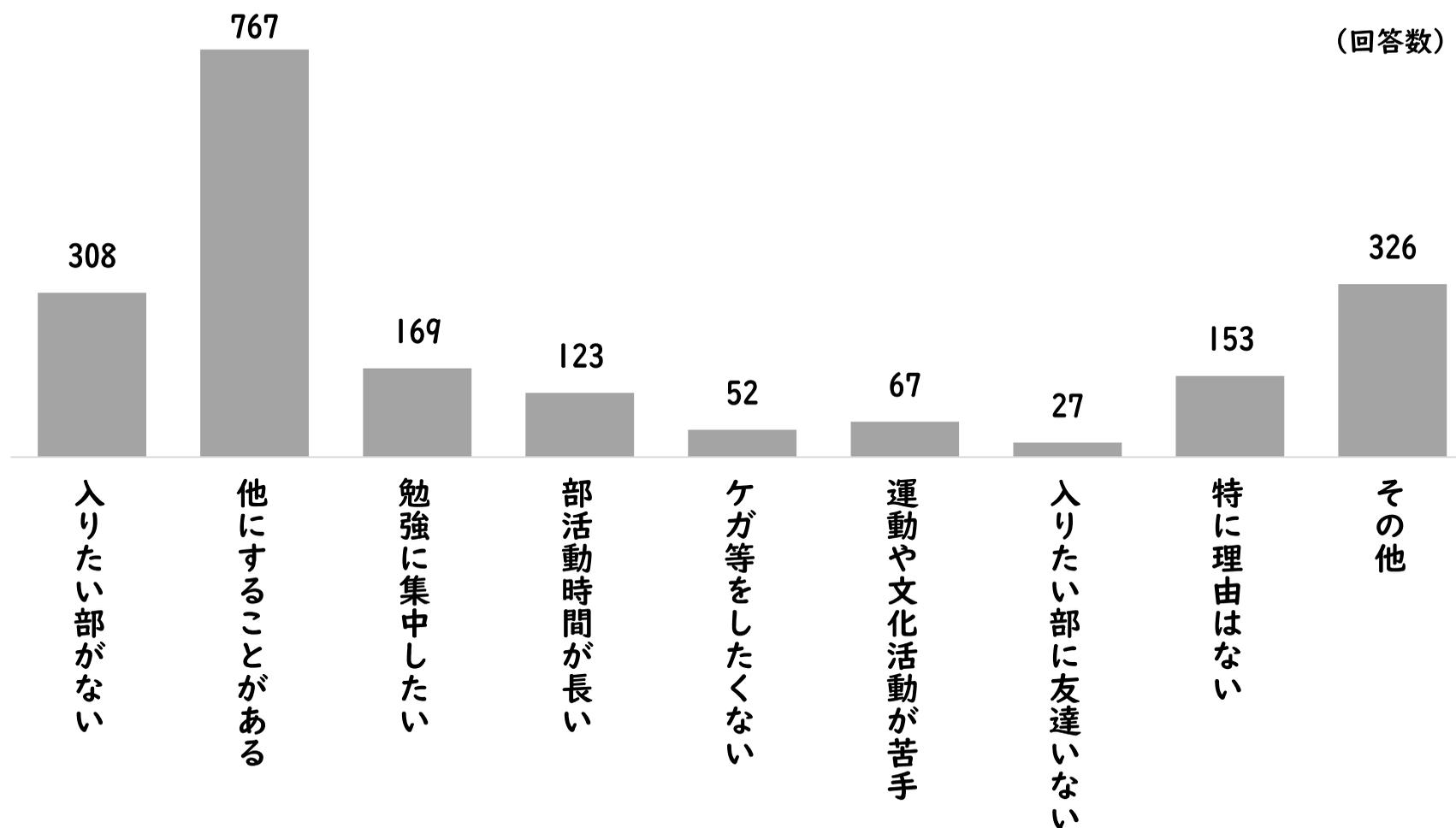
【1,301人回答】

文化部

【373人回答】



学校部活動に入部していない理由（複数回答） 【1,388人回答】



中学校部活動の地域移行に関するアンケート（中学生）

BE KOBE

学校部活動以外で取り組んでいる活動（その他を除く上位20活動 複数回答）（回答数）

運動部所属 回答者数2,566人

文化部所属 回答者数 1,070人

所属なし 回答者数 919人

合計 回答者数 4,555人

1ピアノ・楽器	333
2書道	313
3バスケットボール	273
4ダンス	258
5ソフトテニス	180
6ESS・英会話	165
7サッカー	164
8水泳競技	156
9バレーボール	141
10硬式野球	121
11卓球	112
12陸上競技	69
13硬式テニス	64
14剣道	60
15柔道	43
16体操競技	39
17軟式野球	31
18バドミントン	30
19コンピュータ	23
20美術・絵画	20

1ピアノ・楽器	393
2書道	224
3ダンス	125
4ESS・英会話	96
5水泳競技	85
6美術・絵画	57
7硬式テニス	37
8サッカー	33
9コーラス・合唱	28
10コンピュータ	27
11演劇	21
12体操競技	20
13硬式野球	19
14家庭科・料理	15
15工作・ものづくり	15
16剣道	13
17バドミントン	12
18情報研究	10
19柔道	9
20バスケットボール	8

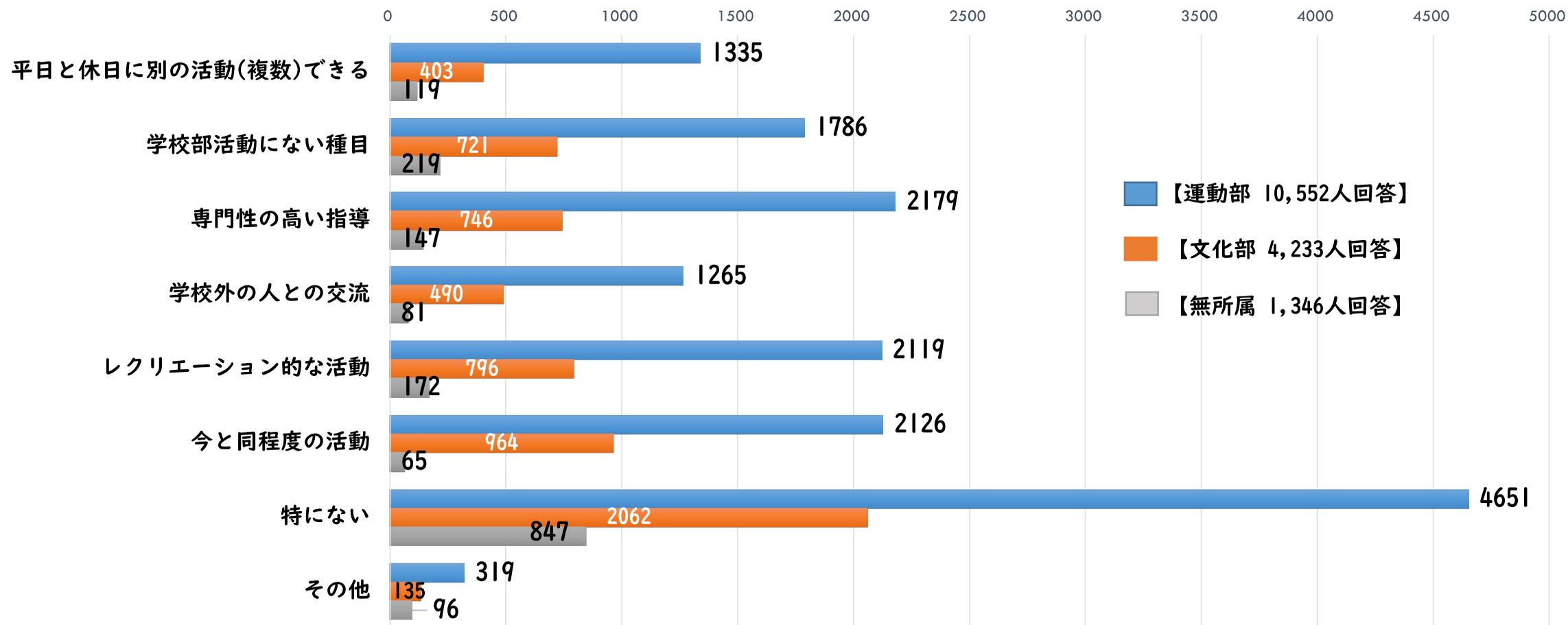
1サッカー	380
2硬式野球	192
3ダンス	58
4ピアノ・楽器	57
5書道	46
6ESS・英会話	39
7水泳競技	38
8硬式テニス	25
9バレーボール	13
10バスケットボール	12
11軟式野球	12
12演劇	11
13美術・絵画	10
14体操競技	10
15コンピュータ	7
16コーラス	7
17剣道	4
18家庭科・料理	3
19柔道	3
20卓球	3

1ピアノ・楽器	783
2書道	583
3サッカー	577
4ダンス	441
5硬式野球	332
6ESS・英会話	300
7バスケットボール	293
8水泳競技	279
9ソフトテニス	187
10バレーボール	154
11硬式テニス	126
12卓球	120
13美術・絵画	87
14陸上競技	77
15剣道	77
16体操競技	69
17コンピュータ	57
18柔道	55
19コーラス・合唱	47
20軟式野球	46

地域クラブ活動において、かなえて欲しいと思うこと（複数回答）

【15,996人回答】

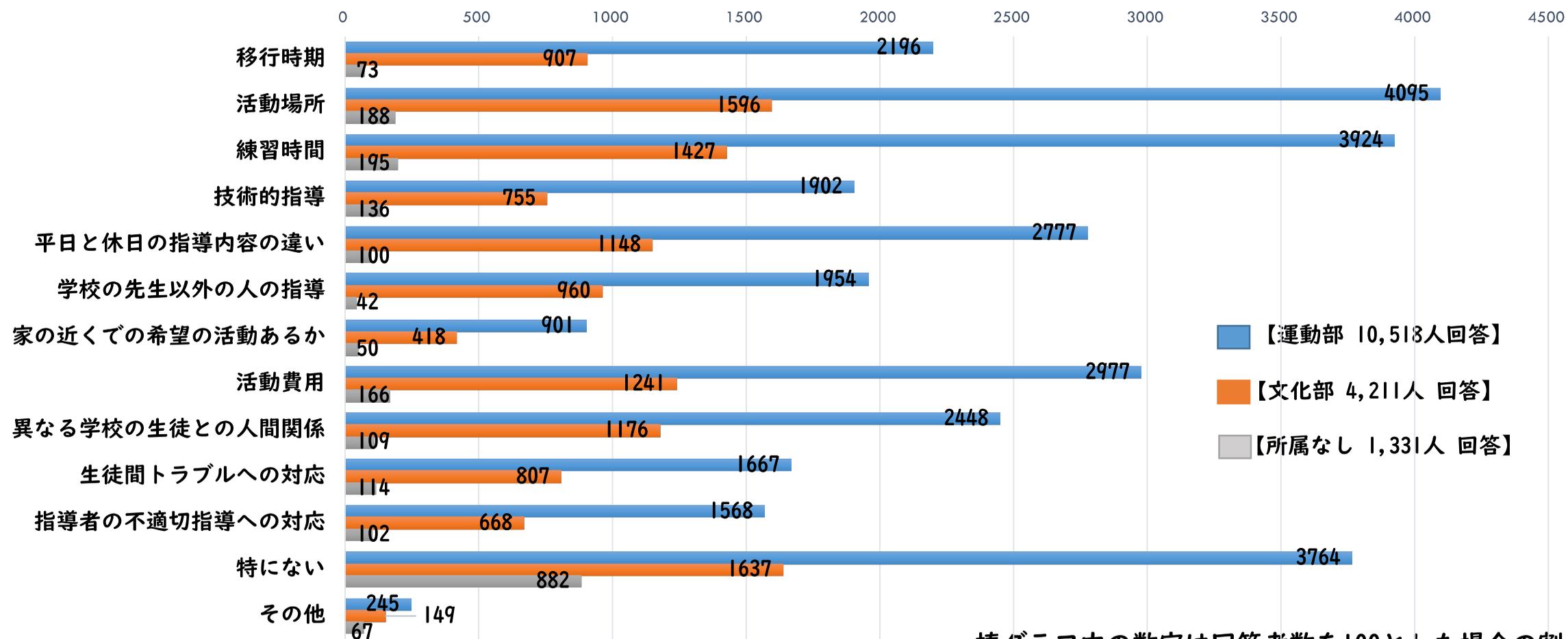
(回答数)



中学校部活動の地域移行に関するアンケート（中学生）

BE KOBE

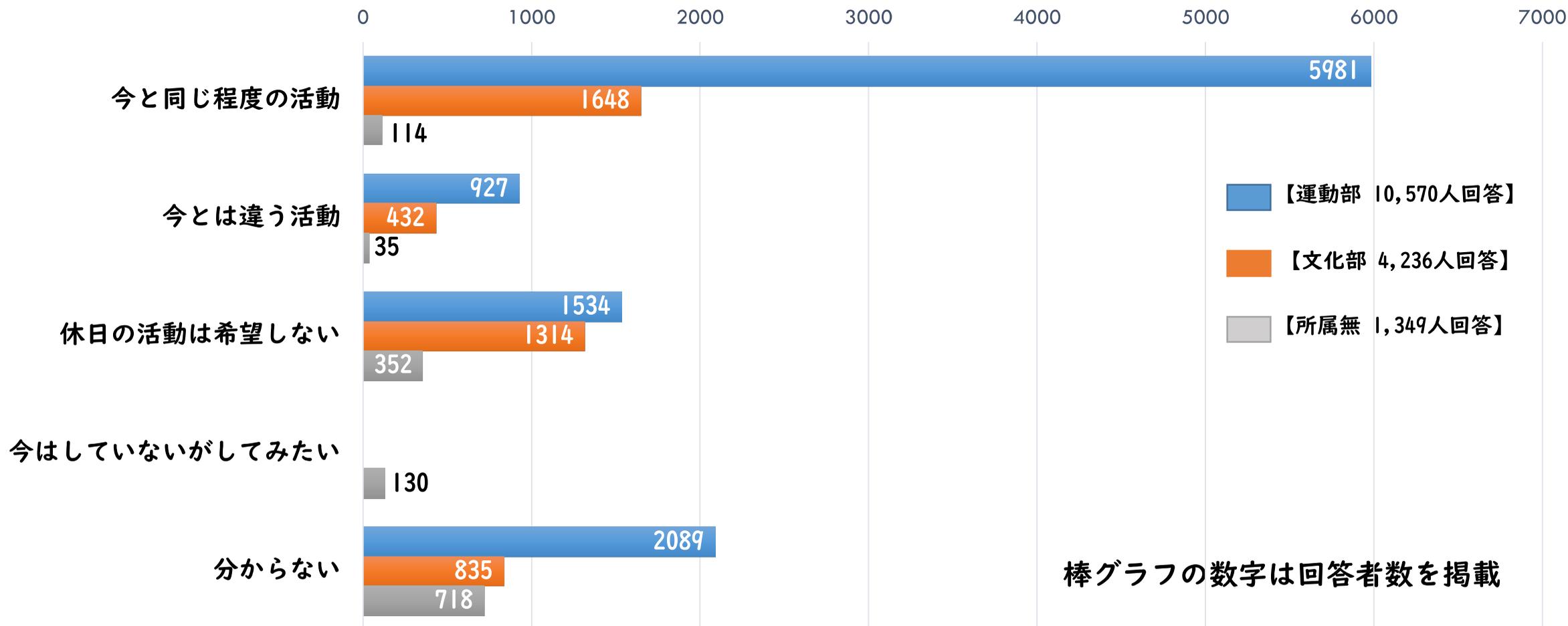
地域クラブ活動において、心配や不安に思うこと（複数回答） 【16,060 回答】
（回答数）



棒グラフ内の数字は回答者数を100とした場合の割合

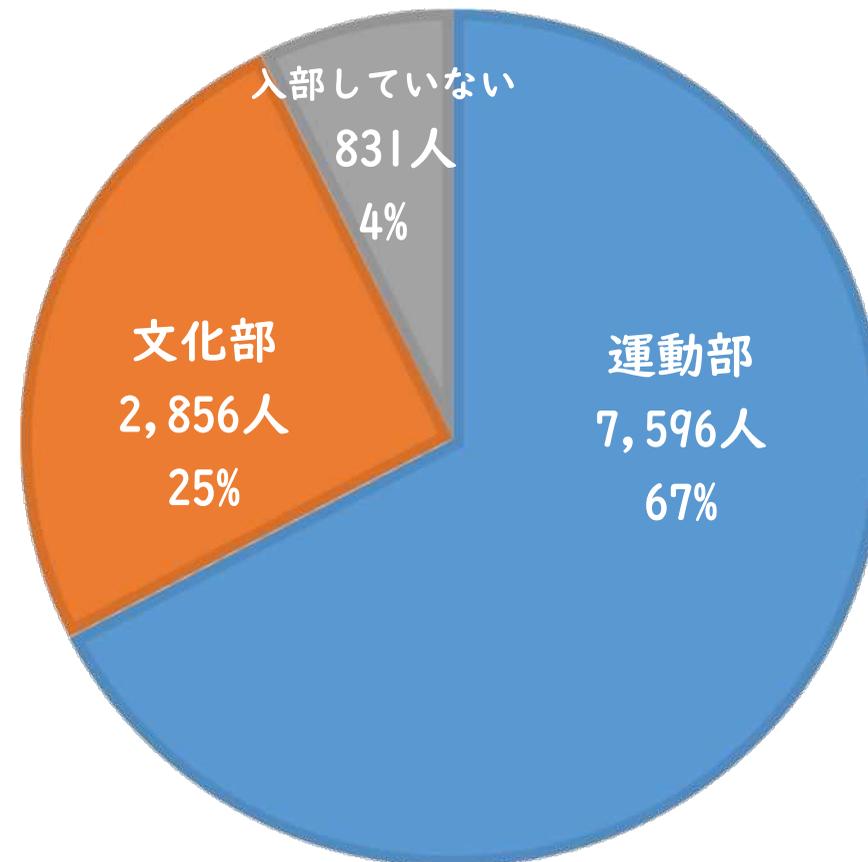
地域移行後の、あなたの希望に近いものは

(人)



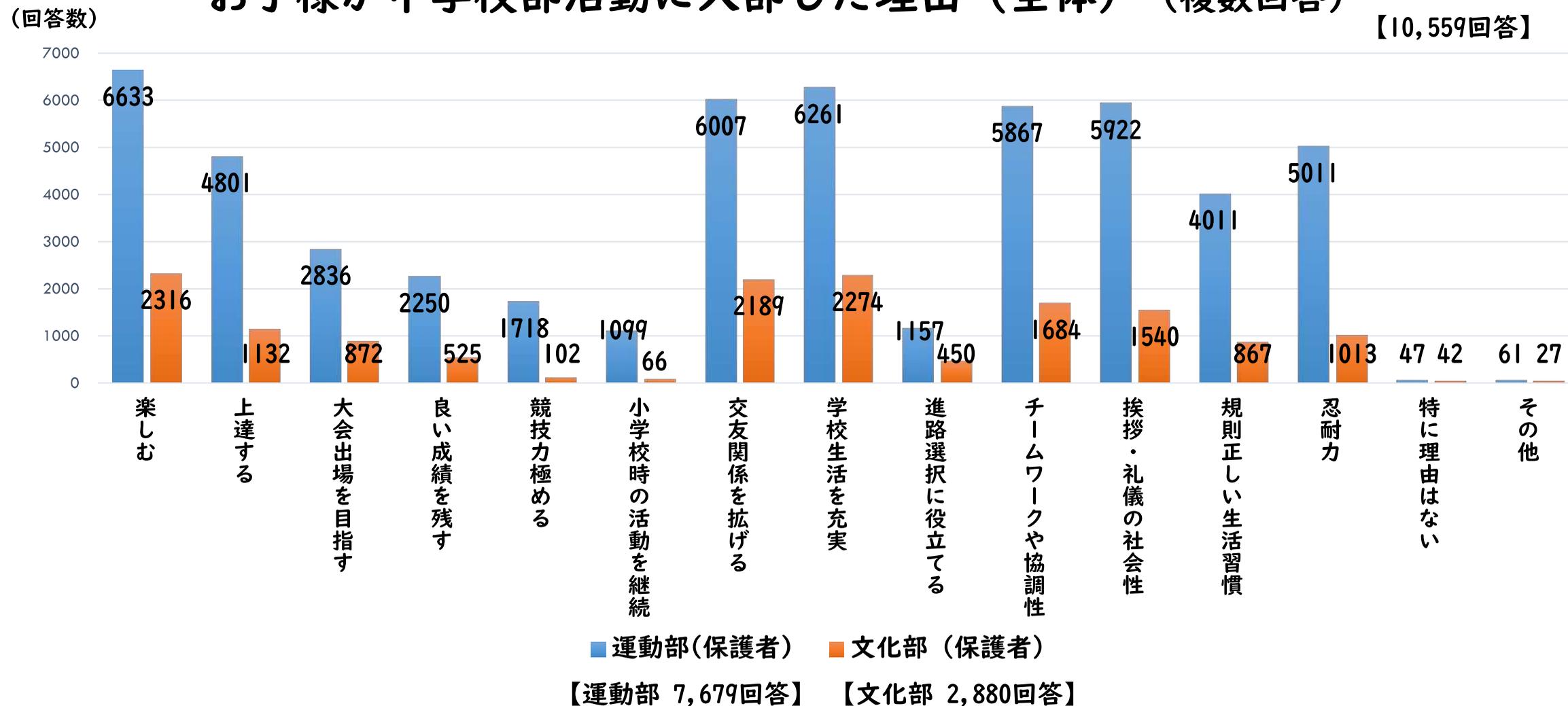
アンケート回答者のお子様の入部状況

【11,423人回答】

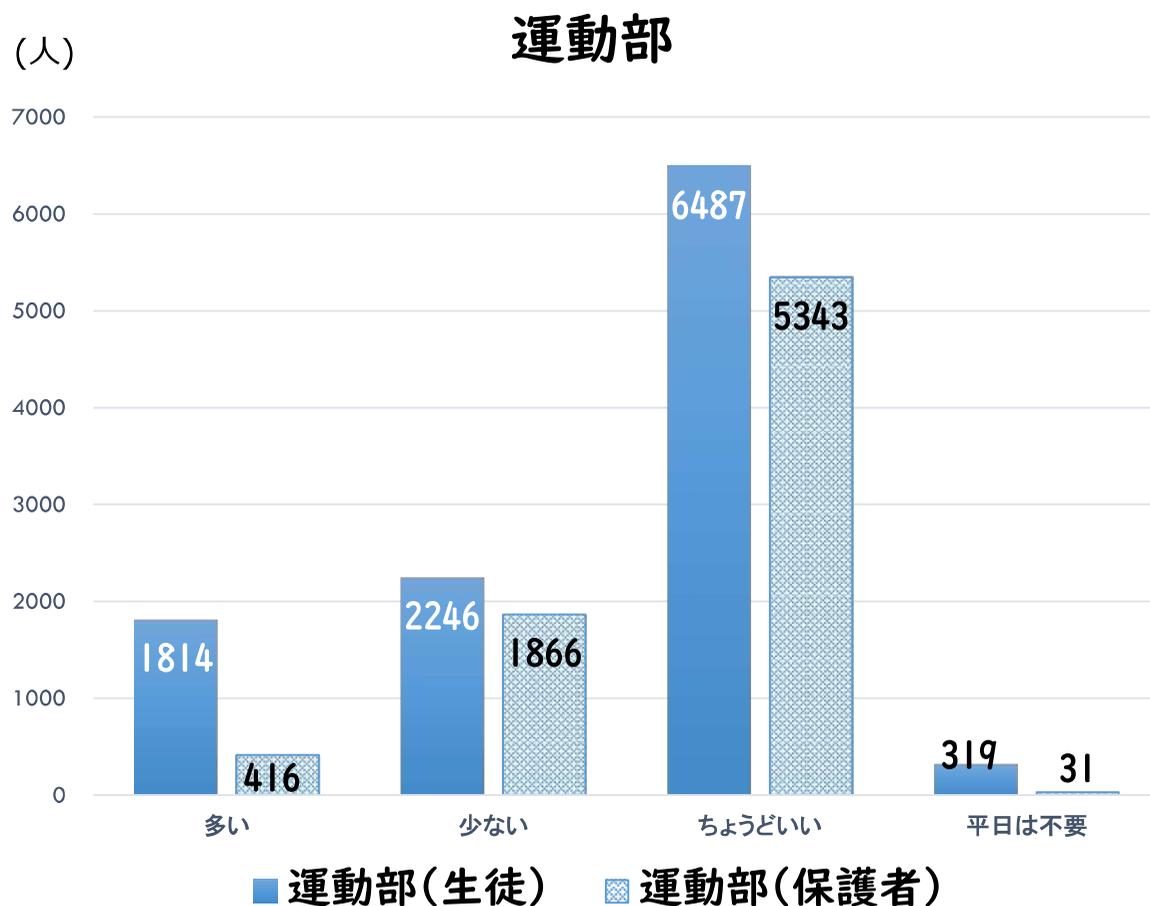


お子様が中学校部活動に入部した理由（全体）（複数回答）

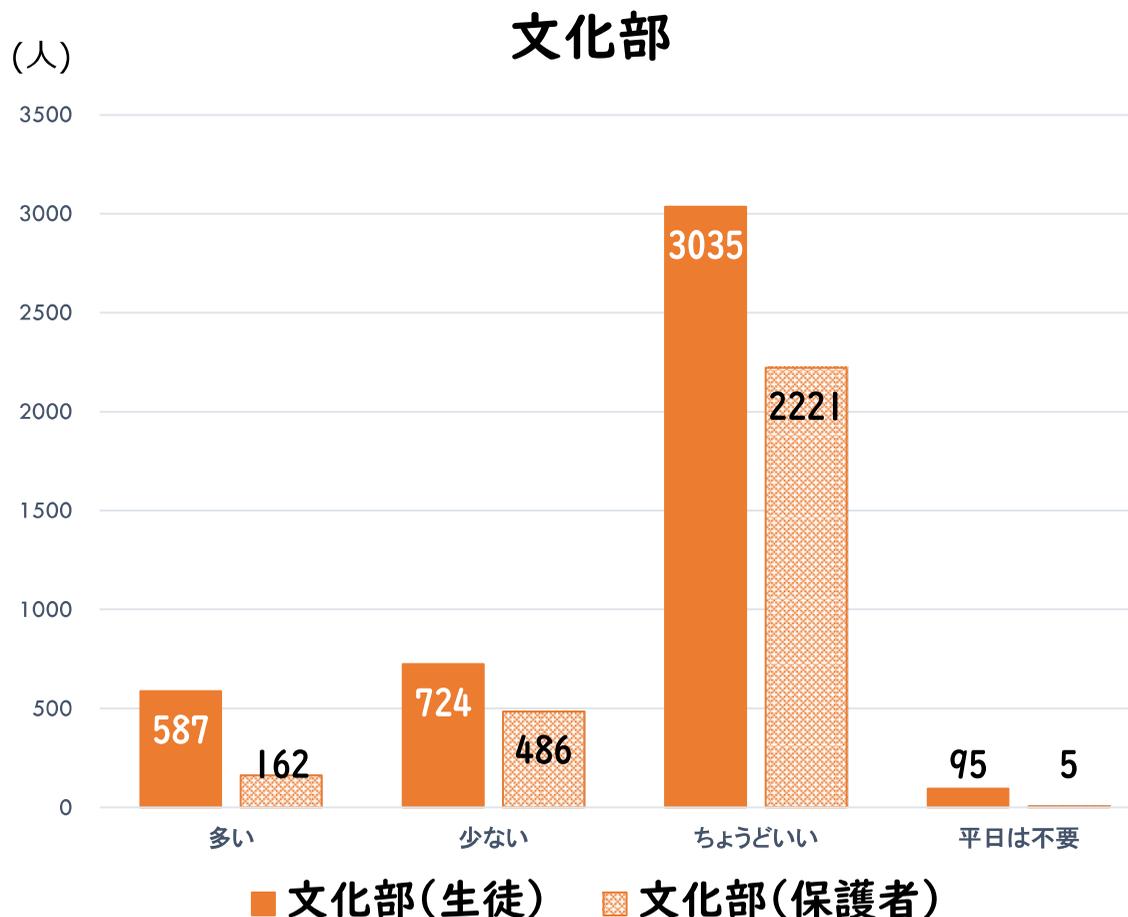
【10,559回答】



平日の活動の日数や時間をどう思っているか(生徒と保護者の比較)



【運動部生徒 10,866人回答】 【運動部保護者 7,656人回答】

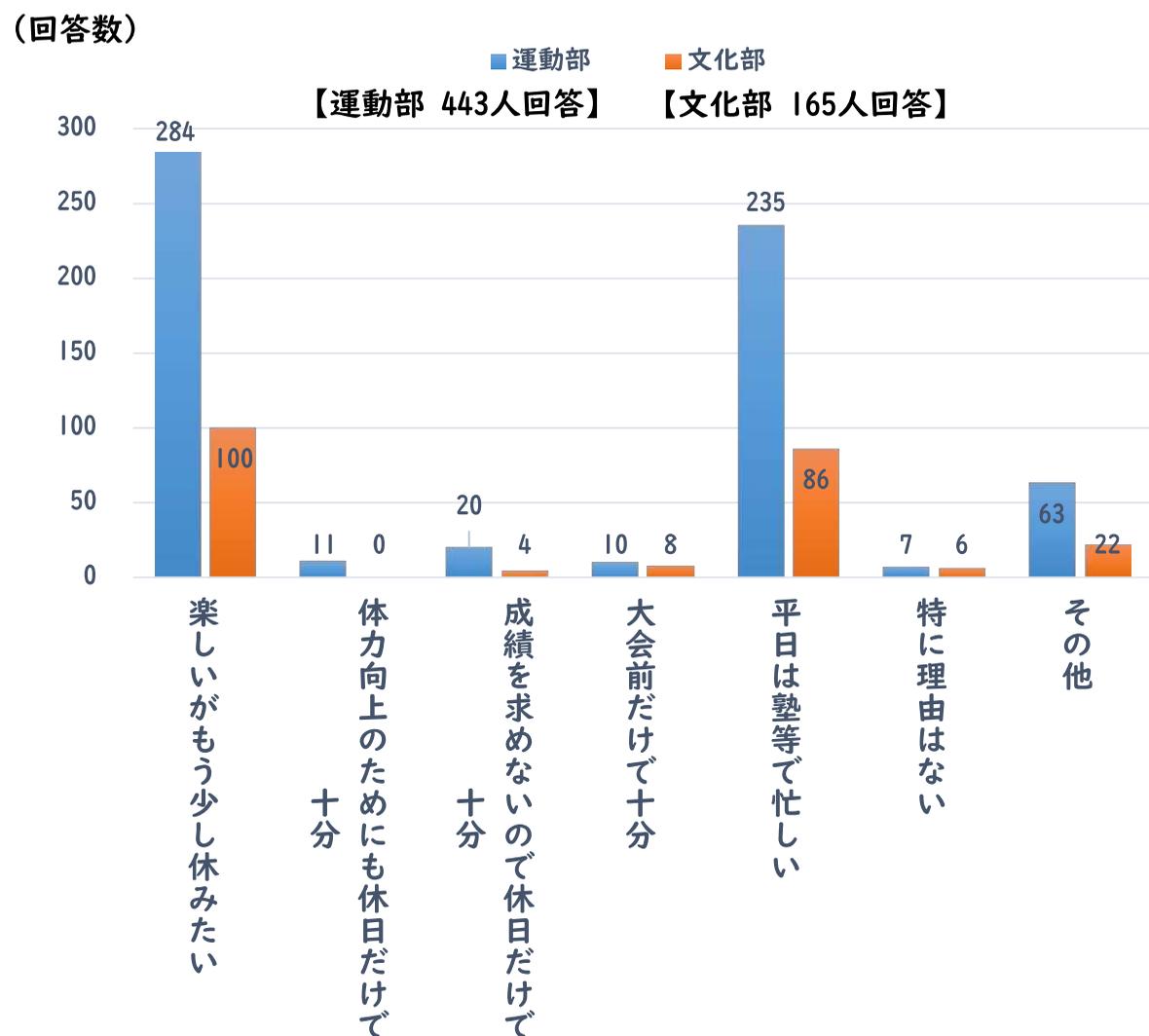


【文化部生徒 4,441人回答】 【文化部保護者 2,874人回答】

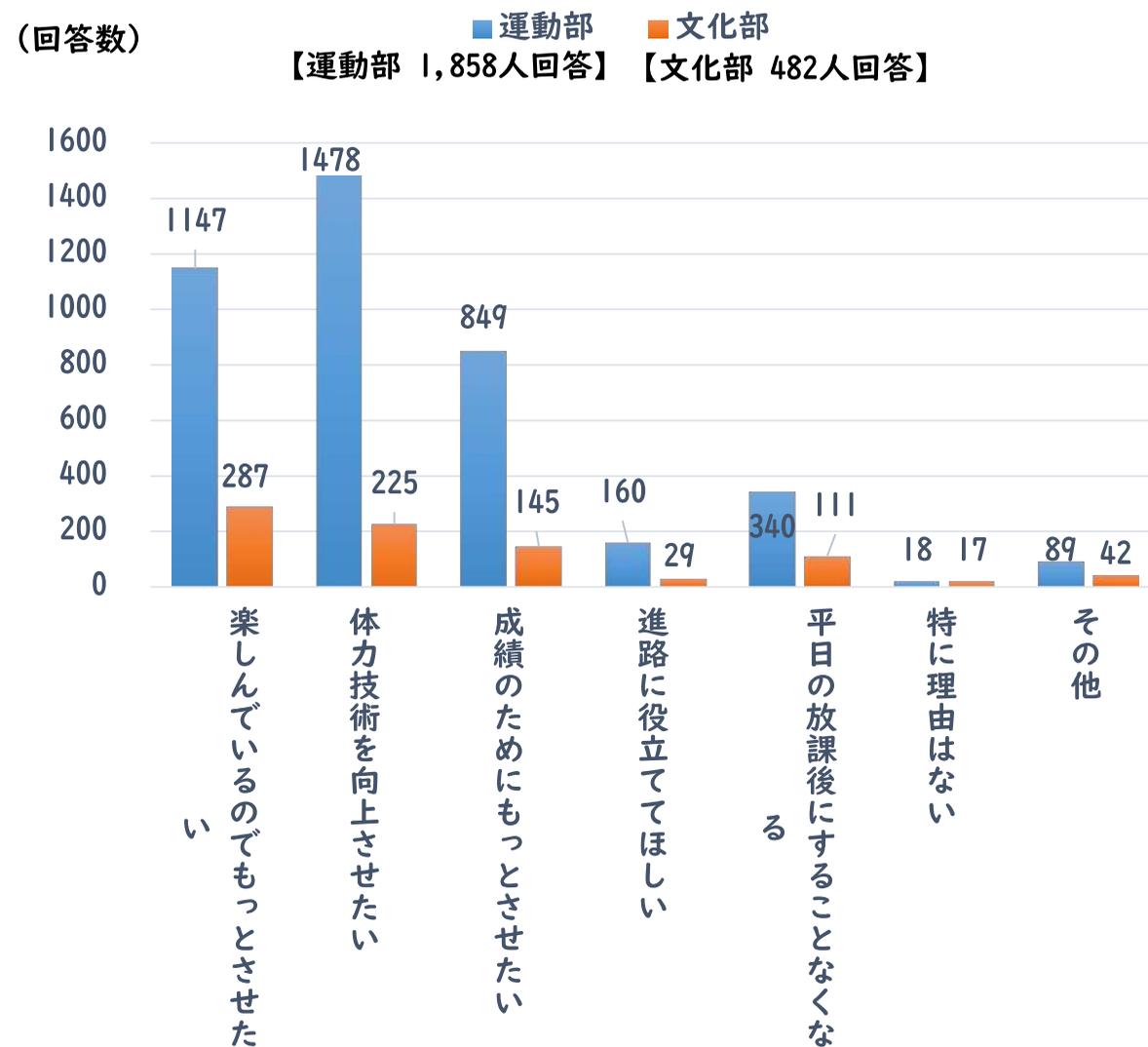
地域移行に関するアンケート（中学生保護者）

BE KOBE

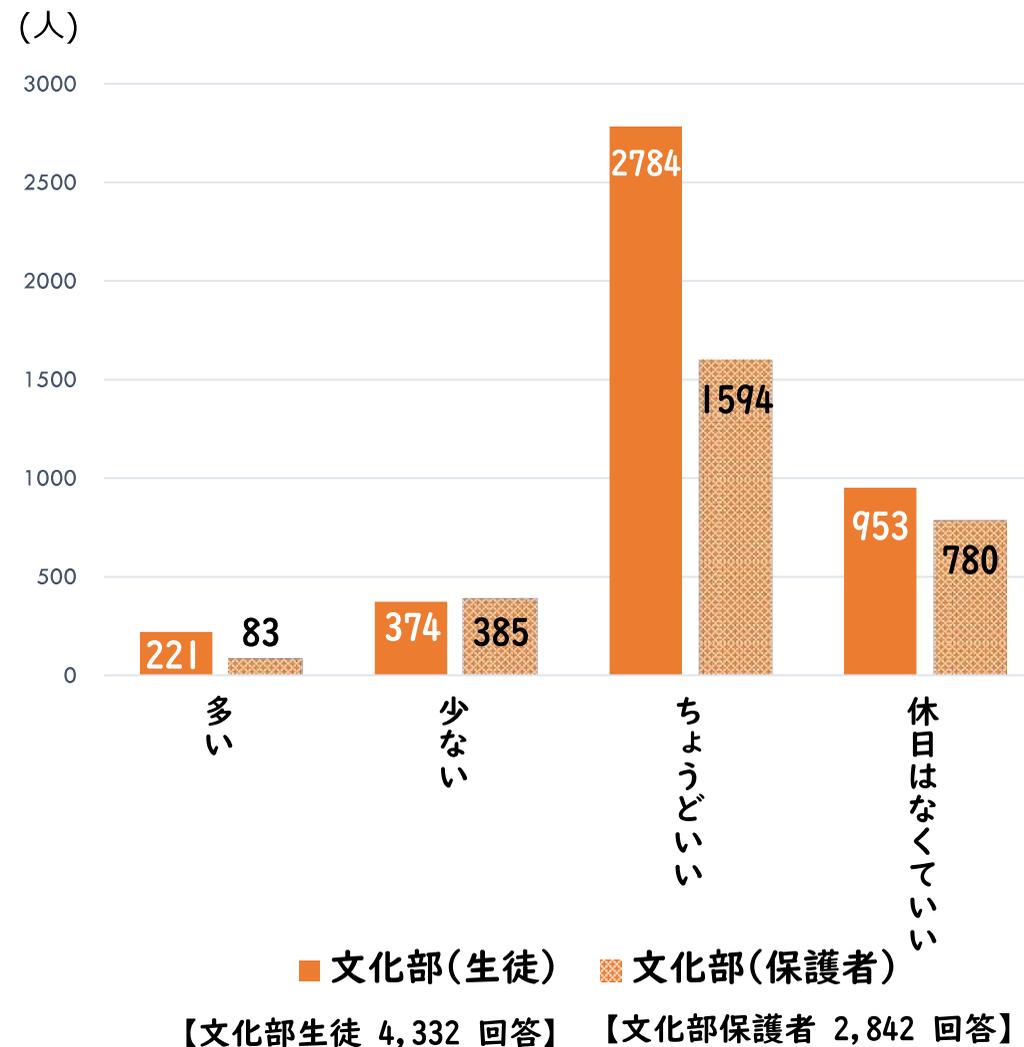
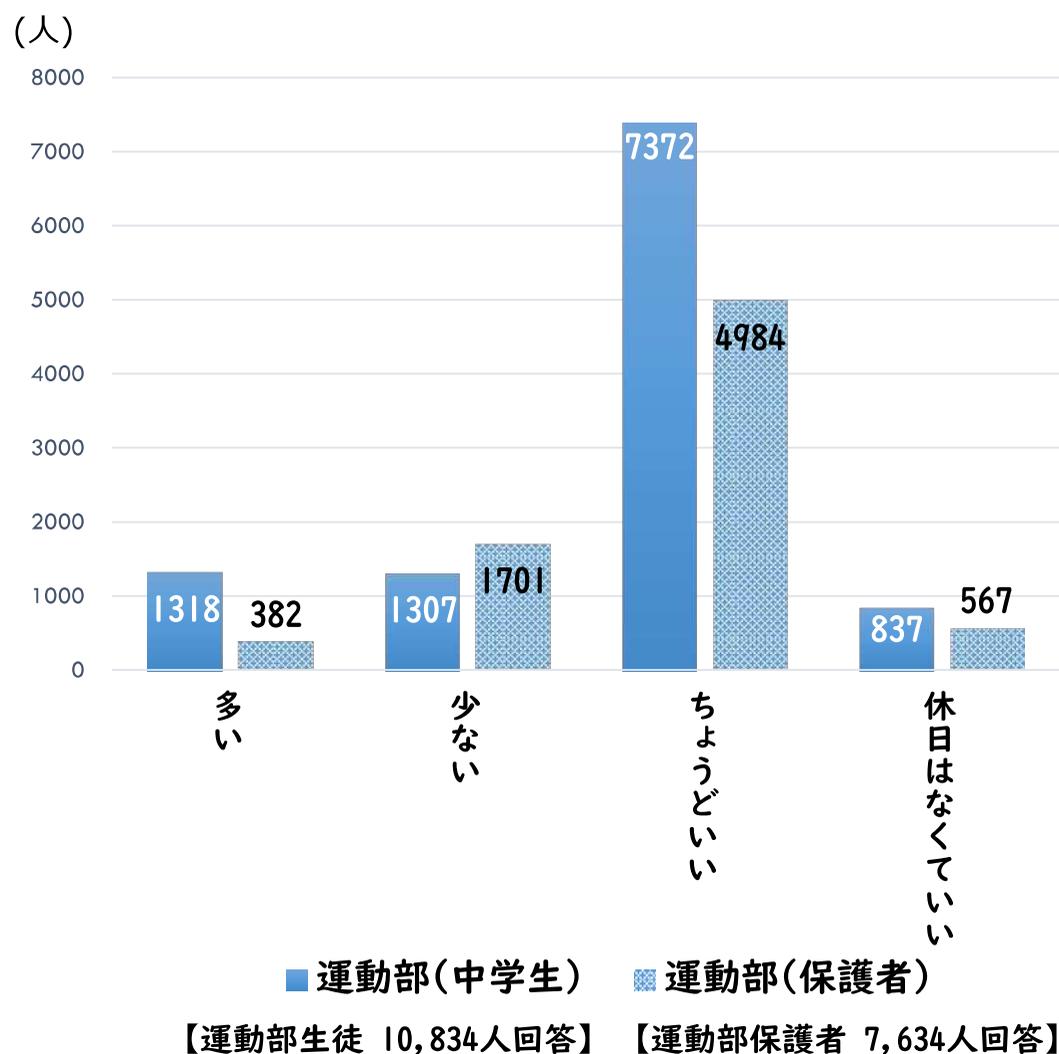
平日の活動を多い・なくてもよい と思っている理由（複数回答）【608人回答】



平日の活動を少ないと思っている理由 （複数回答）【2,340人回答】

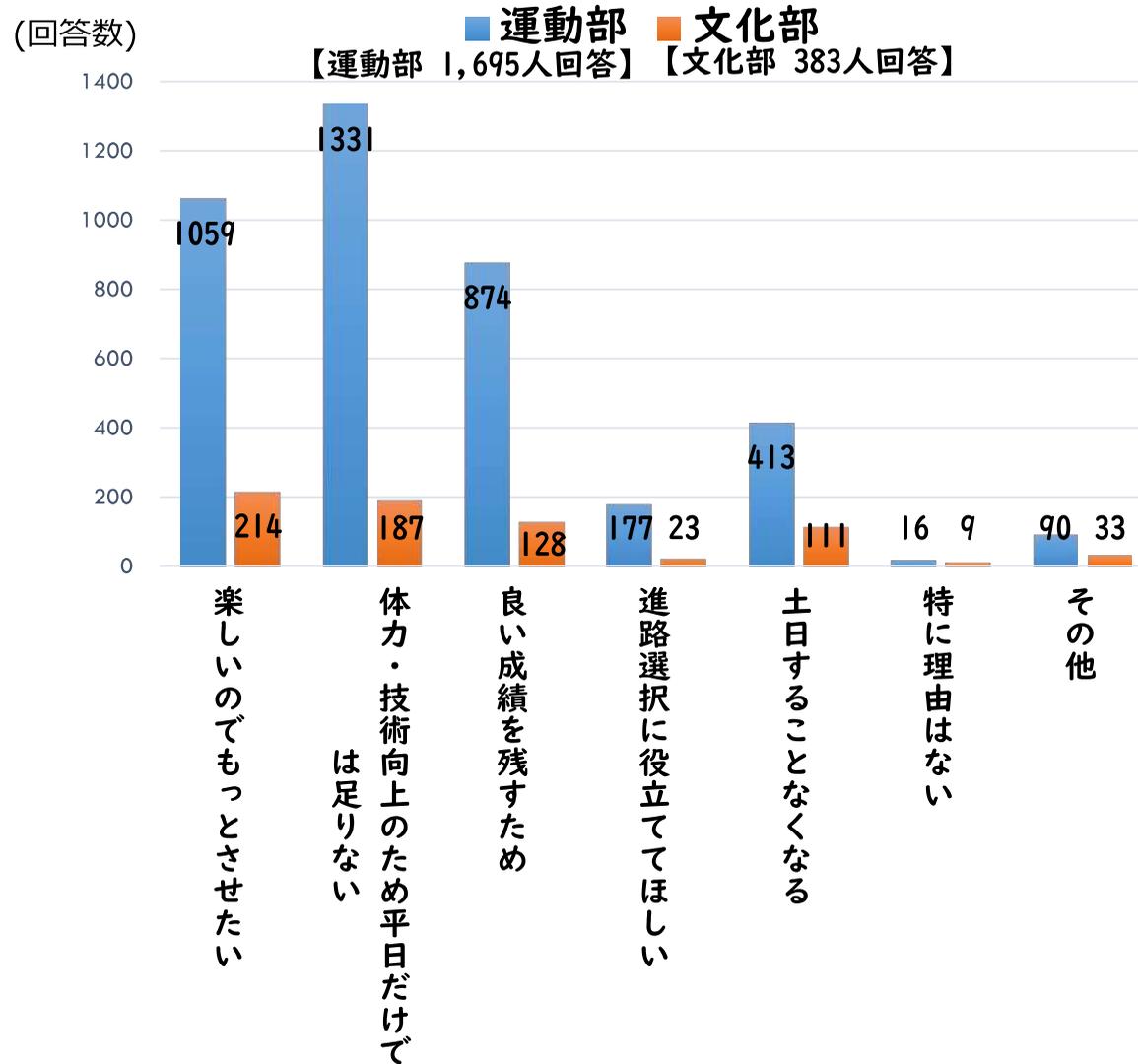
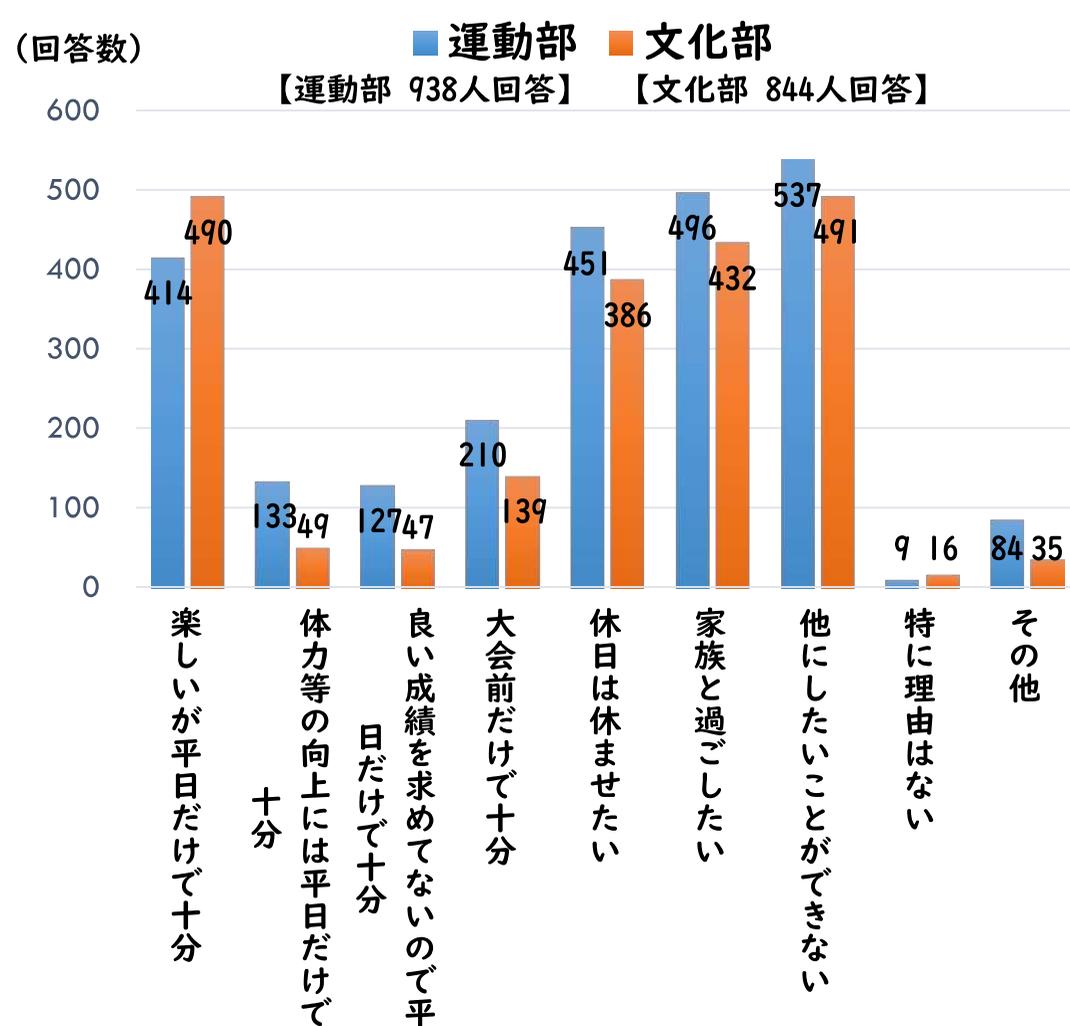


休日の活動の日数や時間をどう思っているか(生徒と保護者の比較)



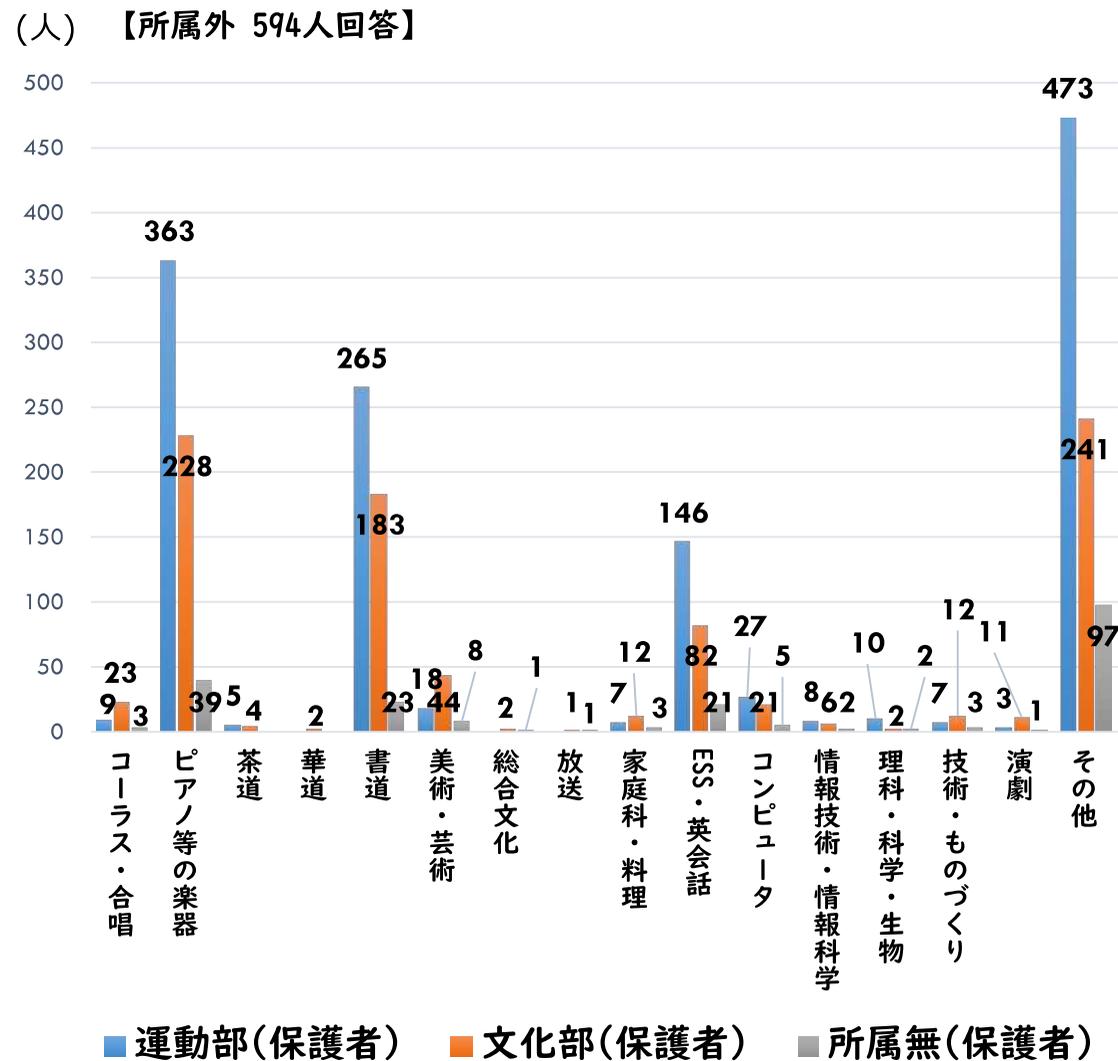
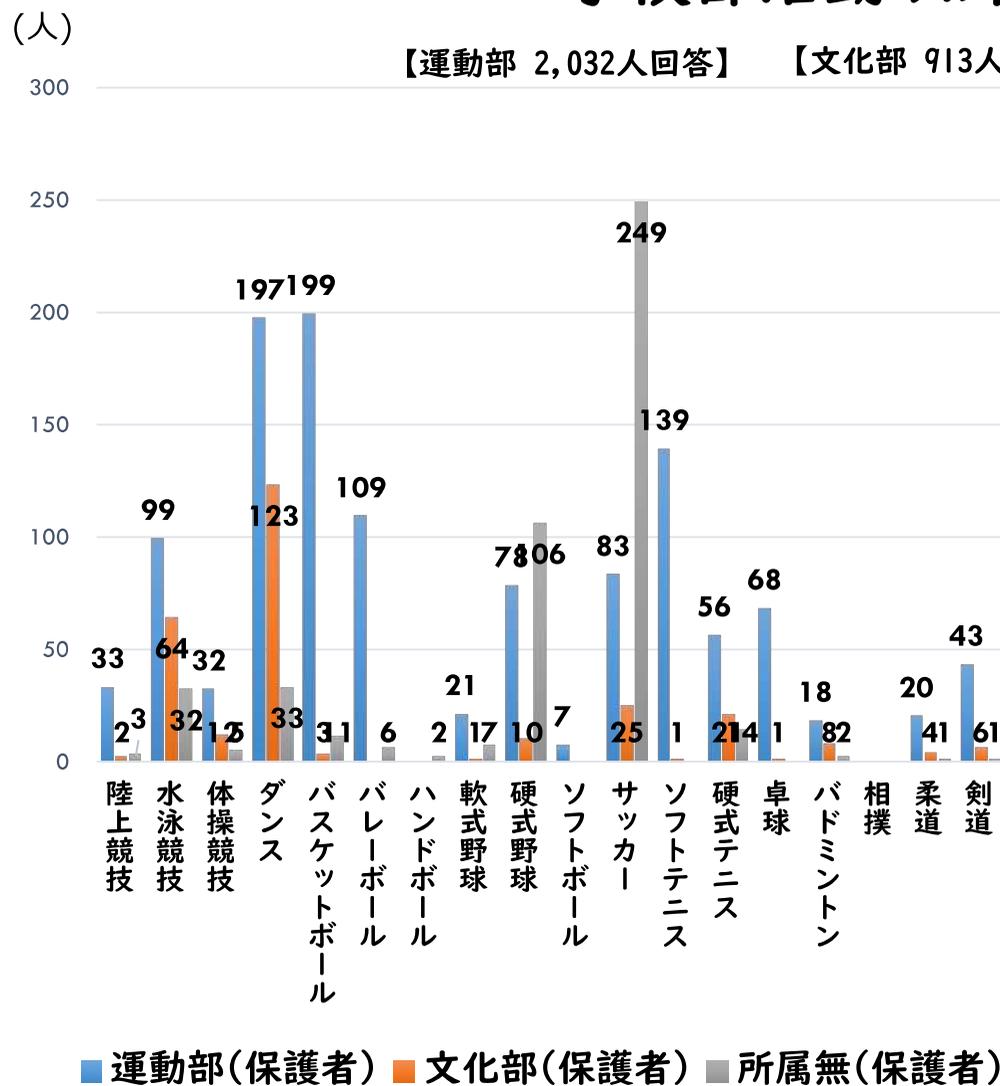
休日の活動を多い・なくてもよい と思っている理由（複数回答）【1,782人回答】

休日の活動を少ないと思っている理由 （複数回答）【2,078人回答】

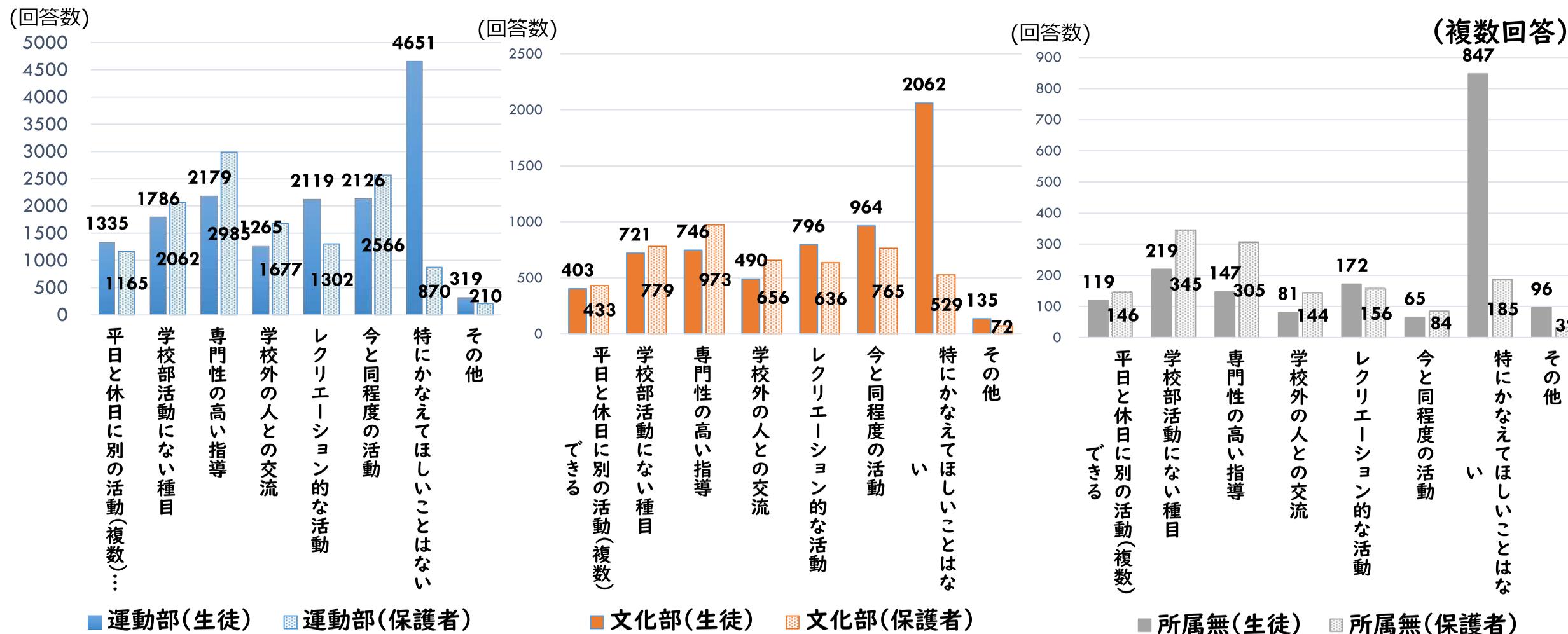


学校部活動以外で取り組んでいる活動

【3,503人回答】



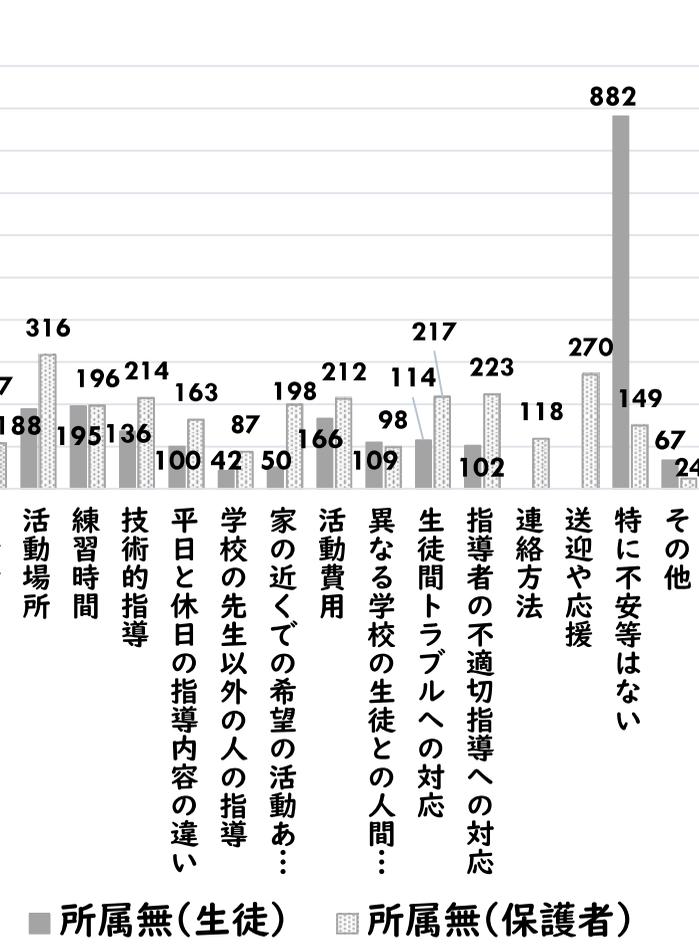
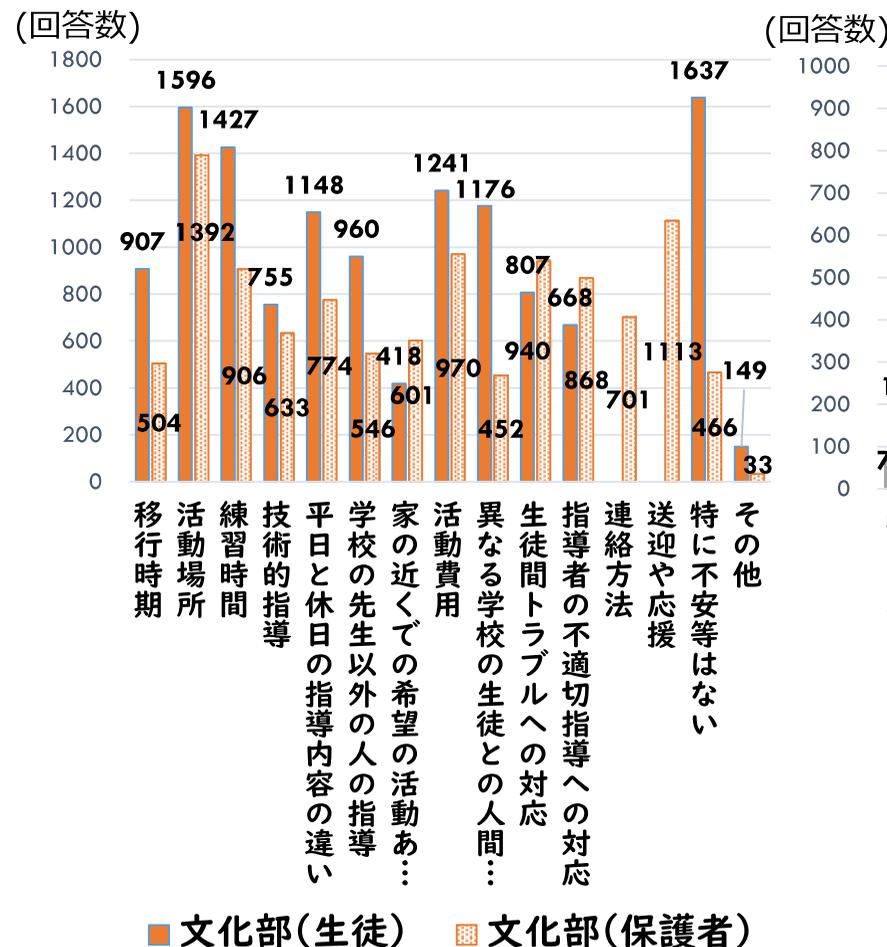
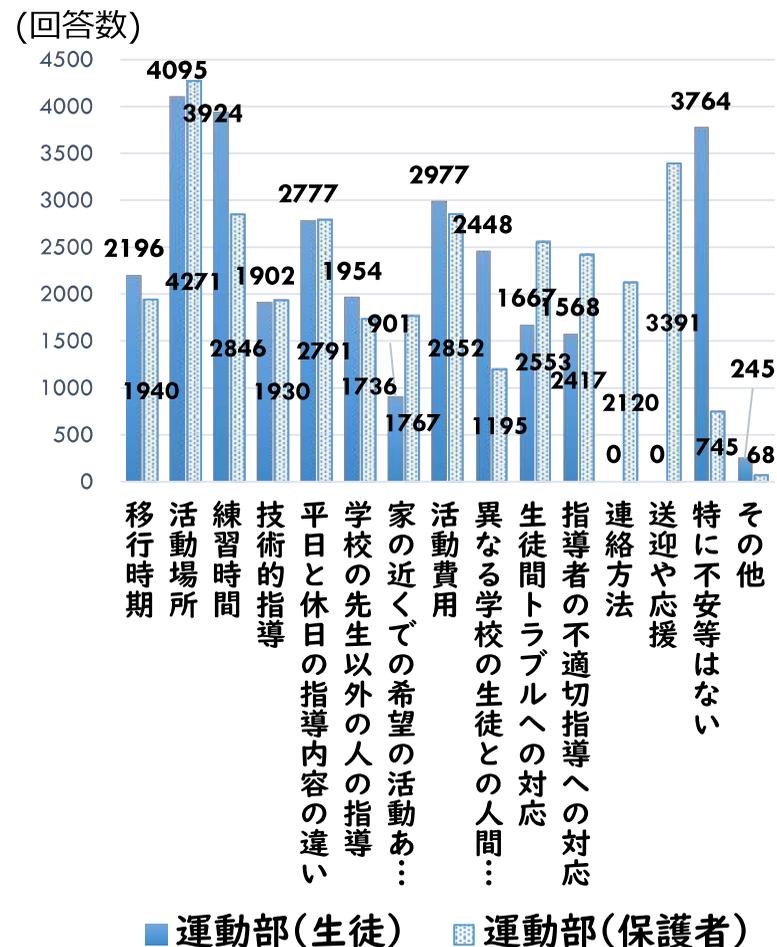
地域クラブ活動において、かなえて欲しいと思うこと（生徒と保護者の比較）



【運動部生徒 10,552人回答】【運動部保護者 7,472人回答】 【文化部生徒 4,233人回答】【文化部保護者 2,779人回答】 【所属無生徒 1,346人回答】【所属無保護者 804人回答】

地域移行に関するアンケート（中学生保護者）

地域クラブ活動において、心配や不安に思うこと（生徒と保護者の比較）（複数回答）

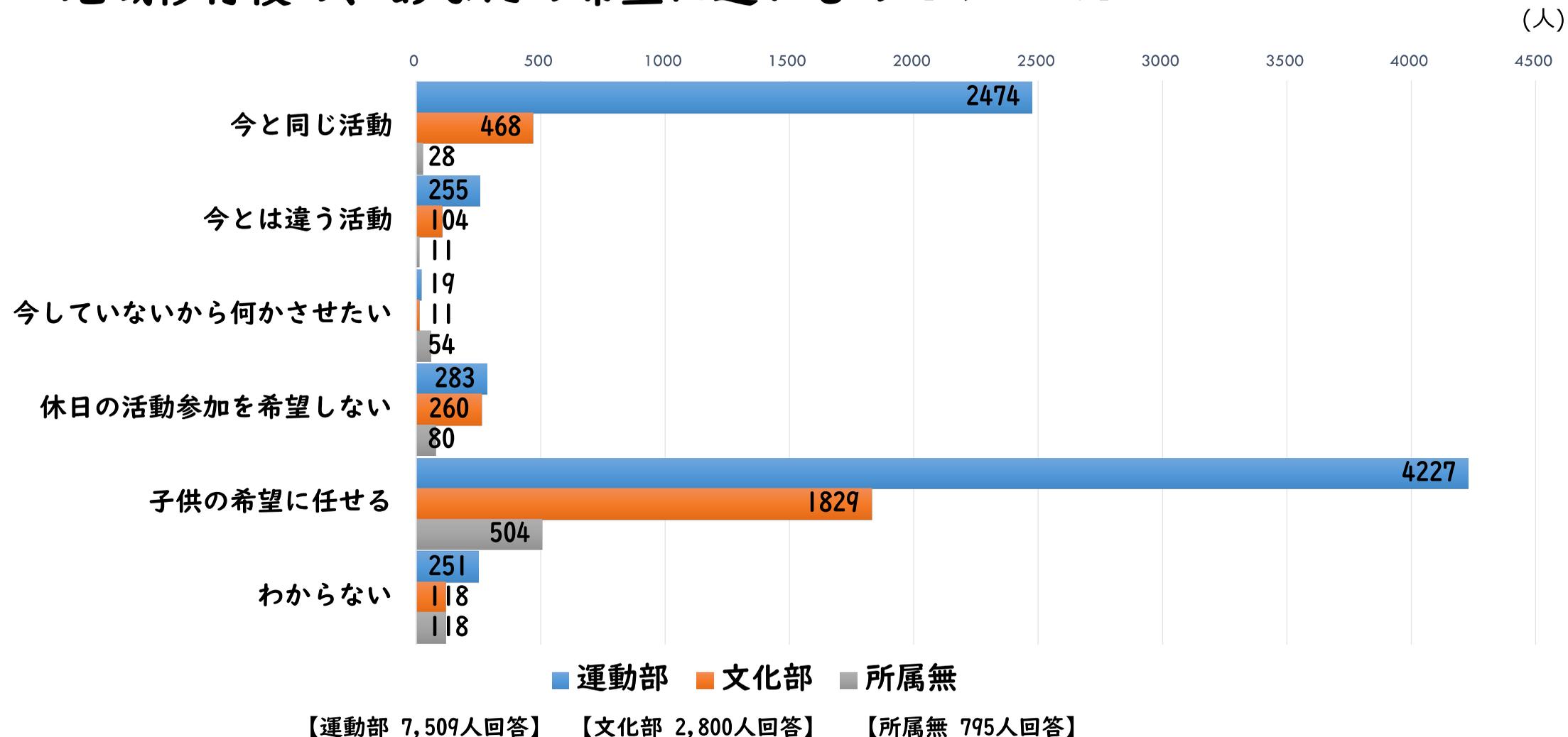


【運動部生徒 10,518人回答】【運動部保護者 7,457人回答】 【文化部生徒 4,211人回答】【文化部保護者 2,766人回答】 【所属無生徒 1,331人回答】【所属無保護者 780人回答】

地域移行に関するアンケート（中学生保護者）

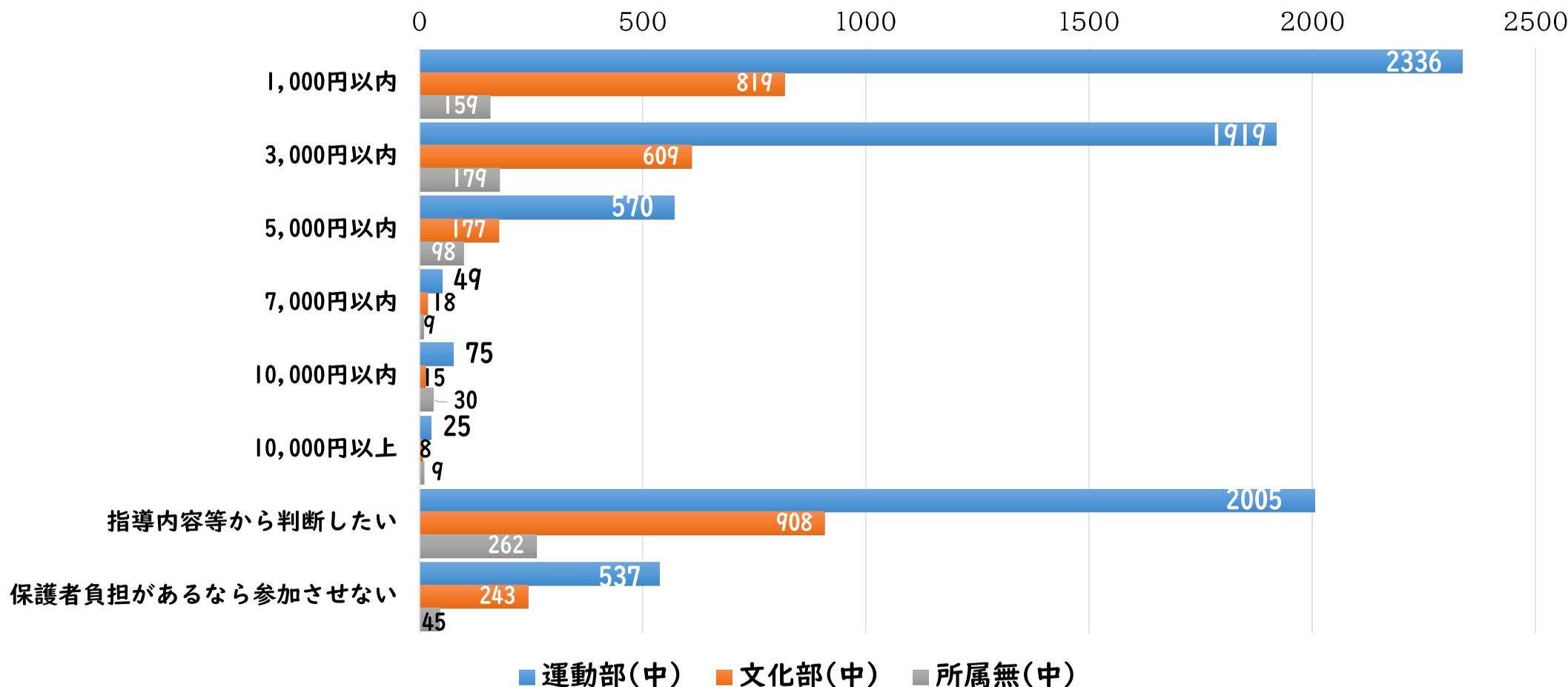
BE KOBE

地域移行後の、あなたの希望に近いもの【10,972人回答】



地域クラブ活動移行後、どれ位の経済的負担が適切か

【10,972人回答】
(人)

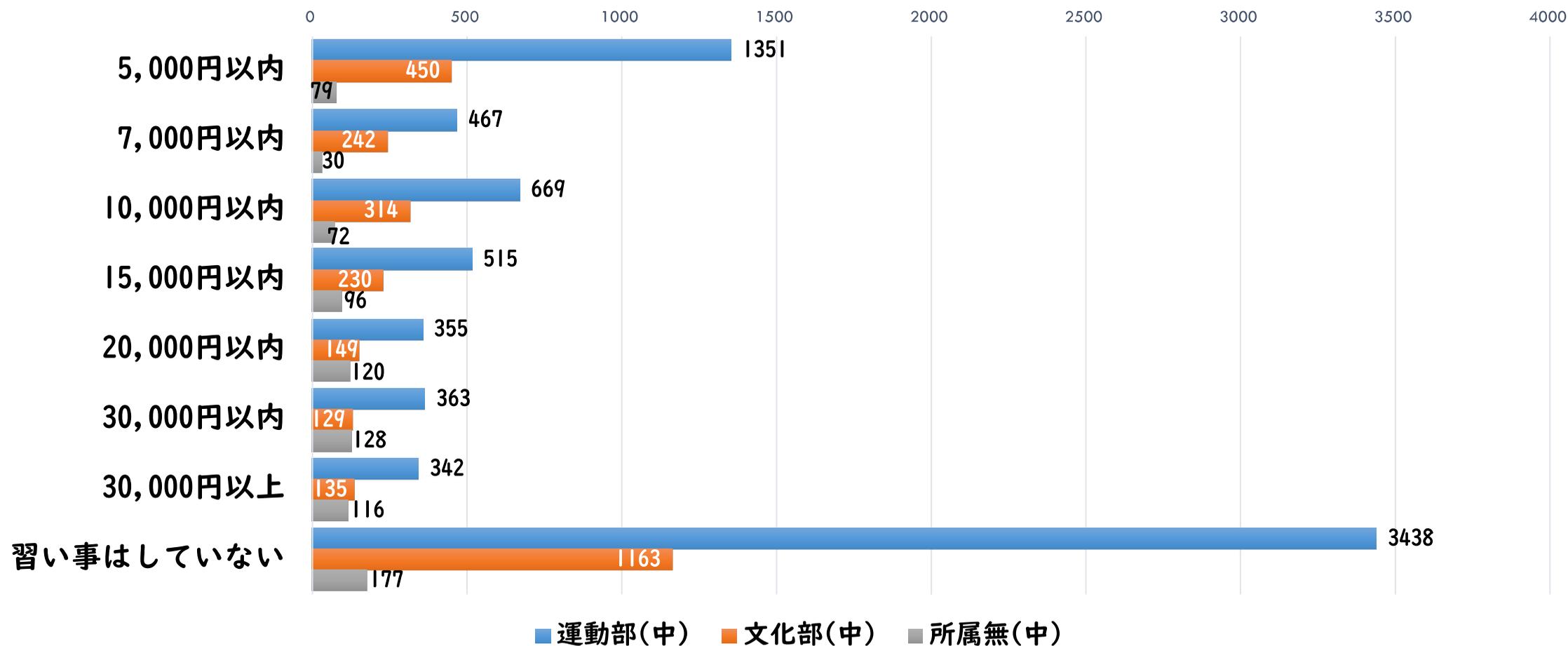


【運動部 7,516人回答】 【文化部 2,797人回答】 【所属無 791人回答】

現在の習い事の総費用は月額いくら？（学習塾を除く）

【10,996人回答】

(人)

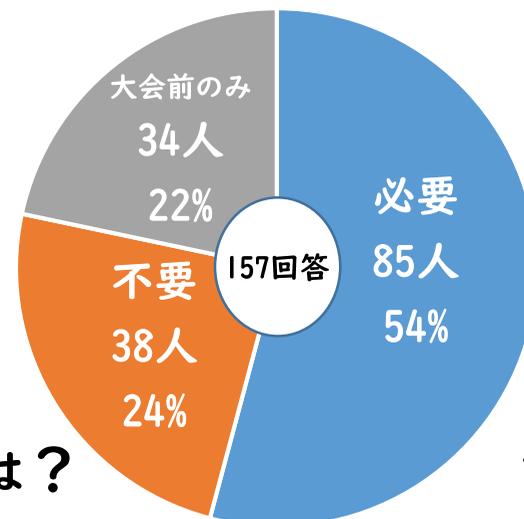


【運動部 7,500人回答】

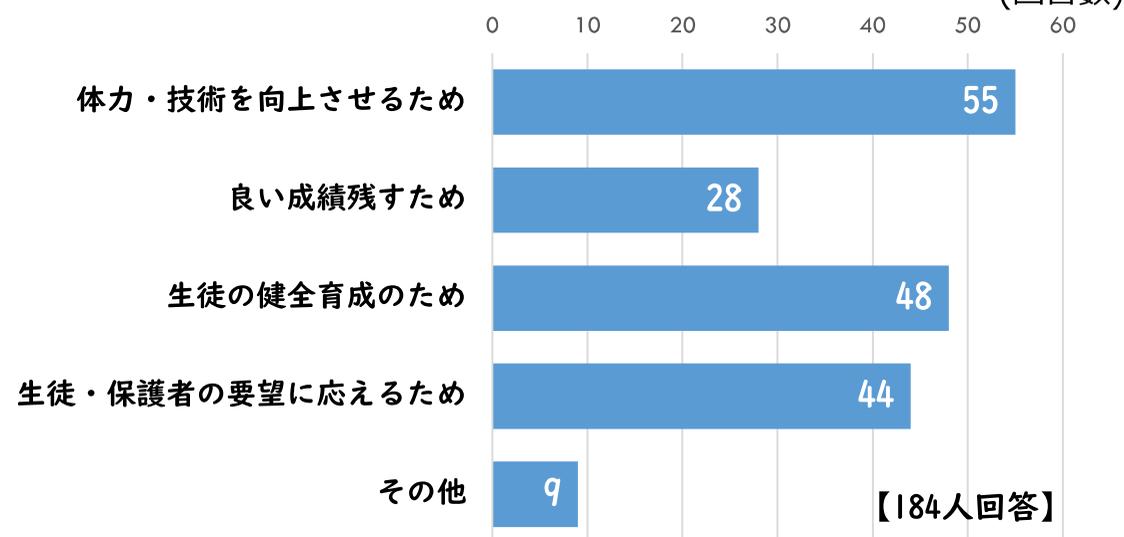
【文化部 2,812人回答】

【所属無 818人回答】

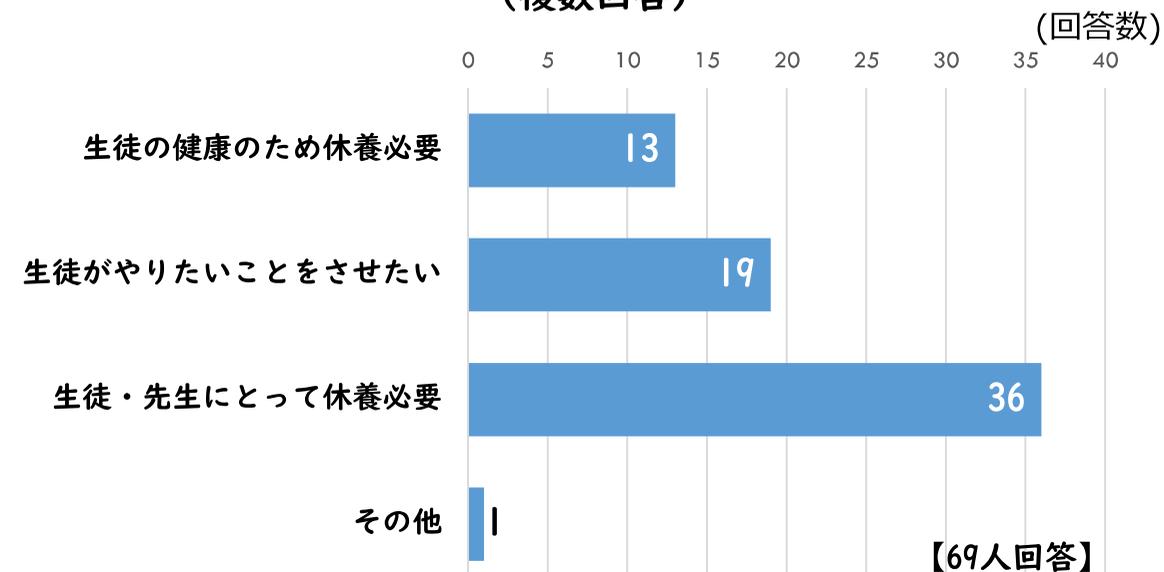
これまでの学校部活動において、休日の活動の必要性



休日の活動を必要だったと考える理由は？ (複数回答)

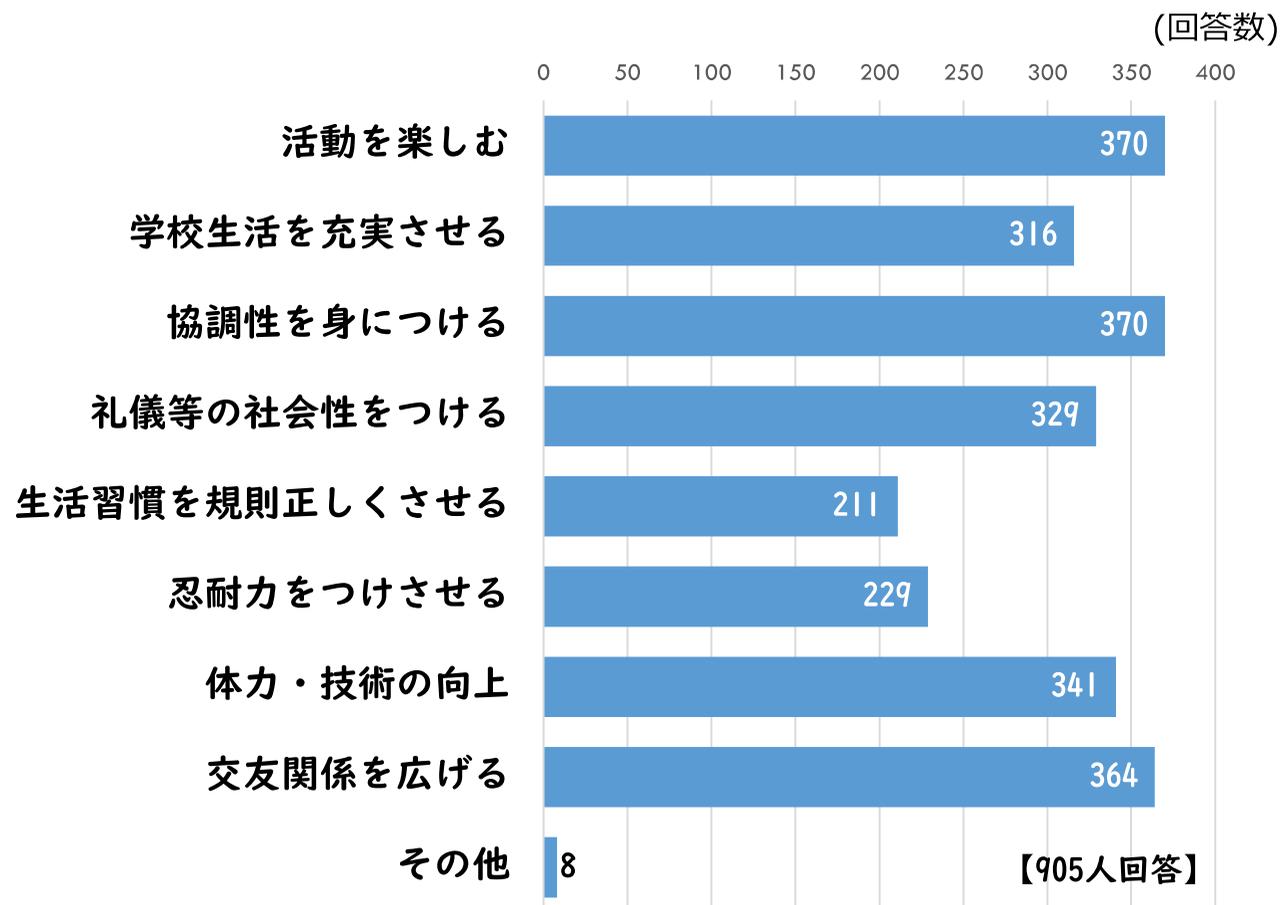


休日の活動を必要なかったと考える理由は？ (複数回答)



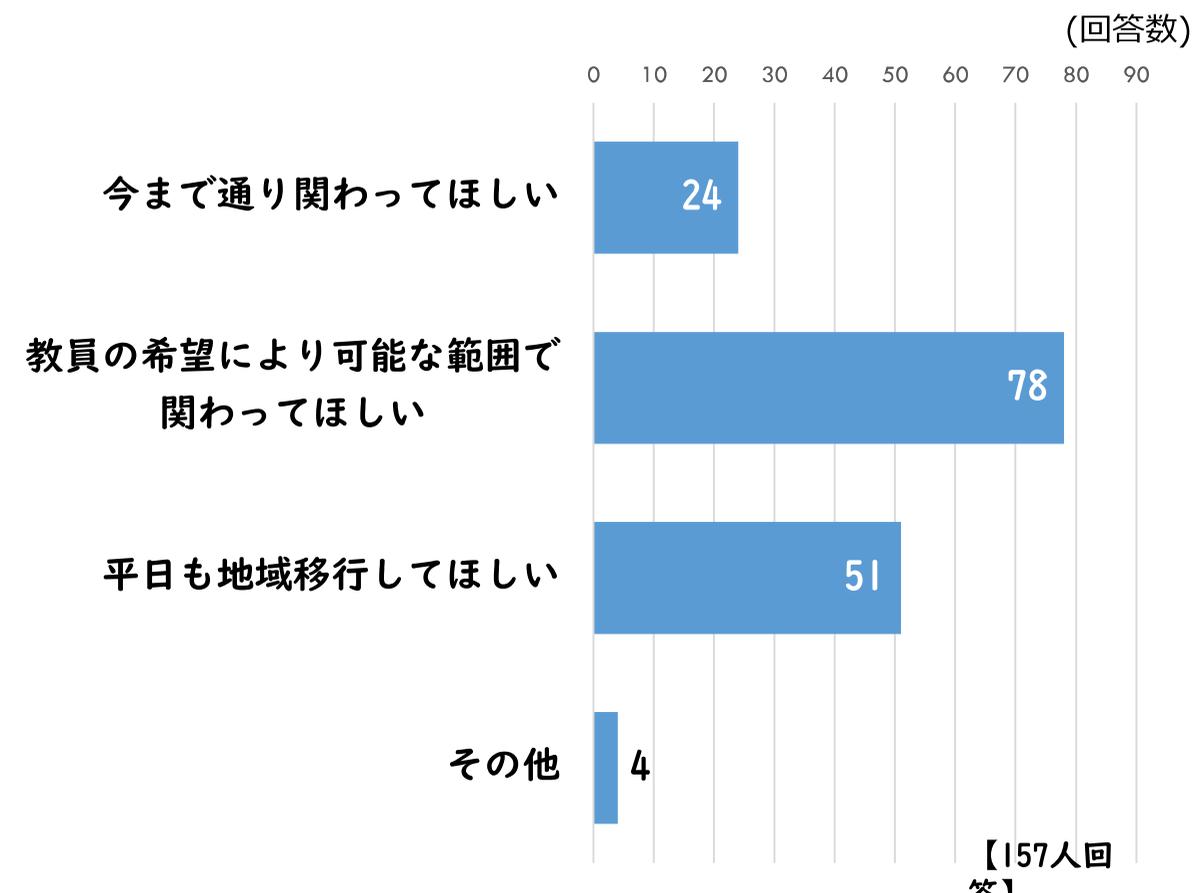
中学校部活動の意義

（複数回答）



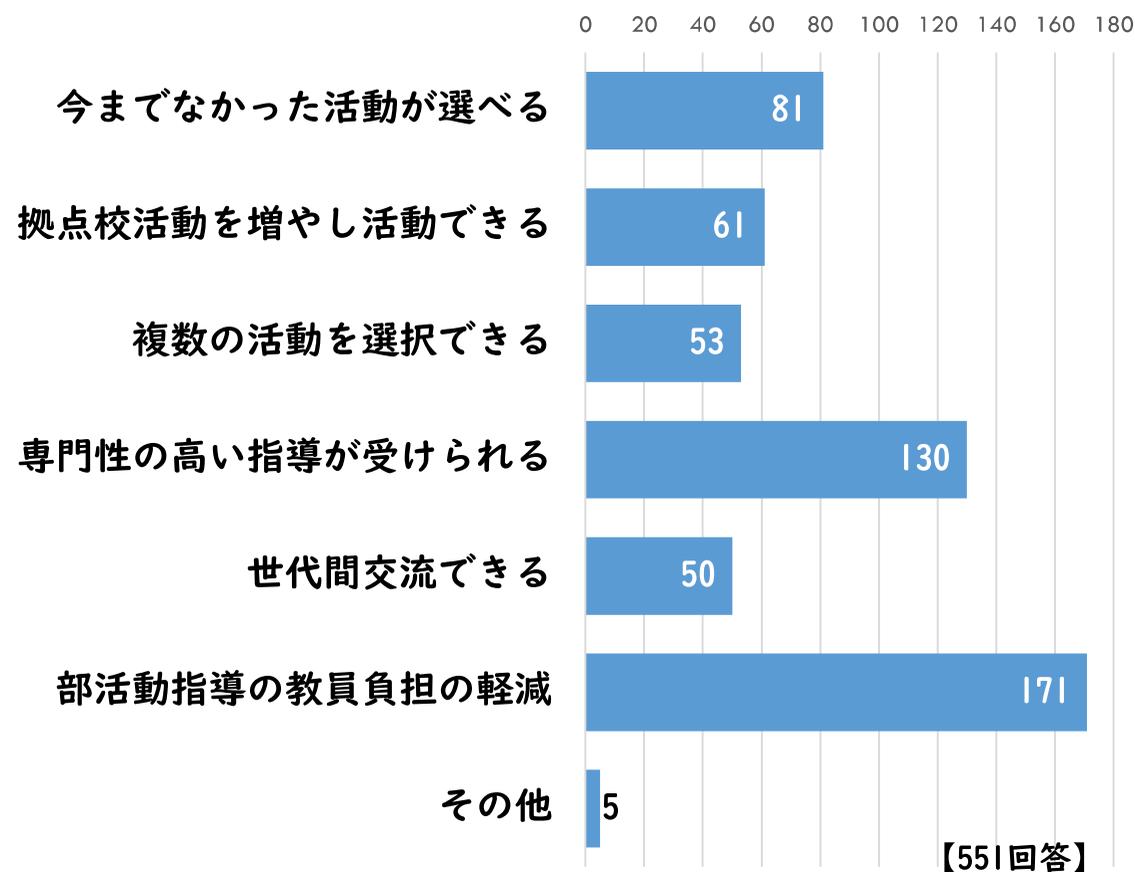
平日の活動における教員の関わり

についての考えは？（複数回答）



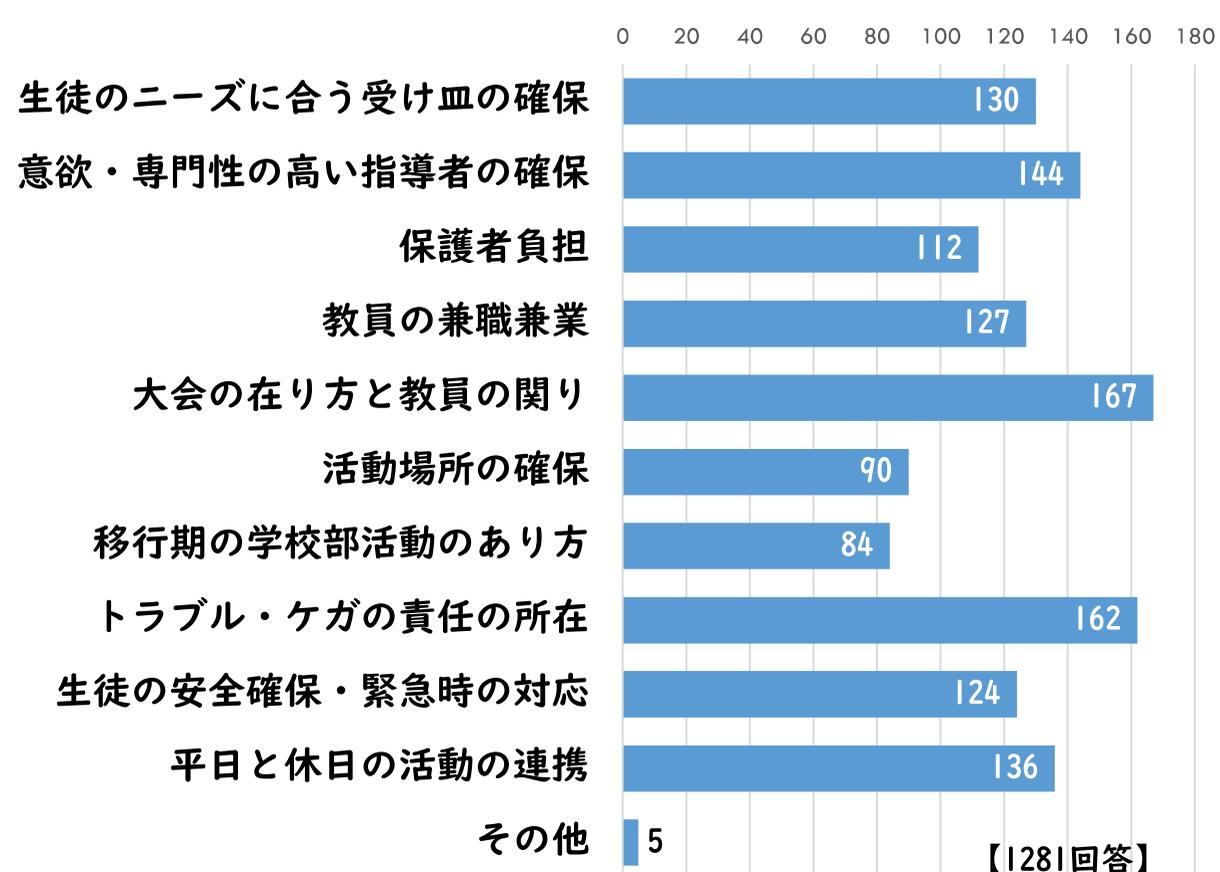
地域クラブ活動への移行について 期待することは？（複数回答）

(回答数)



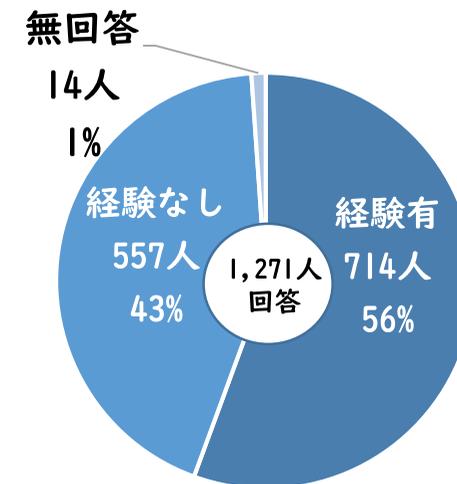
地域クラブ活動への移行について 懸念することは？（複数回答）

(回答数)

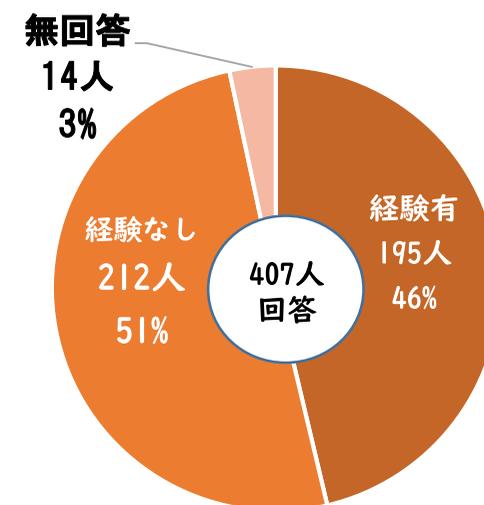


担当する部活動はこれまでに経験しているか？

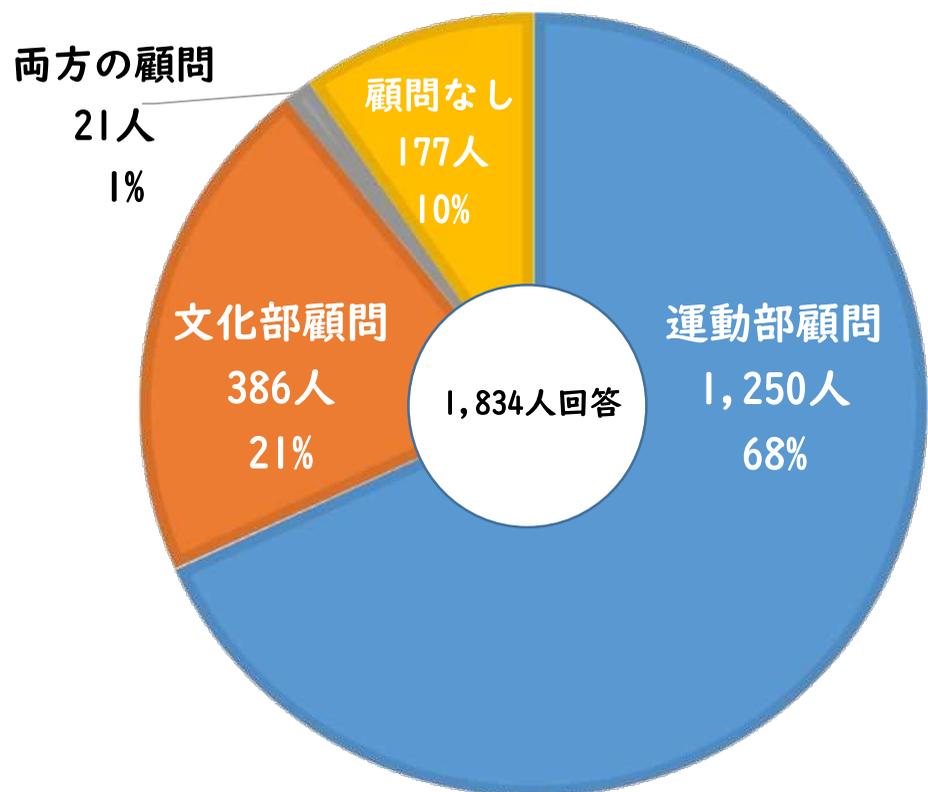
運動部に携わっている教員



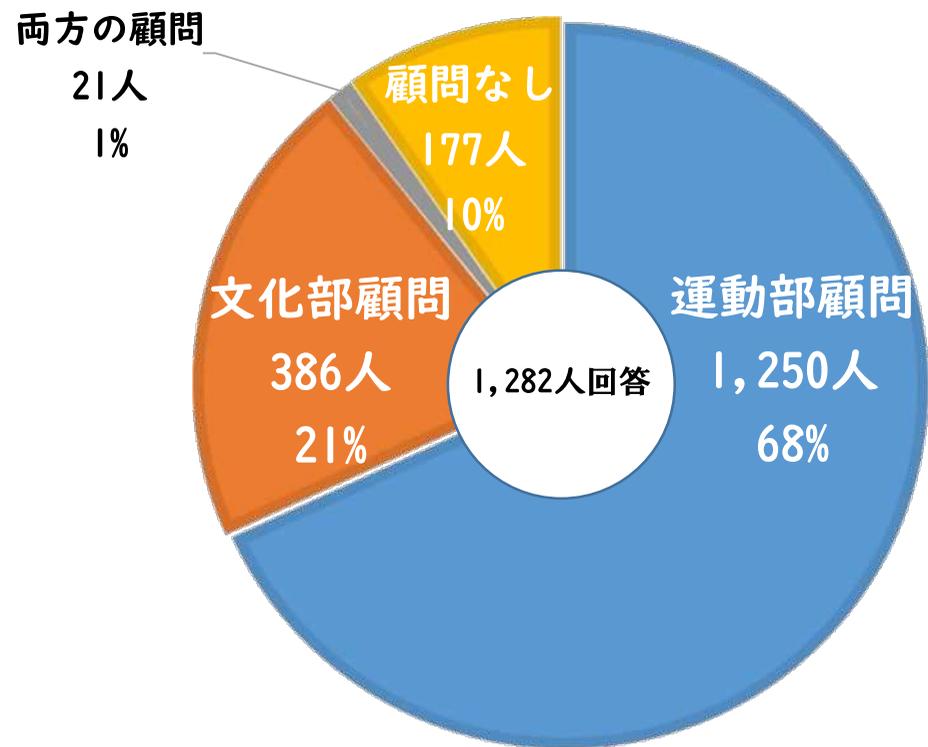
文化部に携わっている教員



現在の部活動との関わりは？

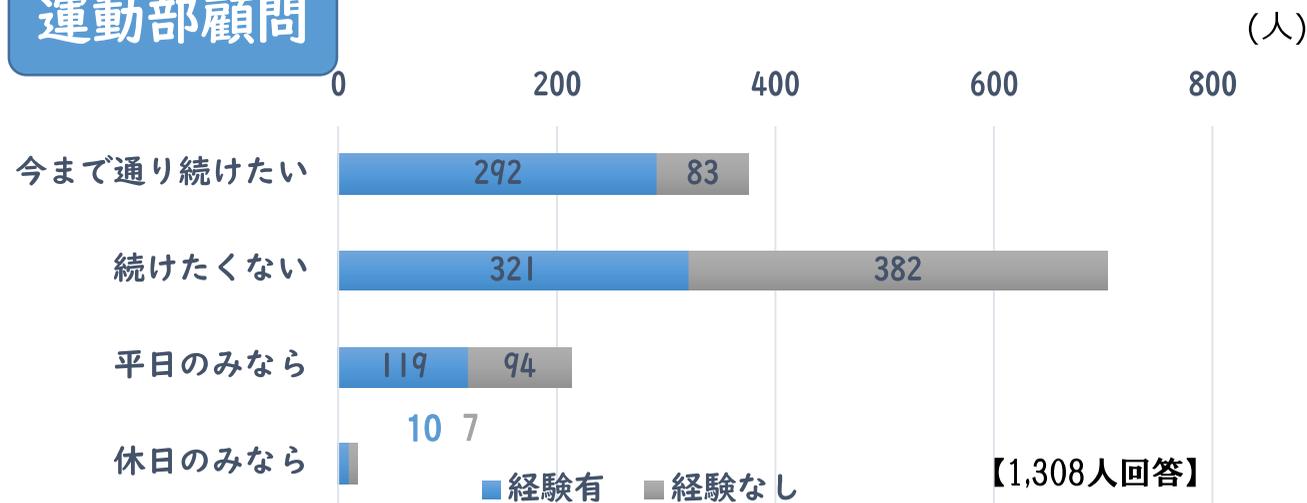


現在の部活動との関わりは？

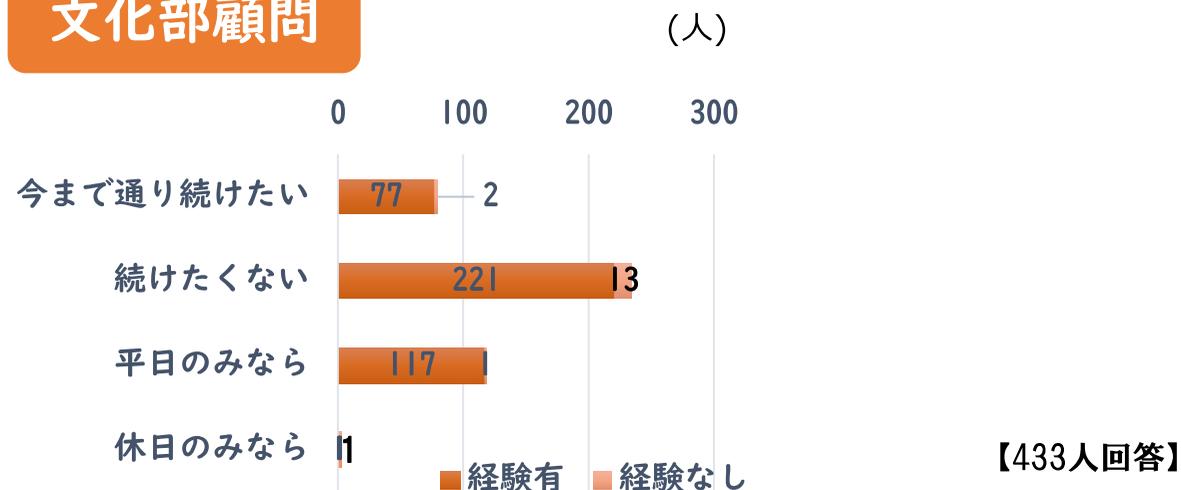


地域移行後も顧問を続けたいか

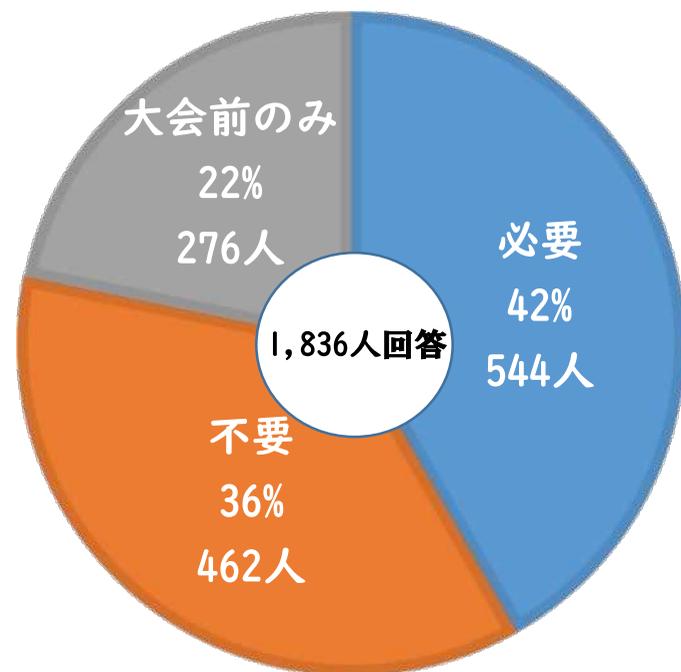
運動部顧問



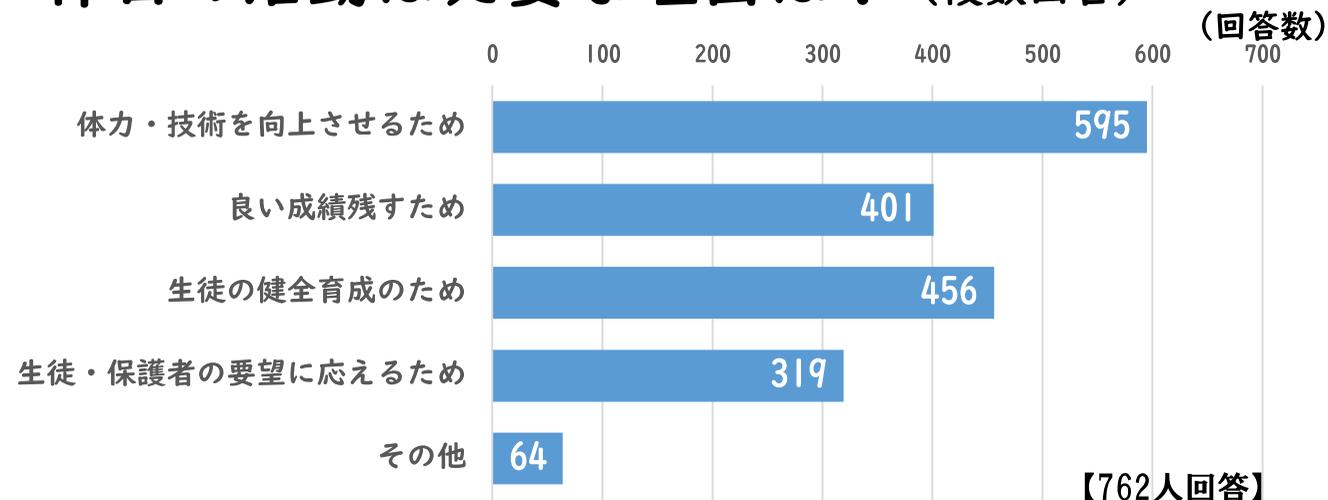
文化部顧問



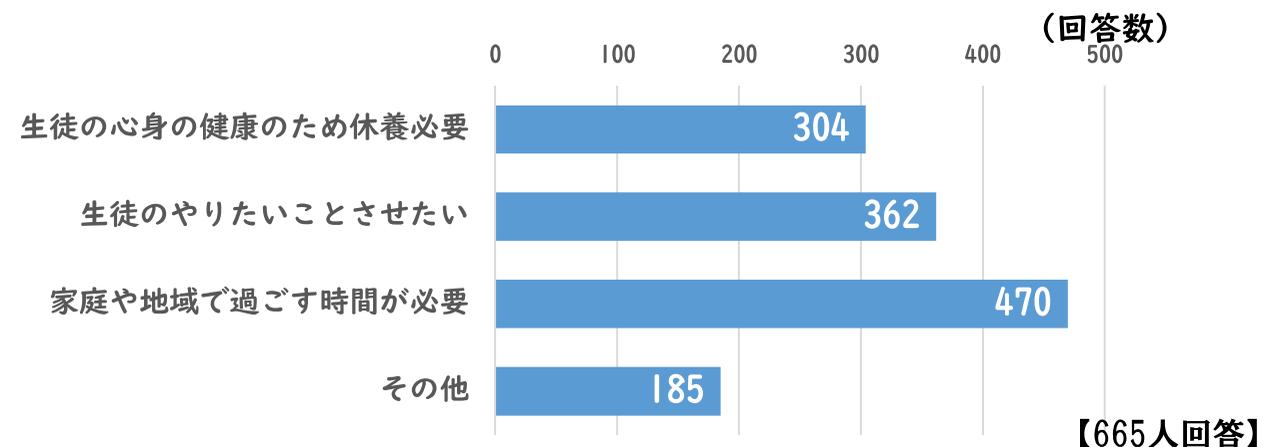
これまでの中学校部活動において
休日の活動は必要だったか？



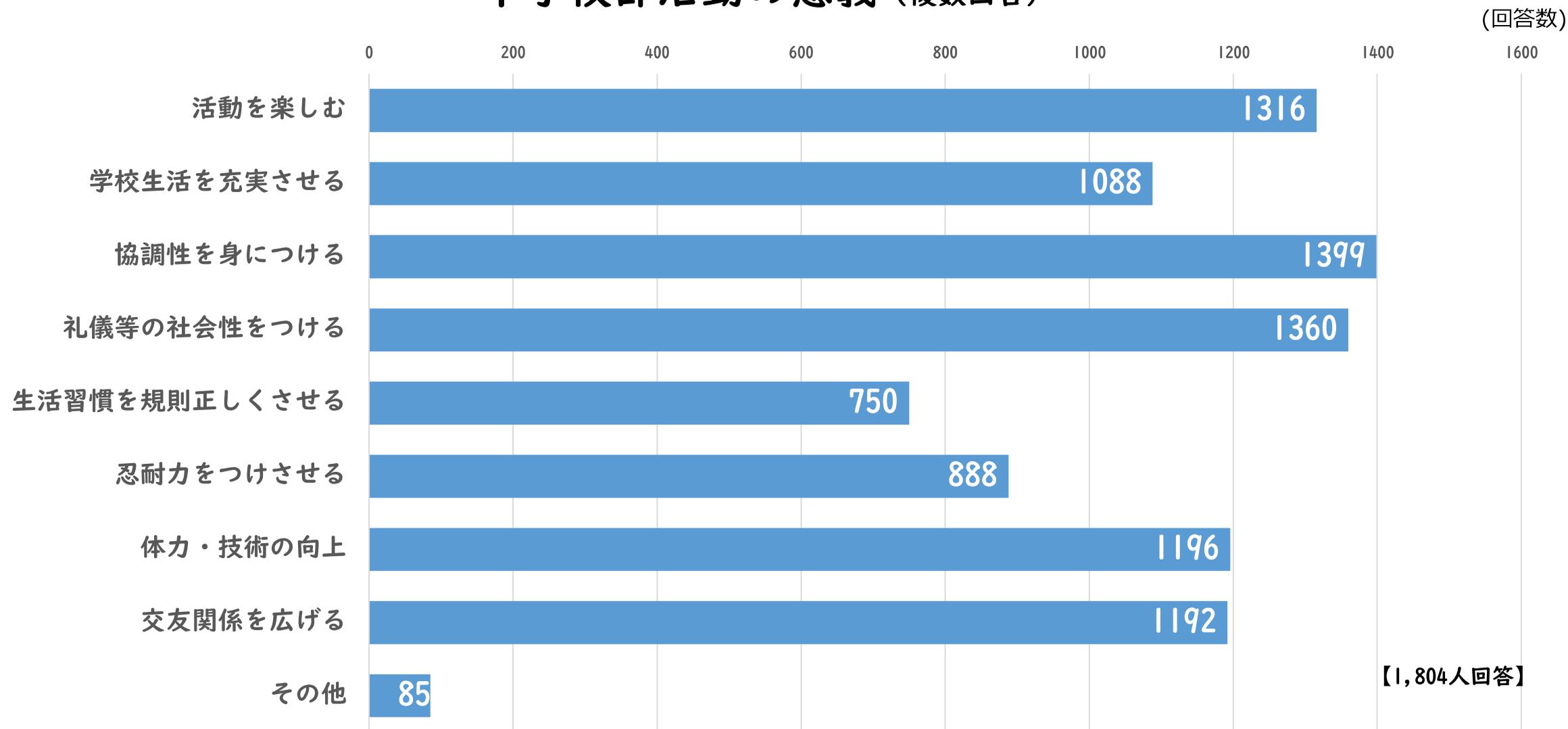
休日の活動は必要な理由は？（複数回答）



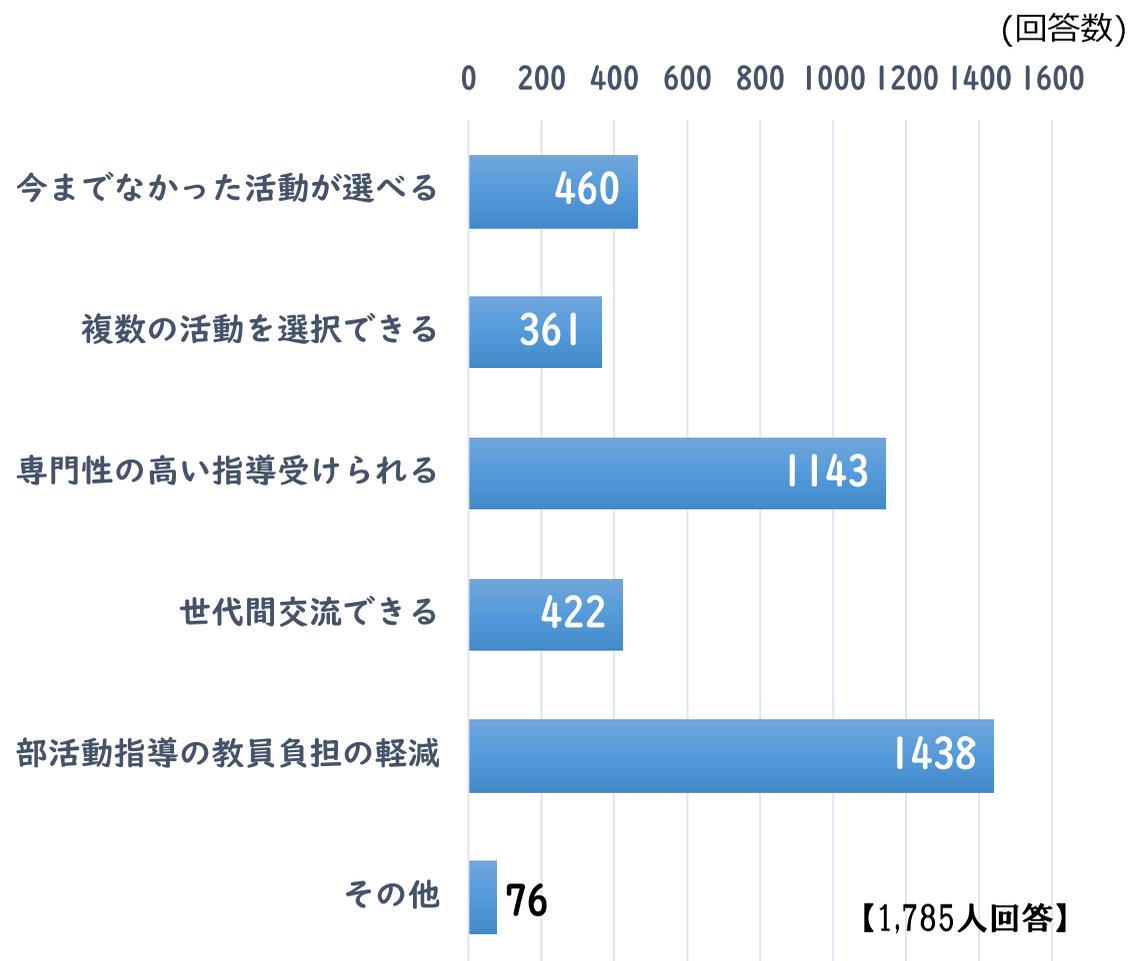
休日の活動は必要ではない理由は？（複数回答）



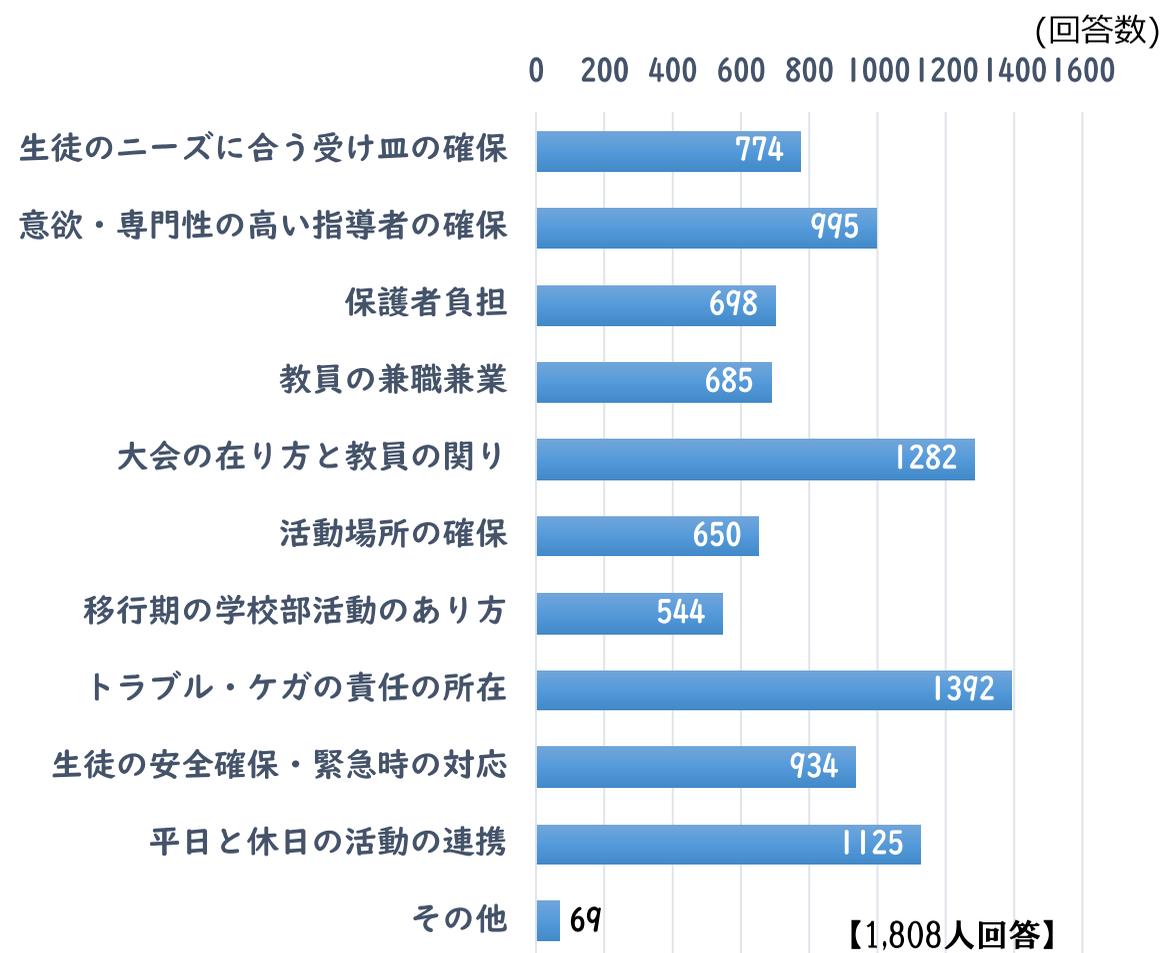
中学校部活動の意義（複数回答）



地域クラブ活動への移行に期待することは？（複数回答）



地域クラブ活動への移行に懸念することは？（複数回答）



地域クラブ活動への関わり方は？①設問20

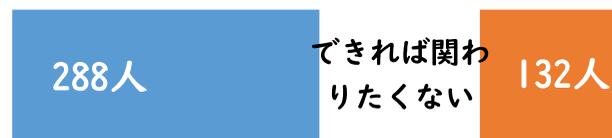
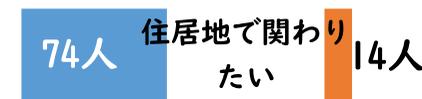
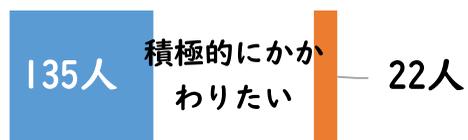
移行後に関わる場合は？②設問21

【運動部 904人回答】

【文化部 281人回答】

【運動部 694人回答】

【文化部 146人回答】

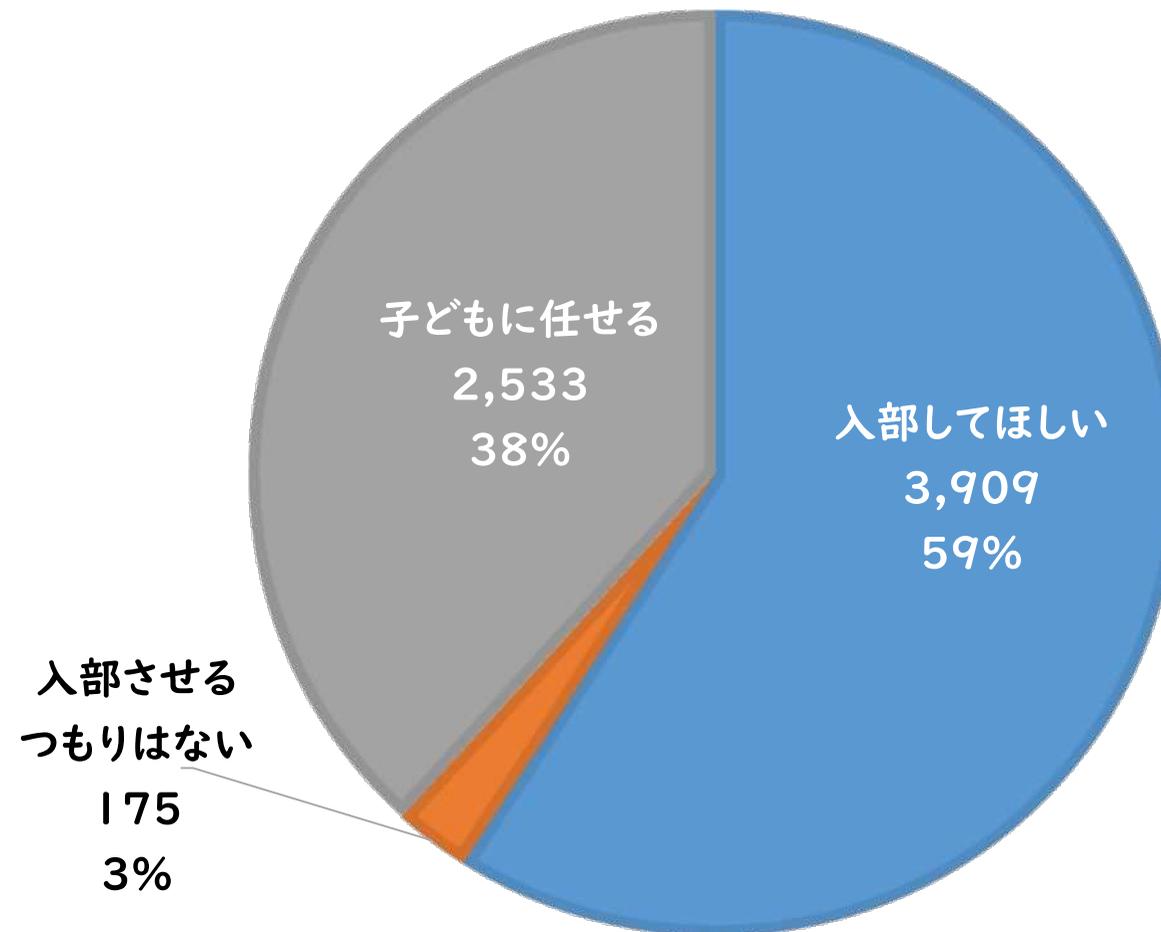


【その他の内容】

既に所属しているクラブで指導する。
関わり方は状況による（異動・子育て等）
拠点校活動や新たに立ち上げたクラブでの指導
手当が出れば関わりたい
要望があれば関わりたい

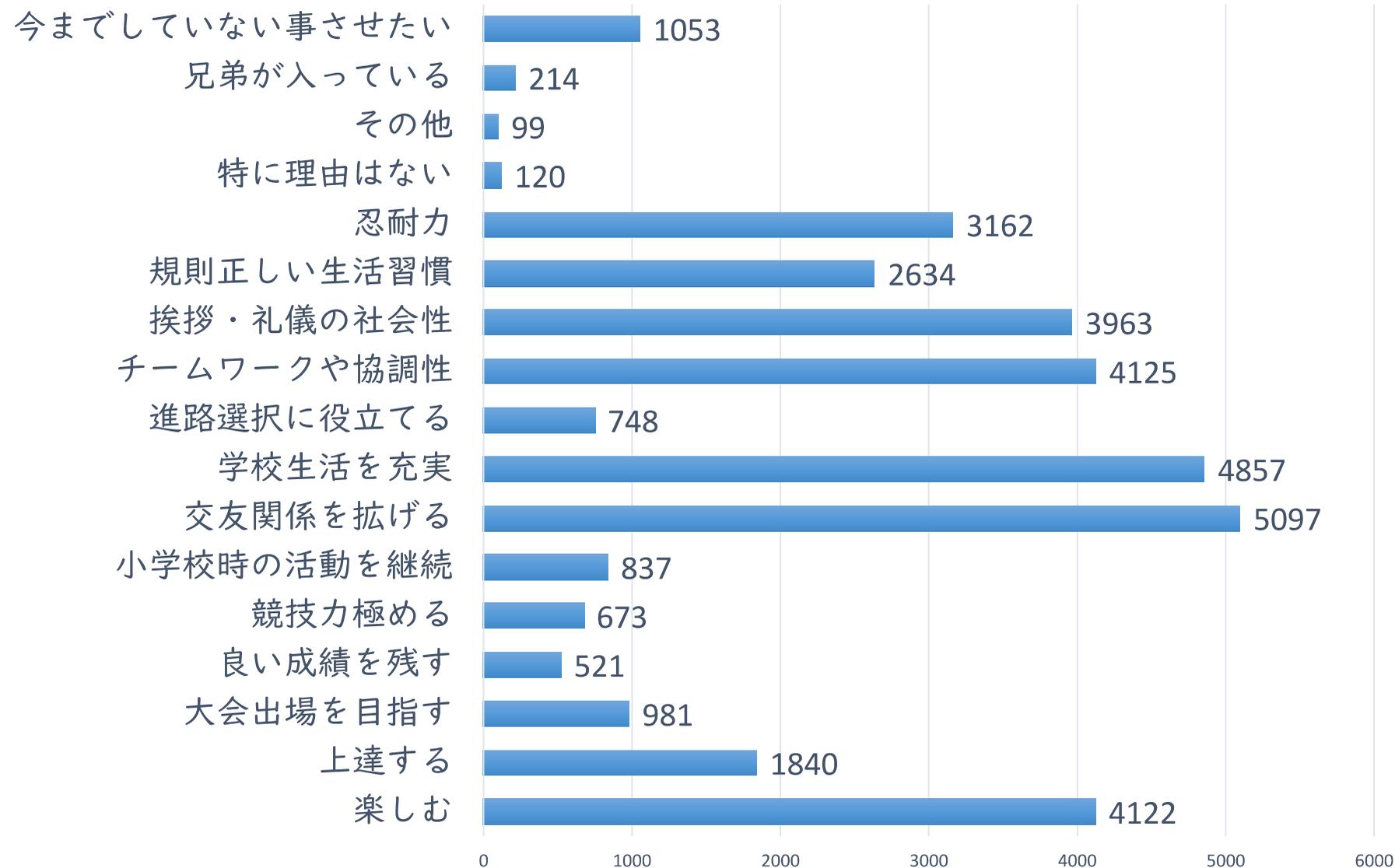
学校部活動に入部してほしいですか

【6,617人回答】

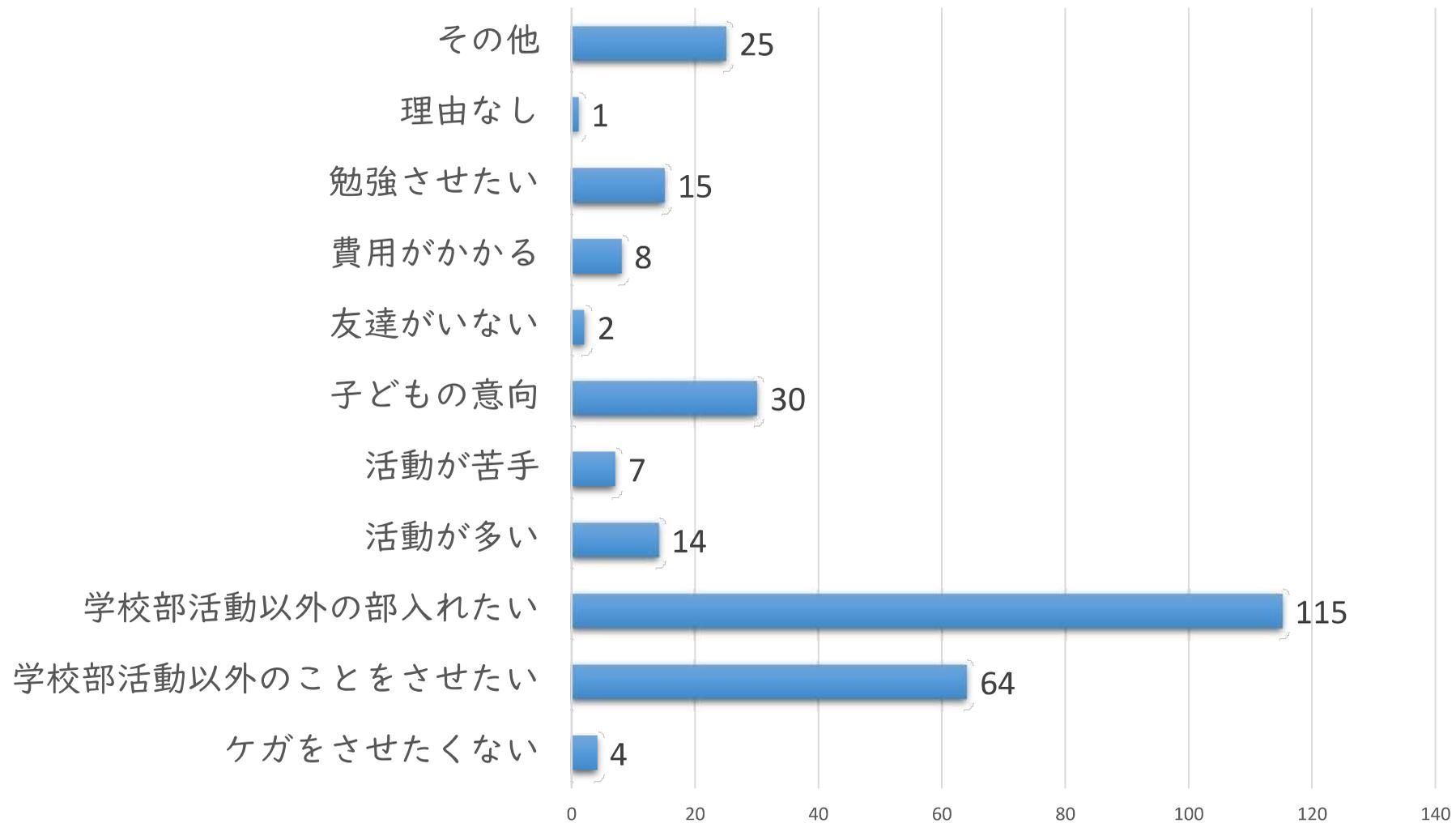


学校部活動に期待することは何ですか

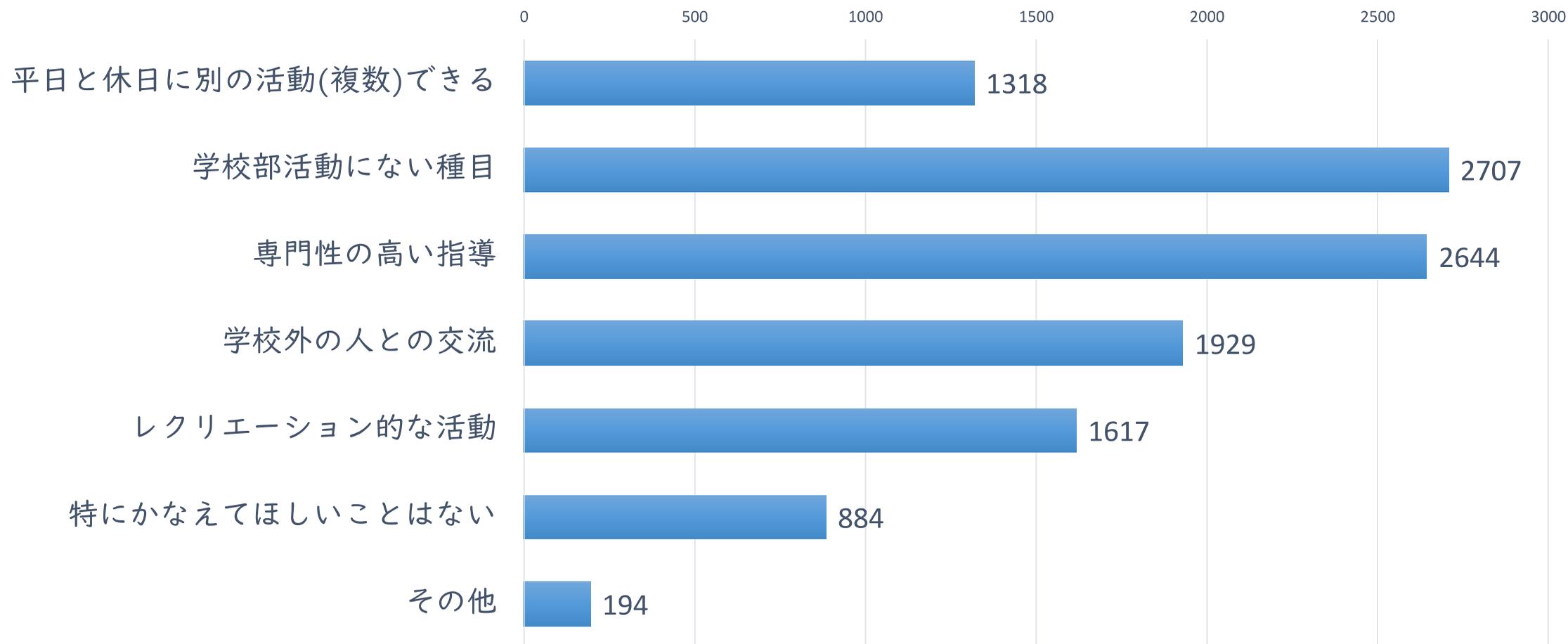
【6,350人回答】



学校の部活動に入部させたくない理由は何ですか 【171人回答】

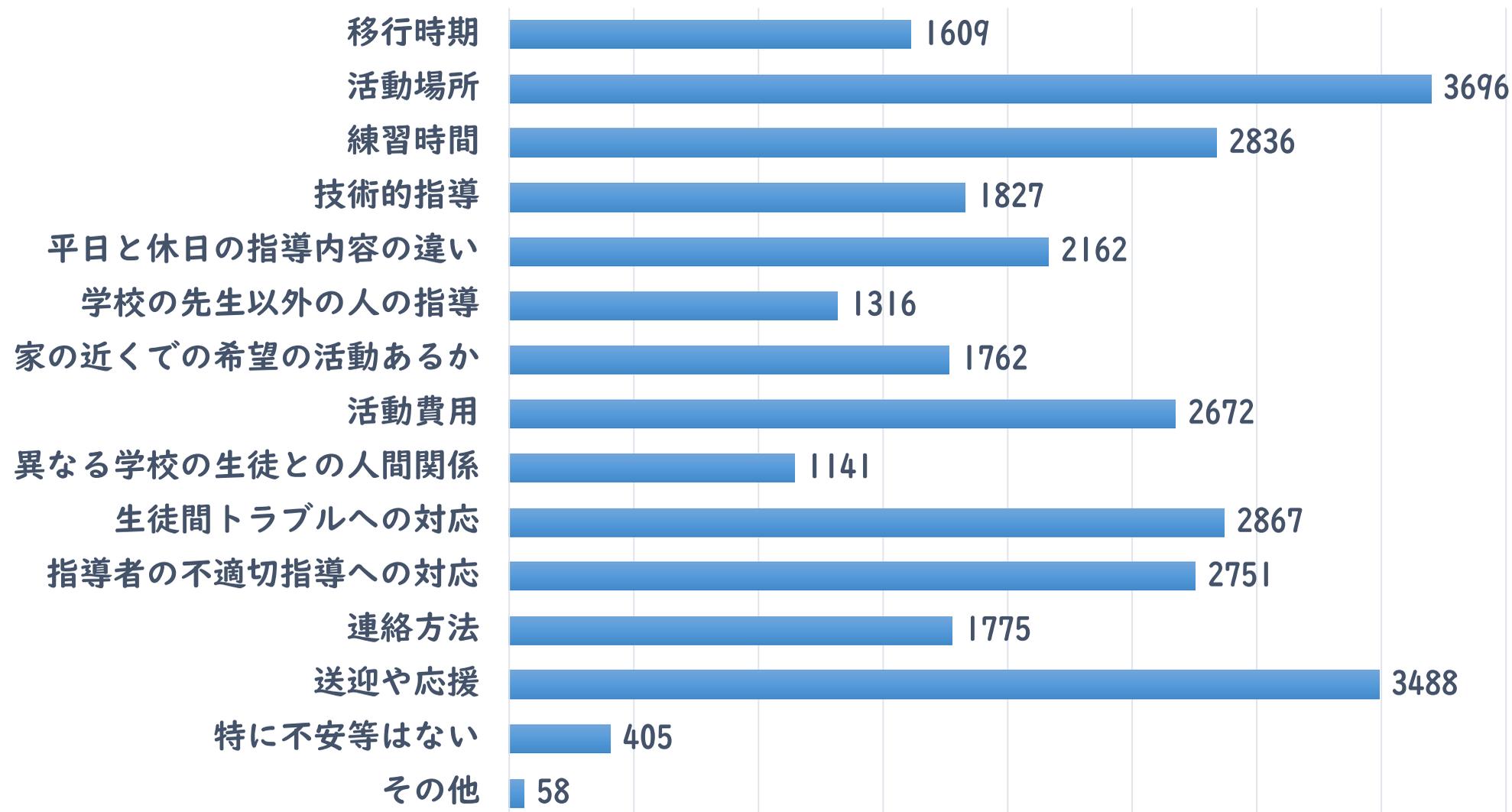


地域クラブ活動においてかなえてほしいと思うことは何ですか 【6,425人回答】

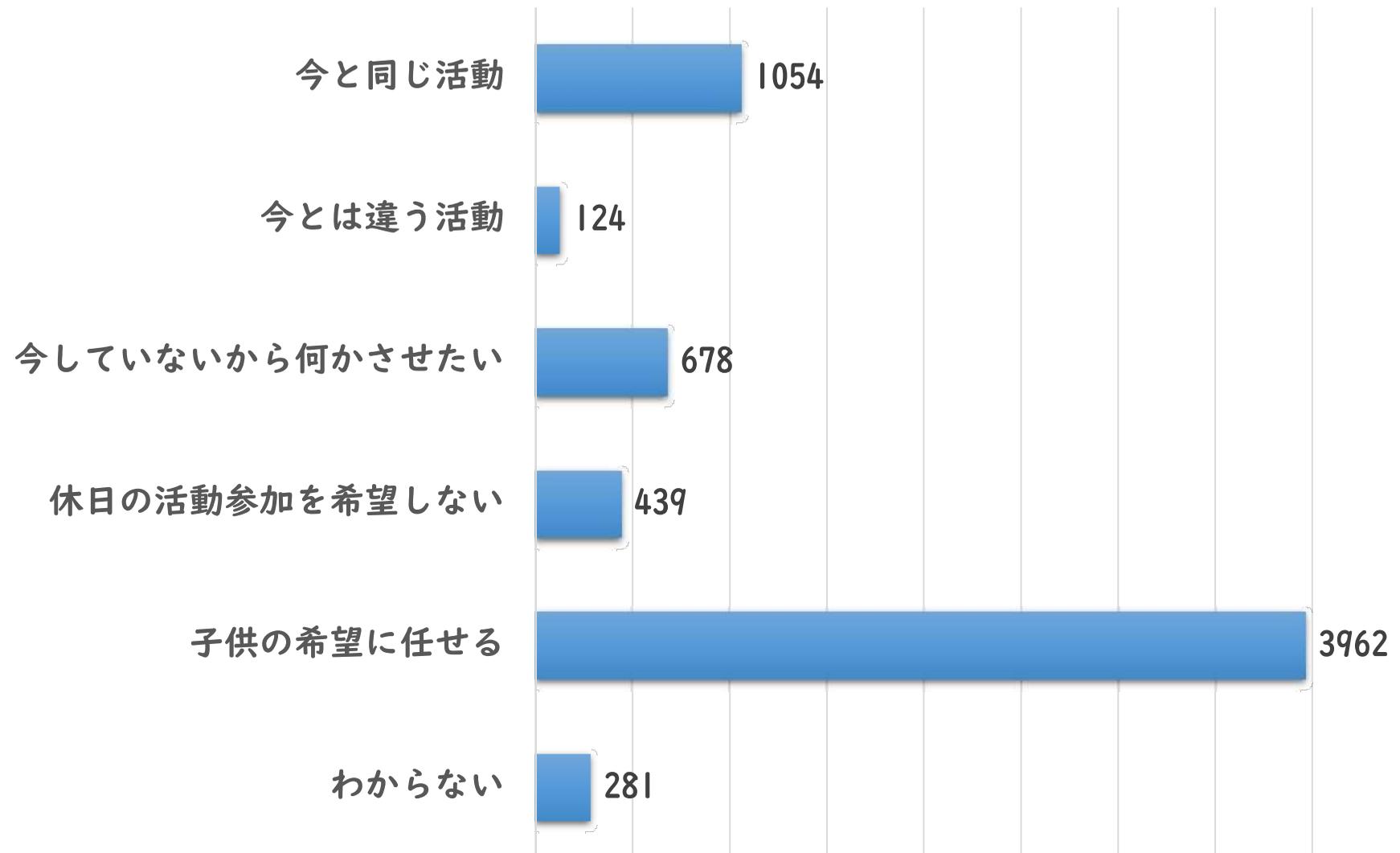


地域クラブ活動において心配や不安に思うことは何ですか

【6,482人回答】



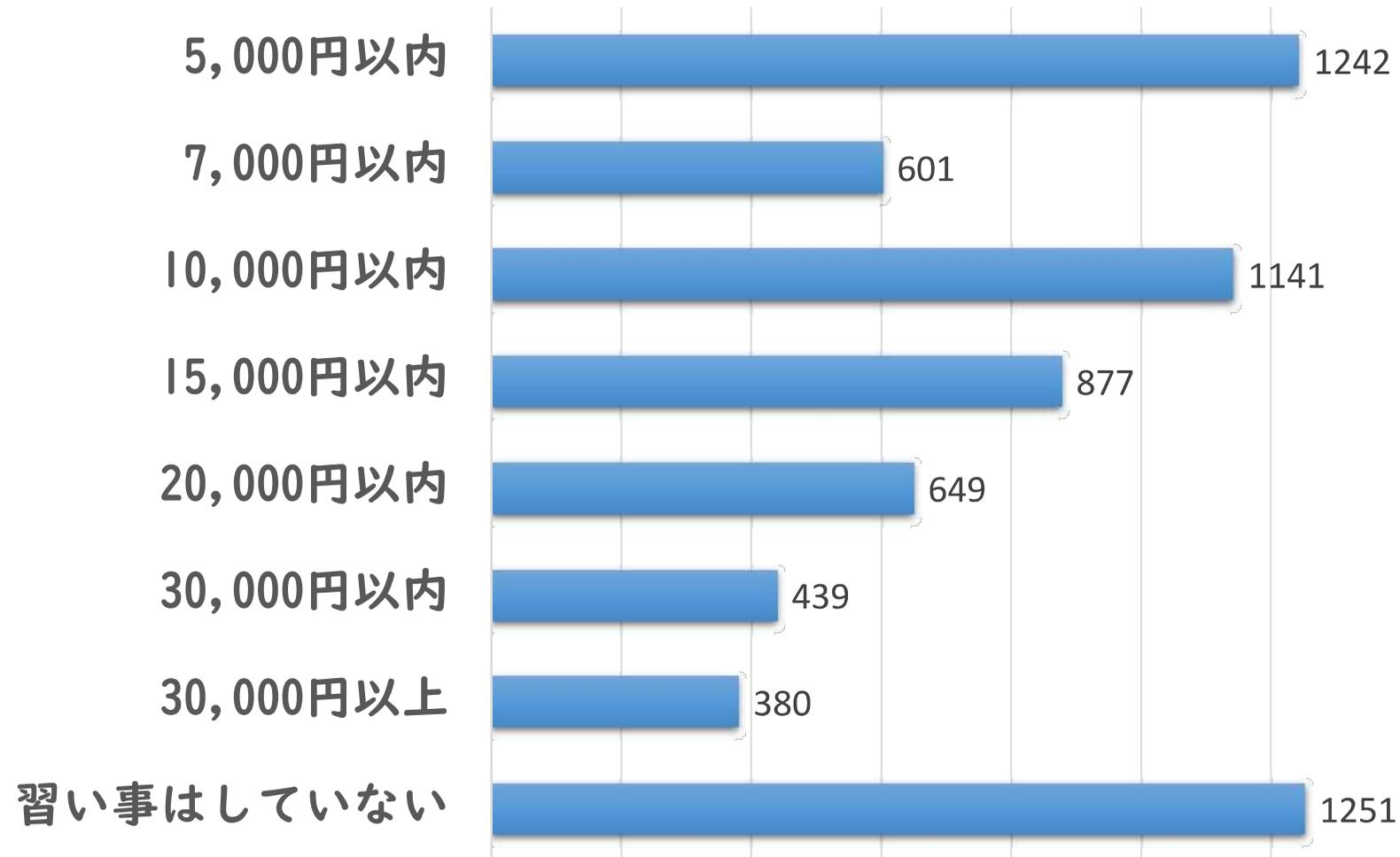
地域移行後のあなたの希望に近いものは何ですか 【6,538人回答】



地域クラブ移行後、どれぐらいの経済負担が適切か 【6,538人回答】

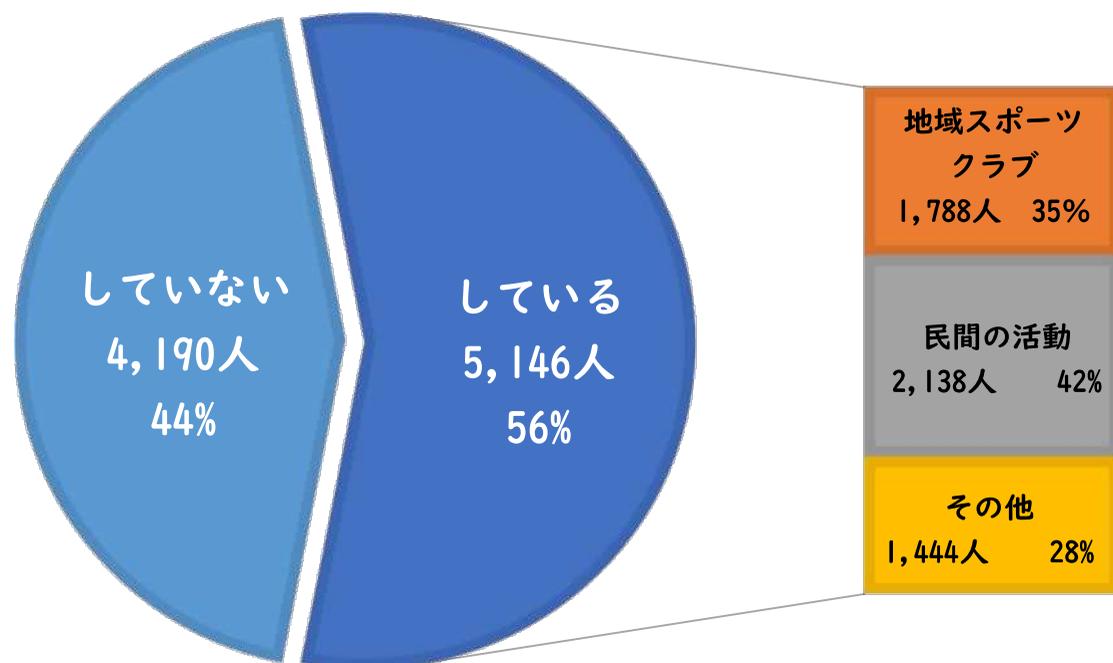


現在の習い事の総費用は月額いくらですか 【6,580人回答】



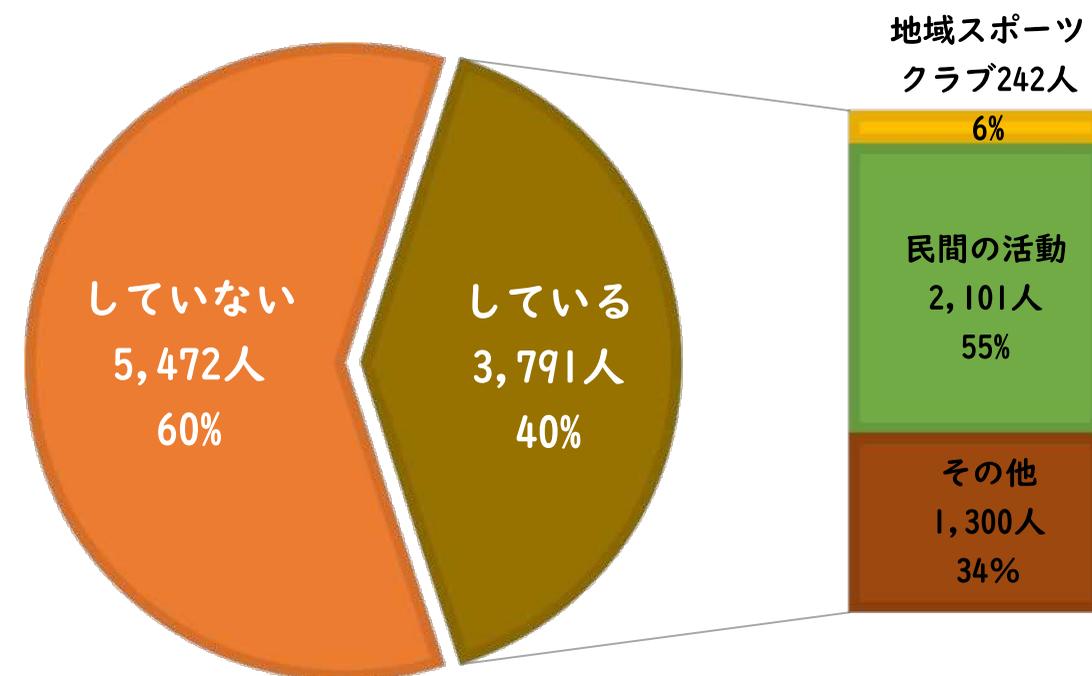
学校以外で運動系の活動をしていますか

【9,336人回答】



学校以外で文化系の活動をしていますか

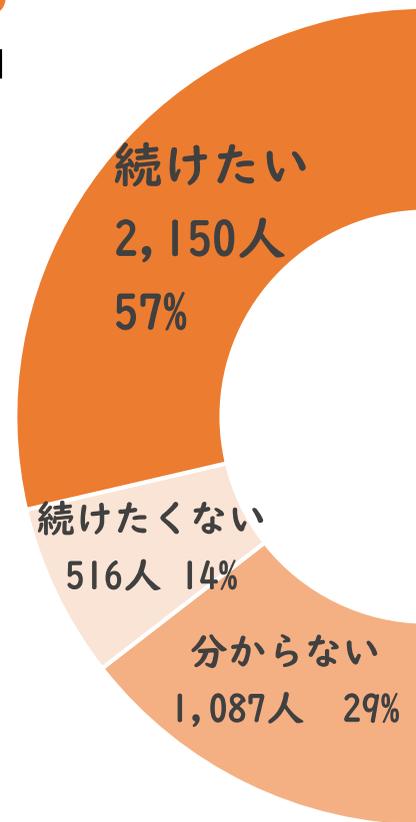
【9,263人回答】



今していることを続けたいですか？

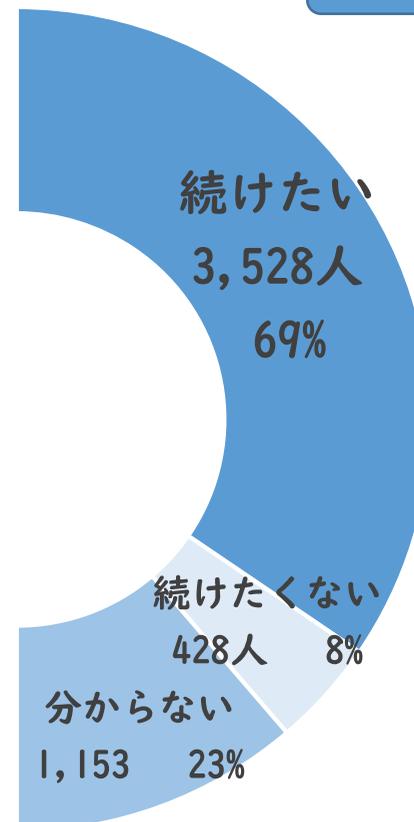
文化系の活動をしている児童

【3,753人回答】

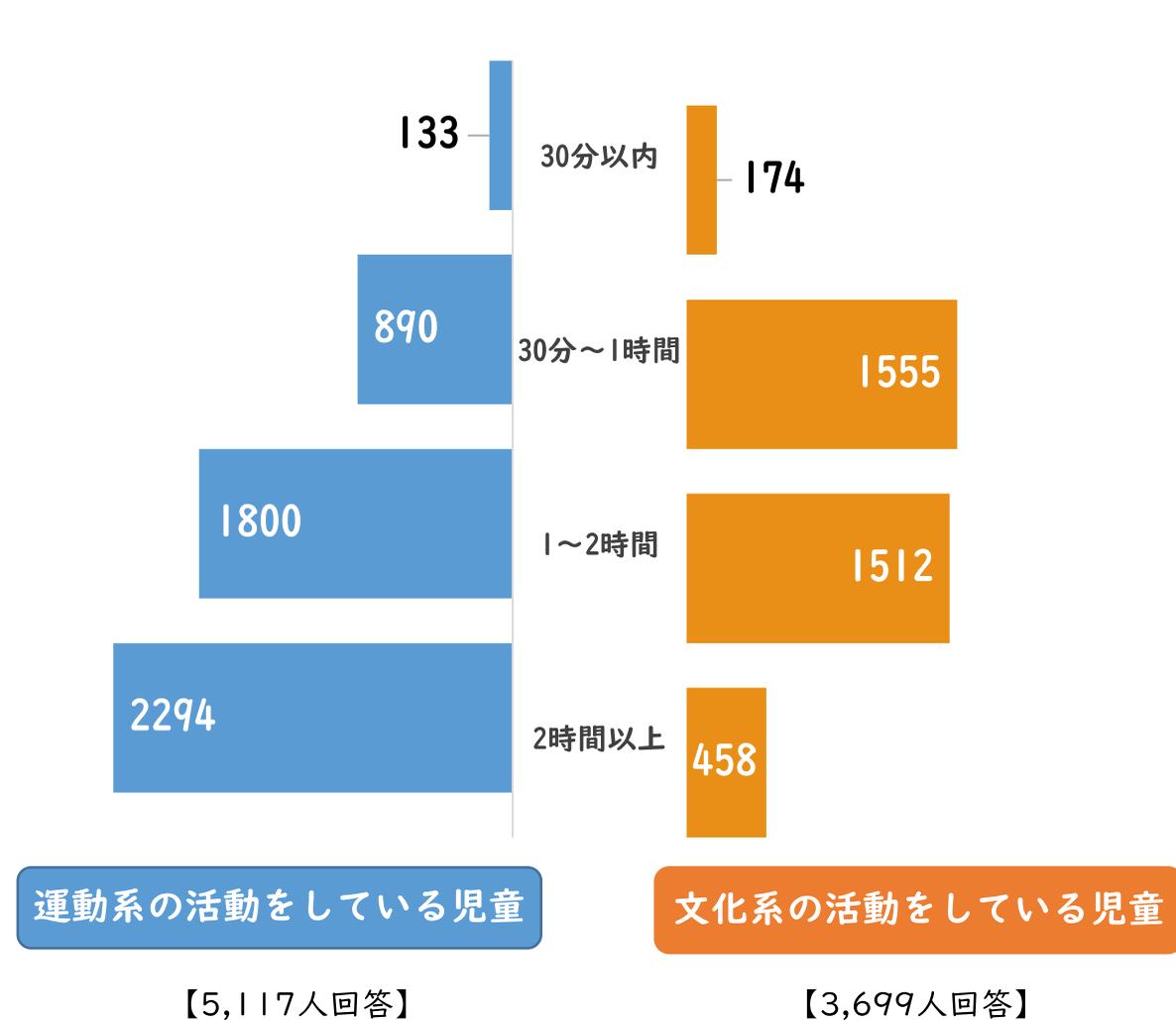


運動系の活動をしている児童

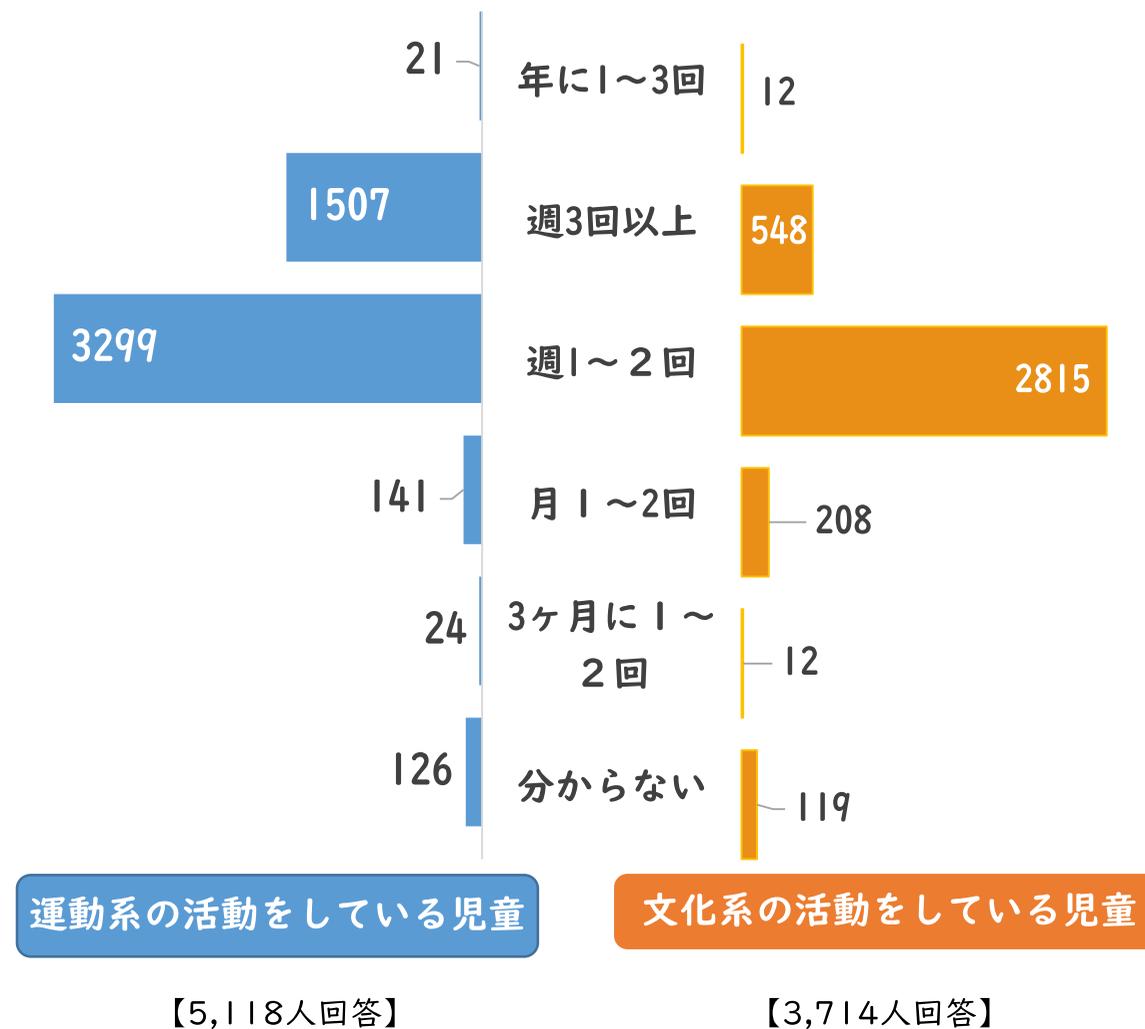
【5,109人回答】



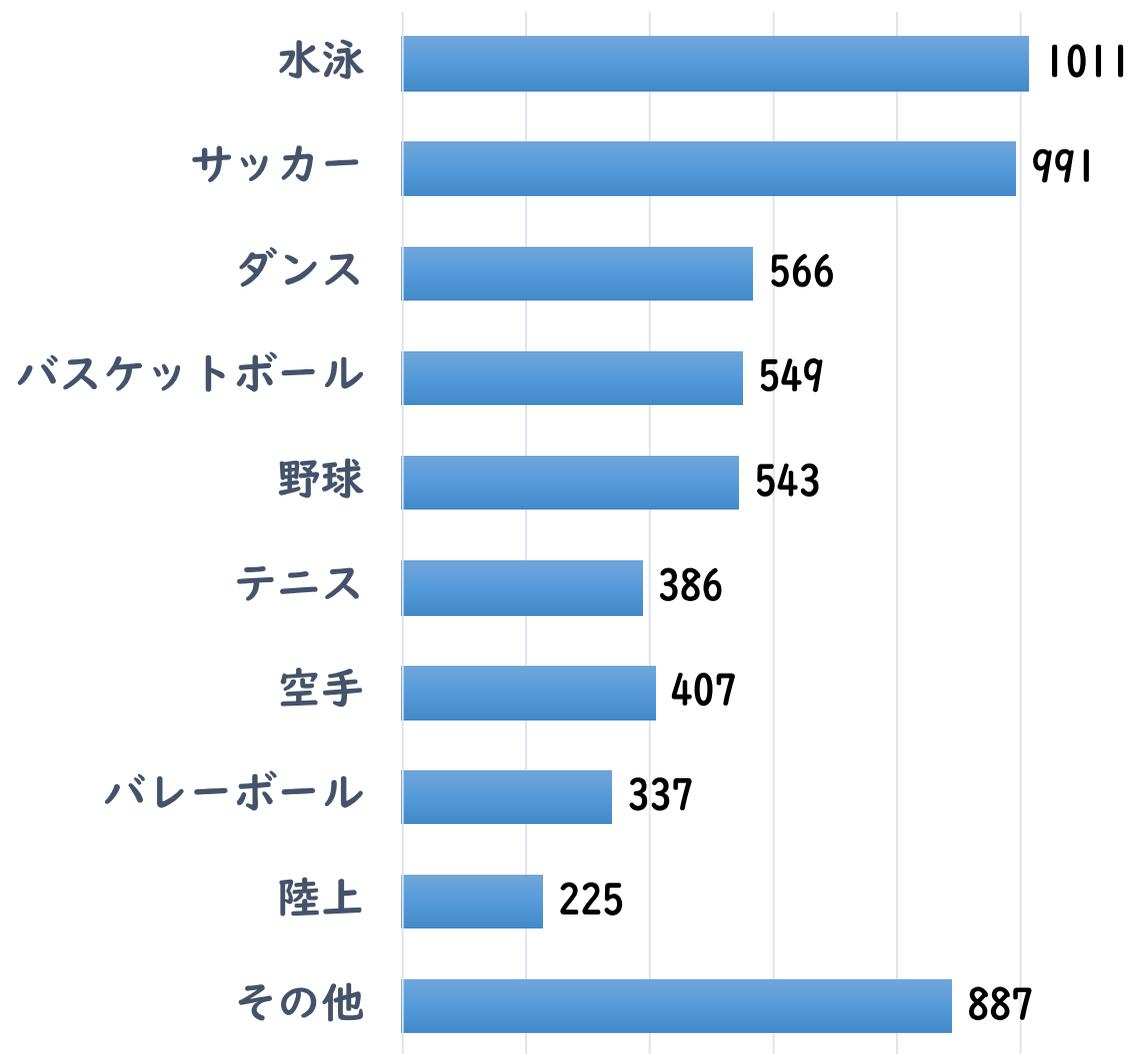
学校以外の活動時間数



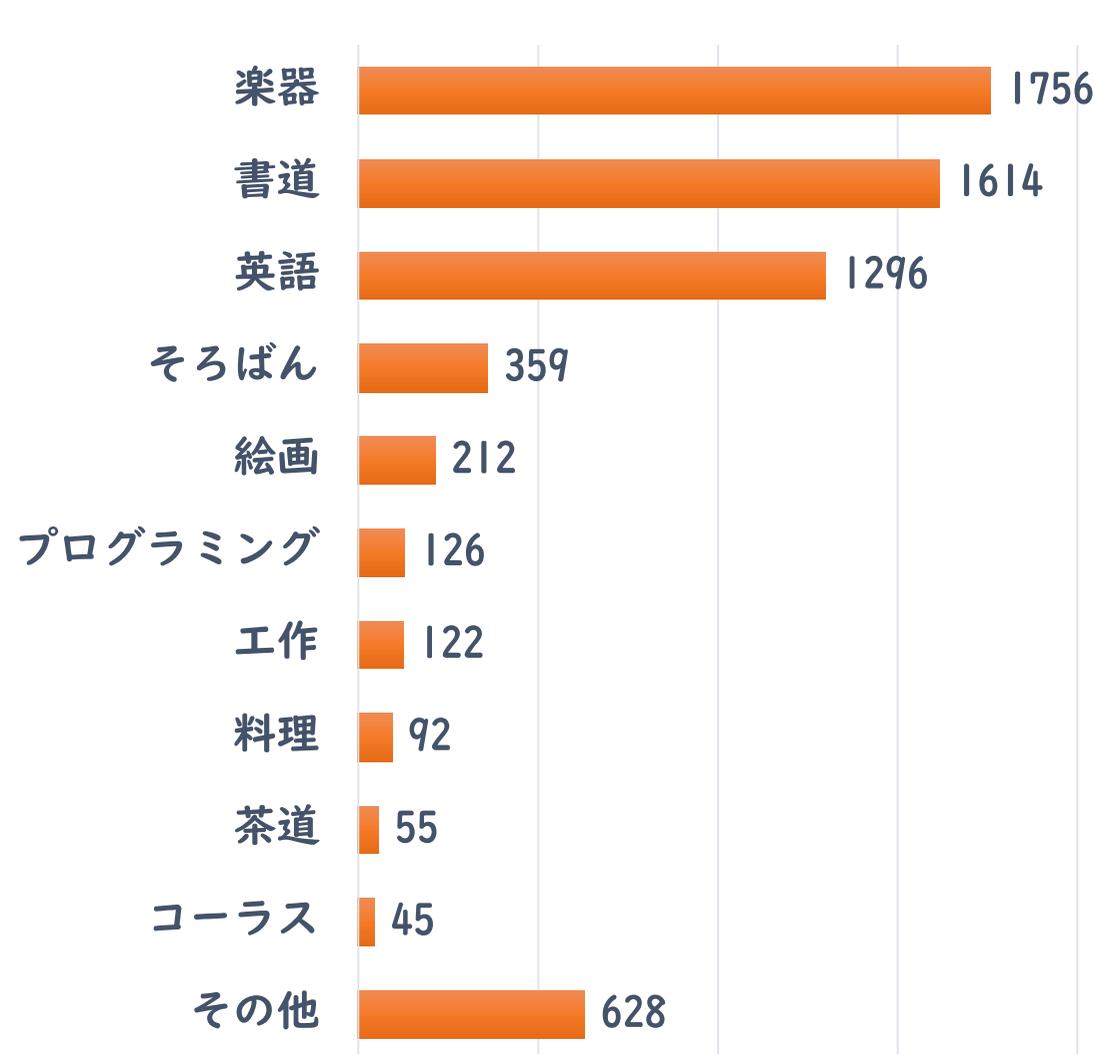
学校以外の活動日数



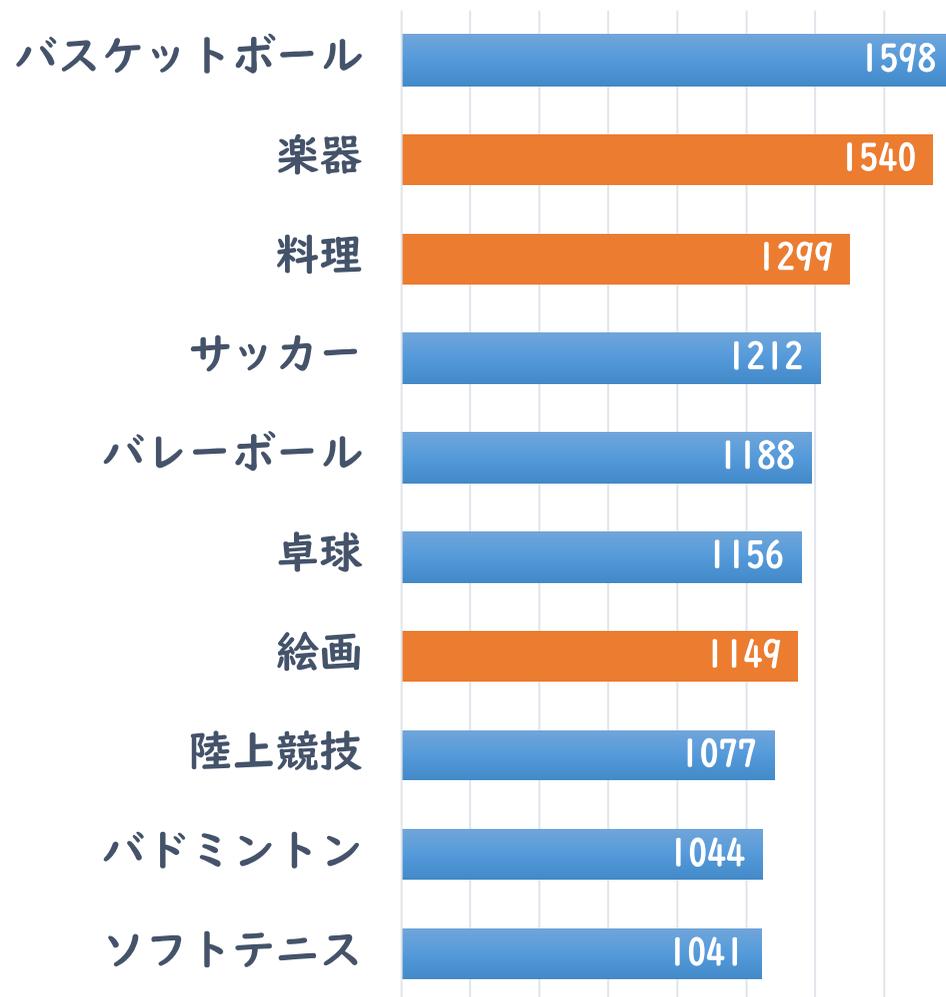
今している運動系の活動 【5,127人回答】



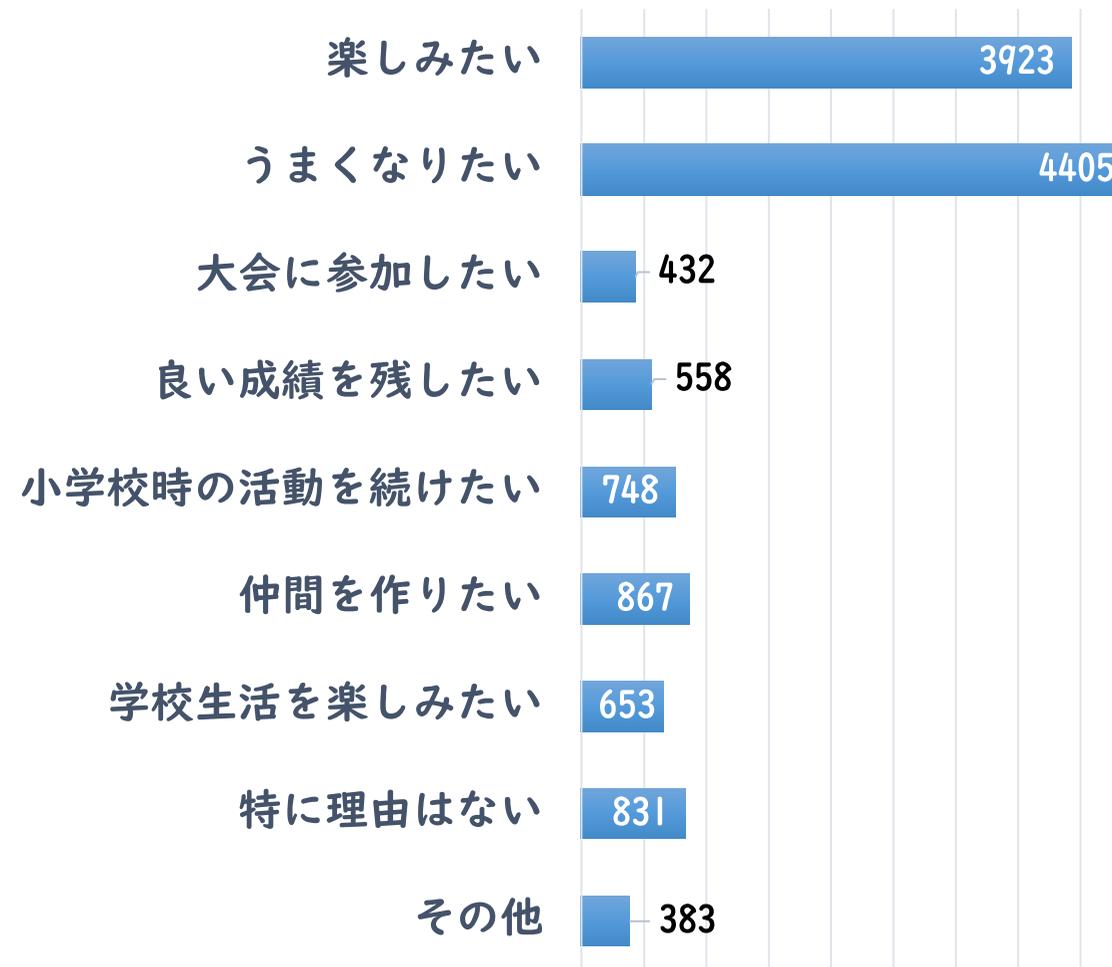
今している文化系の活動 【3,772人回答】



中学校でしてみたい事 【9,038人回答】



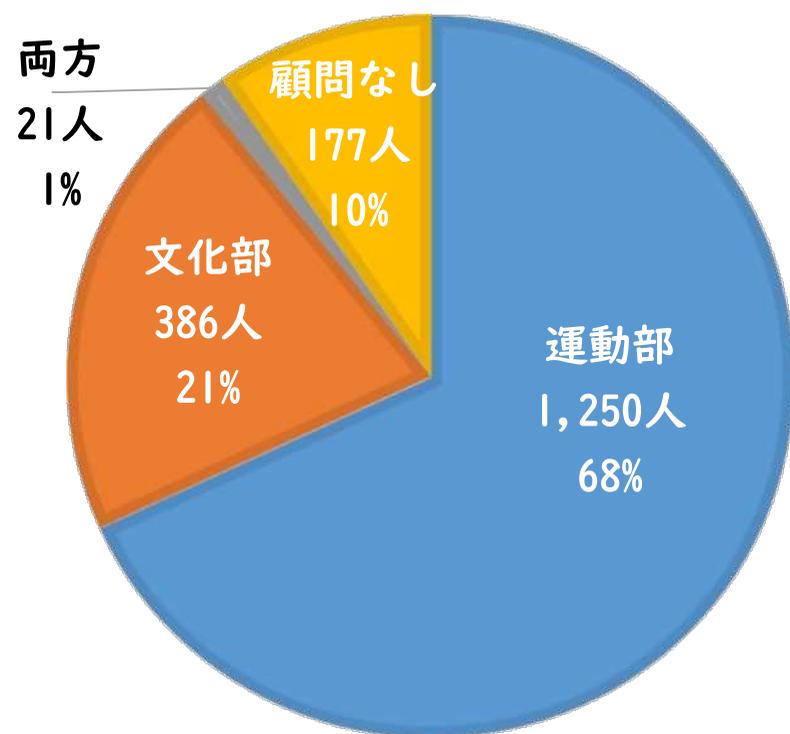
中学校で部活動をしてみたい理由 【8,587人回答】



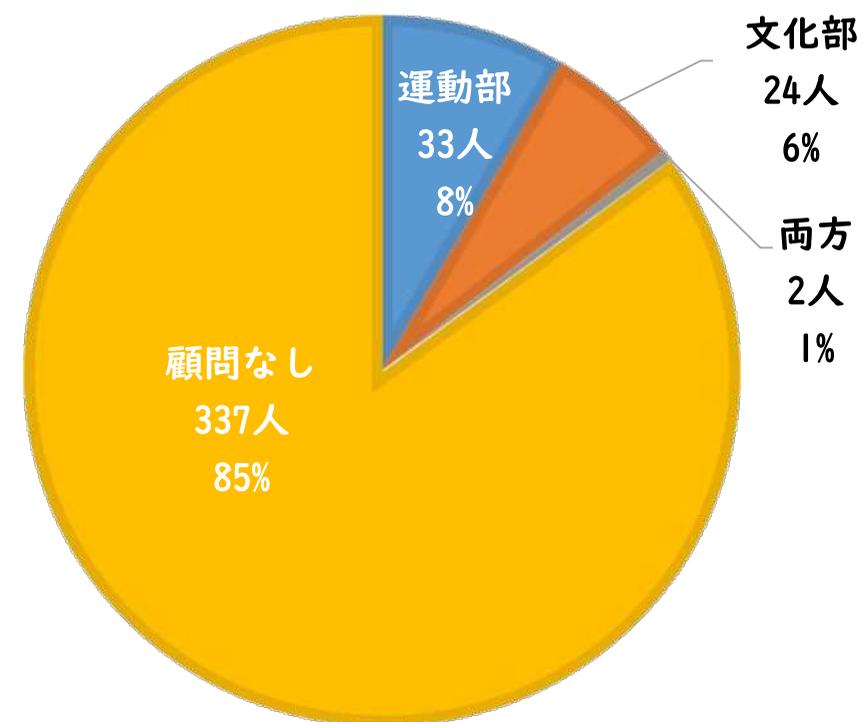
【文化部 146人回答】

現在の部活動との関わり

中学校教員 【1,834人回答】

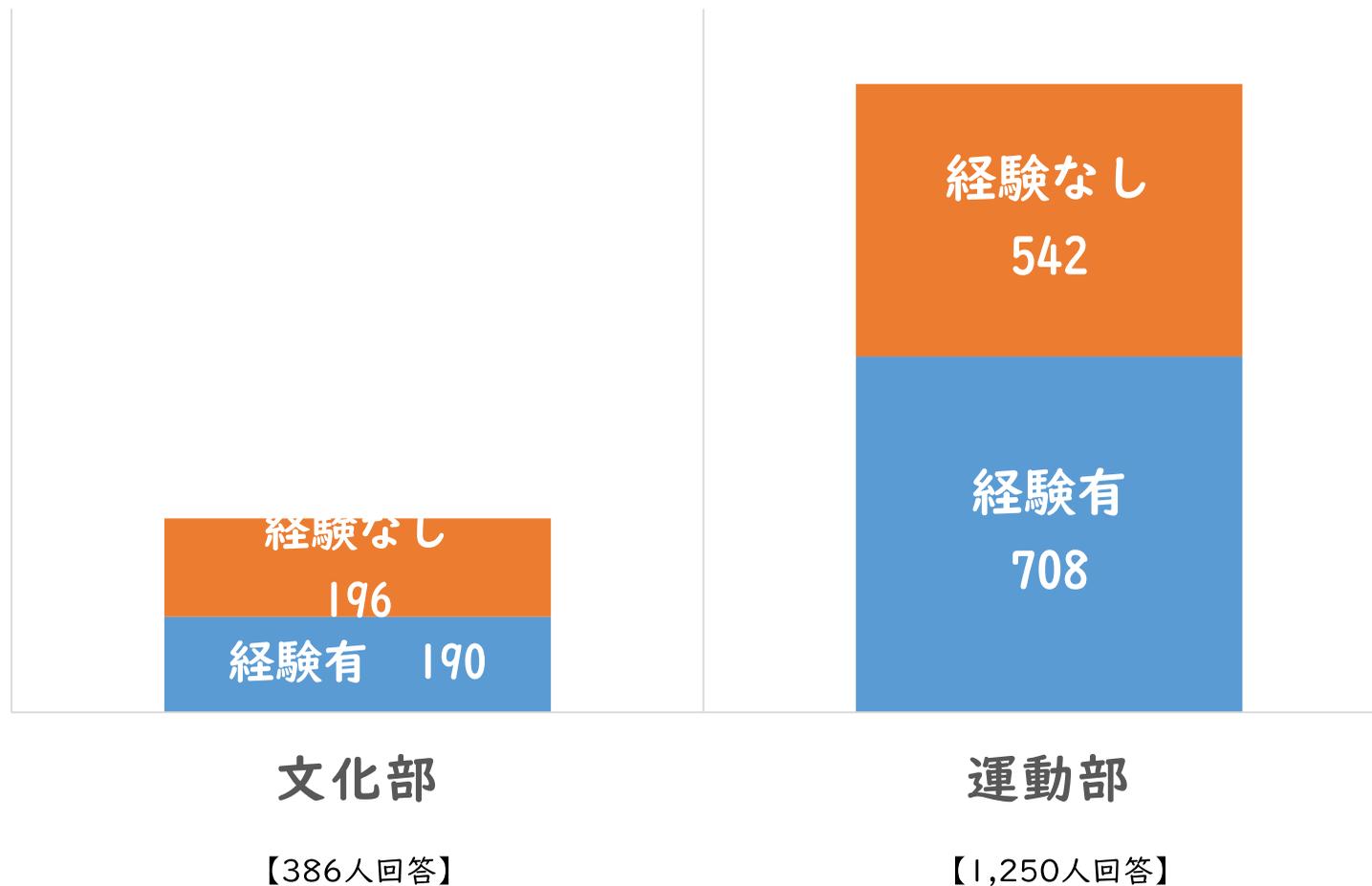


特別支援学校教員 【396人回答】

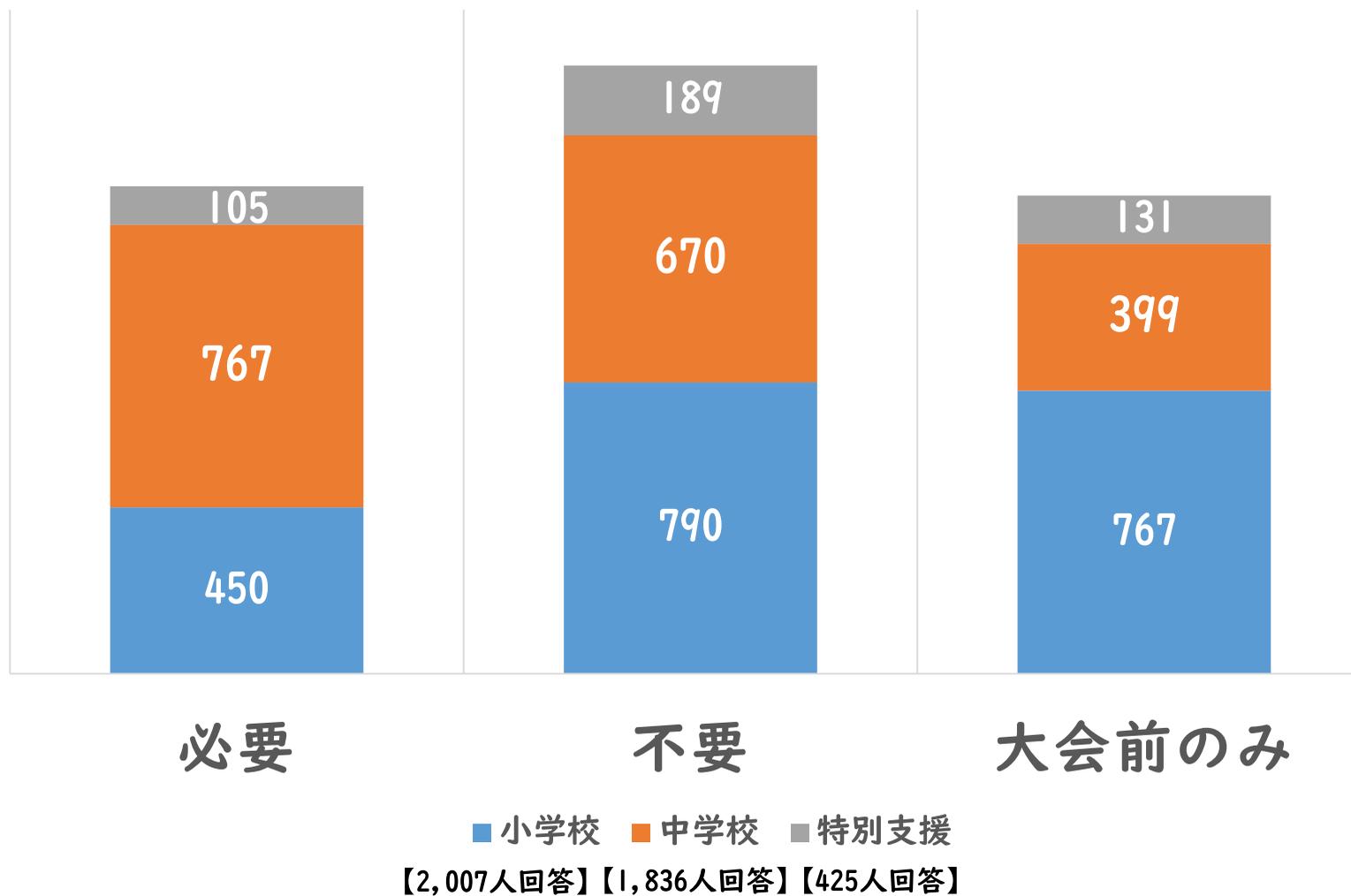


顧問をしている活動の経験の有無

【文化部 146人回答】

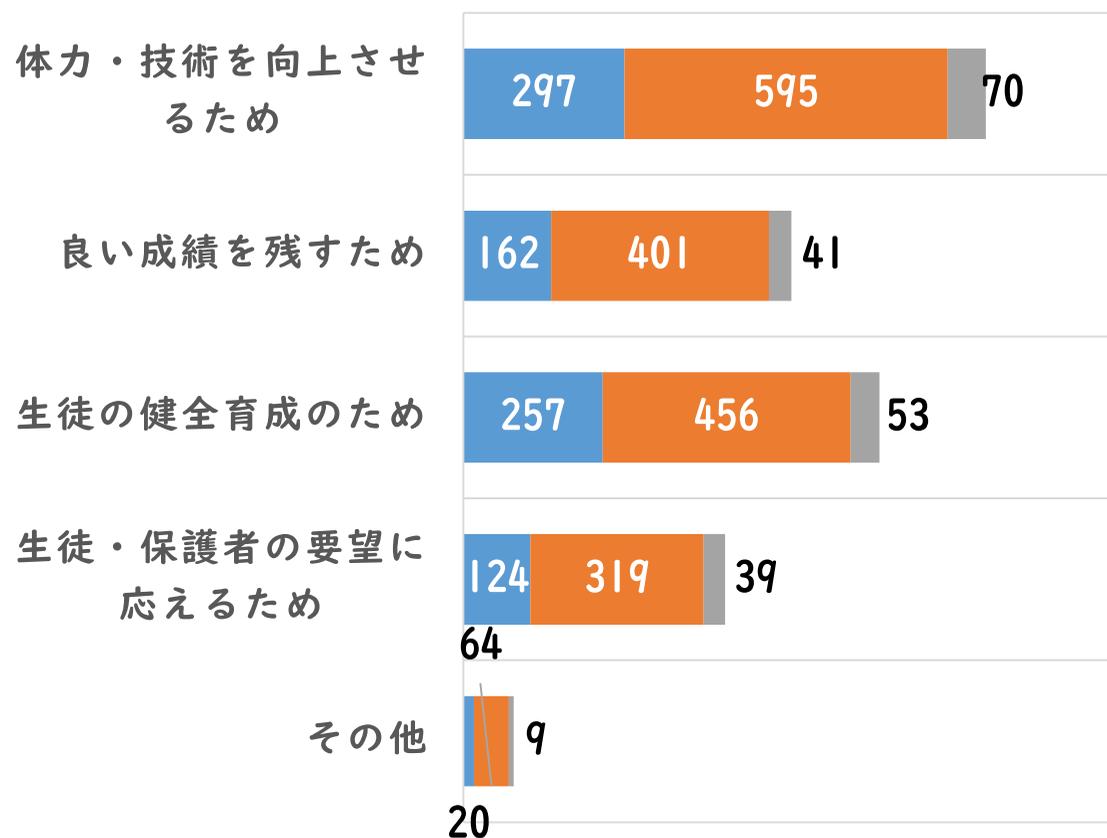


休日部活動の必要性 【4,268人回答】



休日の部活動を必要だと考える理由

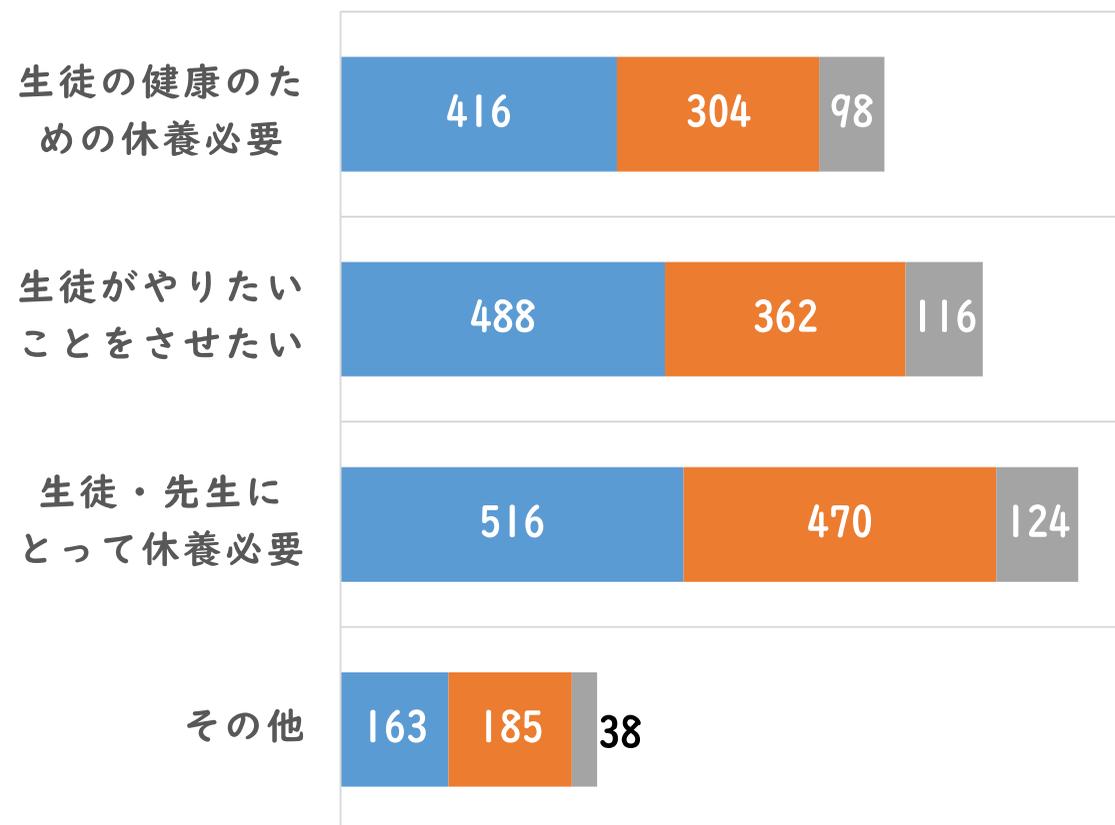
【1,315人回答】



■ 小学校 【448人回答】 ■ 中学校 【762人回答】 ■ 特支学校 【105人回答】

休日の部活動を必要ないと考える理由

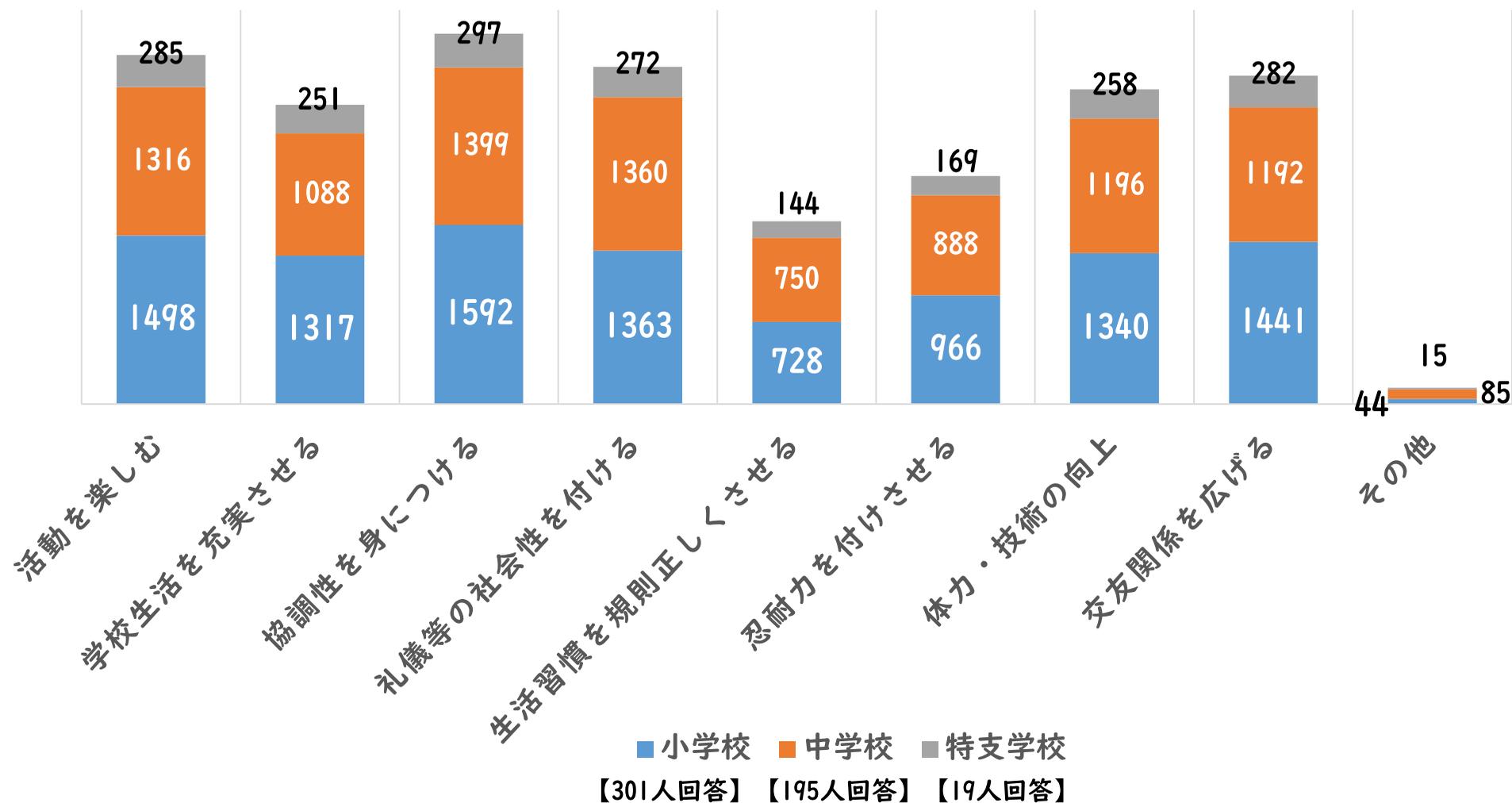
【1,640人回答】



■ 小学校 【786人回答】 ■ 中学校 【665人回答】 ■ 特支学校 【189人回答】

中学校部活動の意義

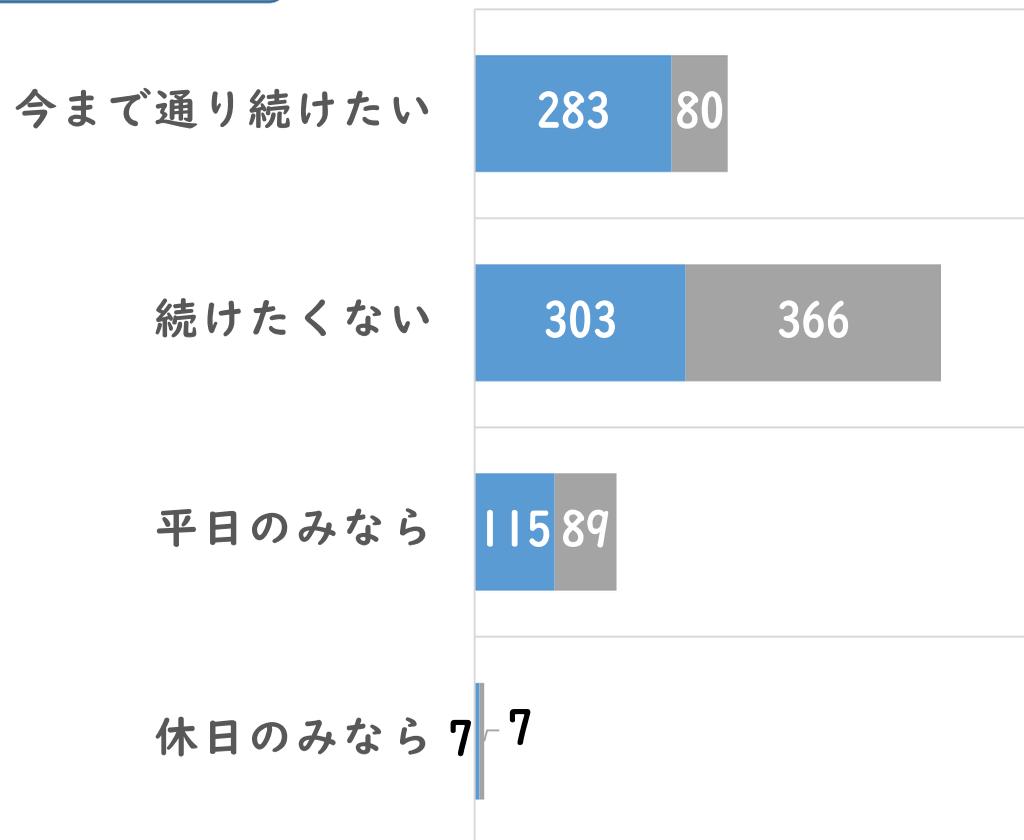
【515人回答】



地域移行後も顧問を続けたいか

運動部顧問

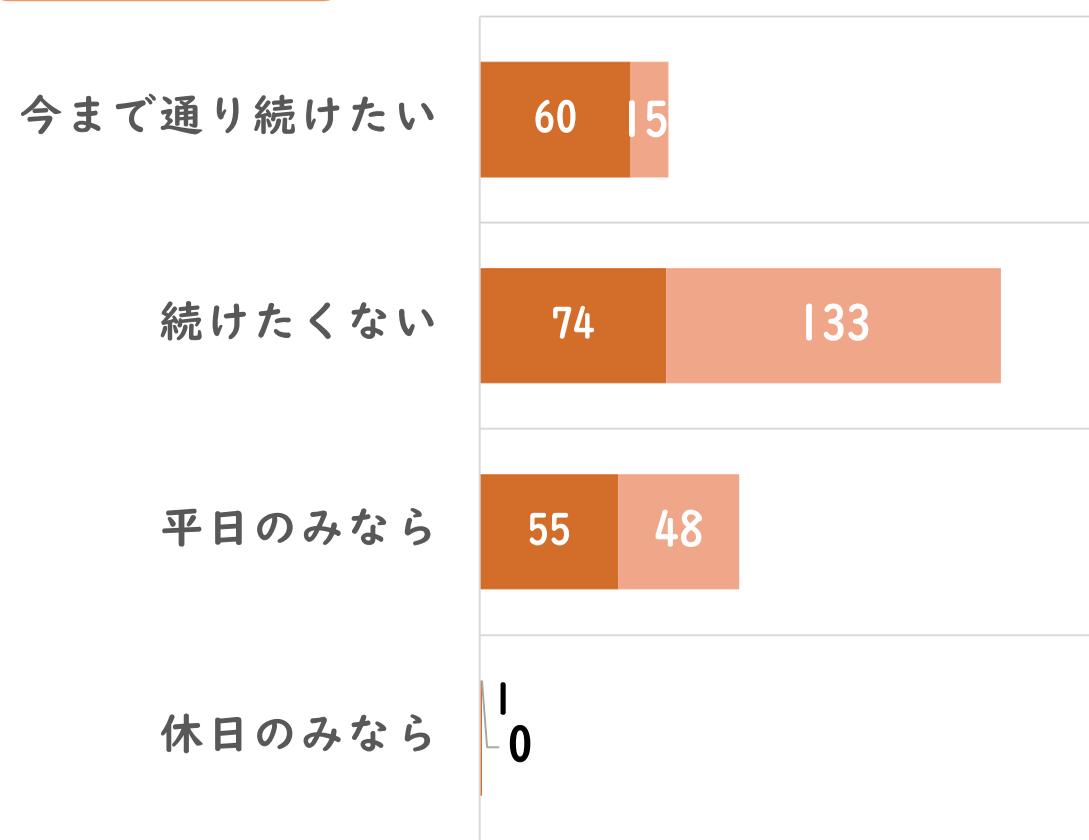
【1,250人回答】



■ 経験有 【708人回答】 ■ 経験なし 【542人回答】

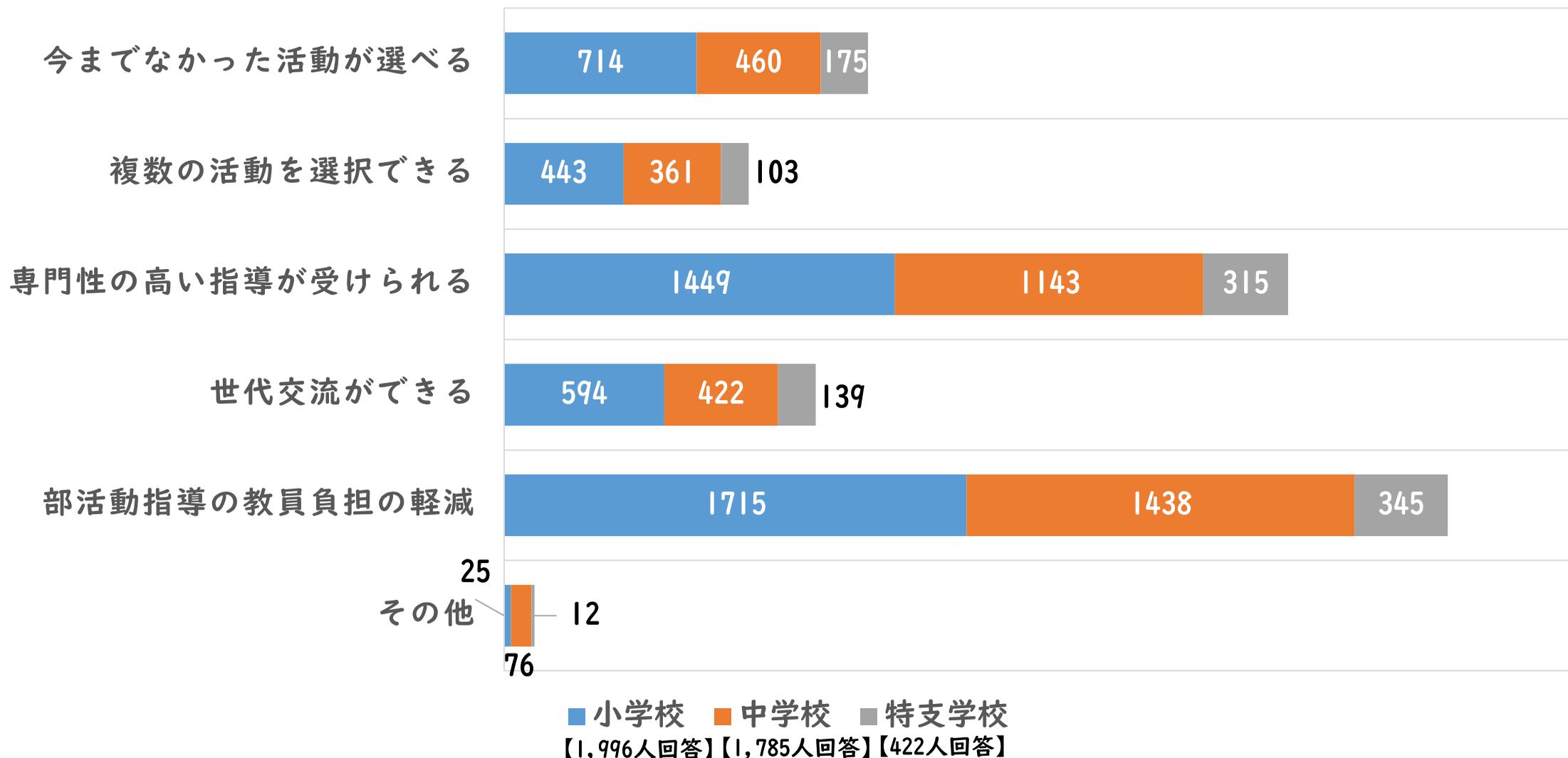
文化部顧問

【576人回答】



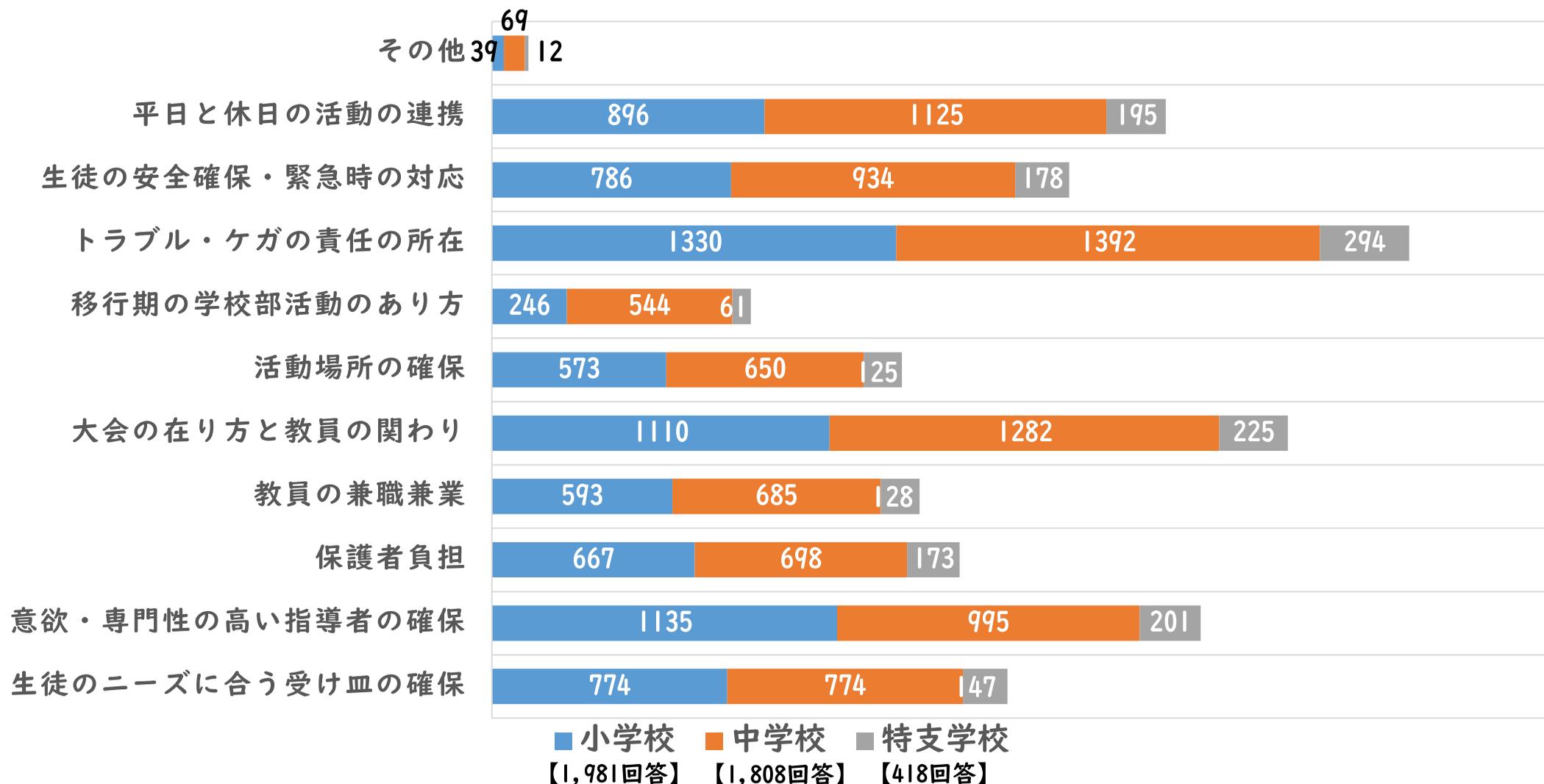
■ 経験有 【190人回答】 ■ 経験なし 【196人回答】

地域クラブの移行について期待することは 【4,203回答】



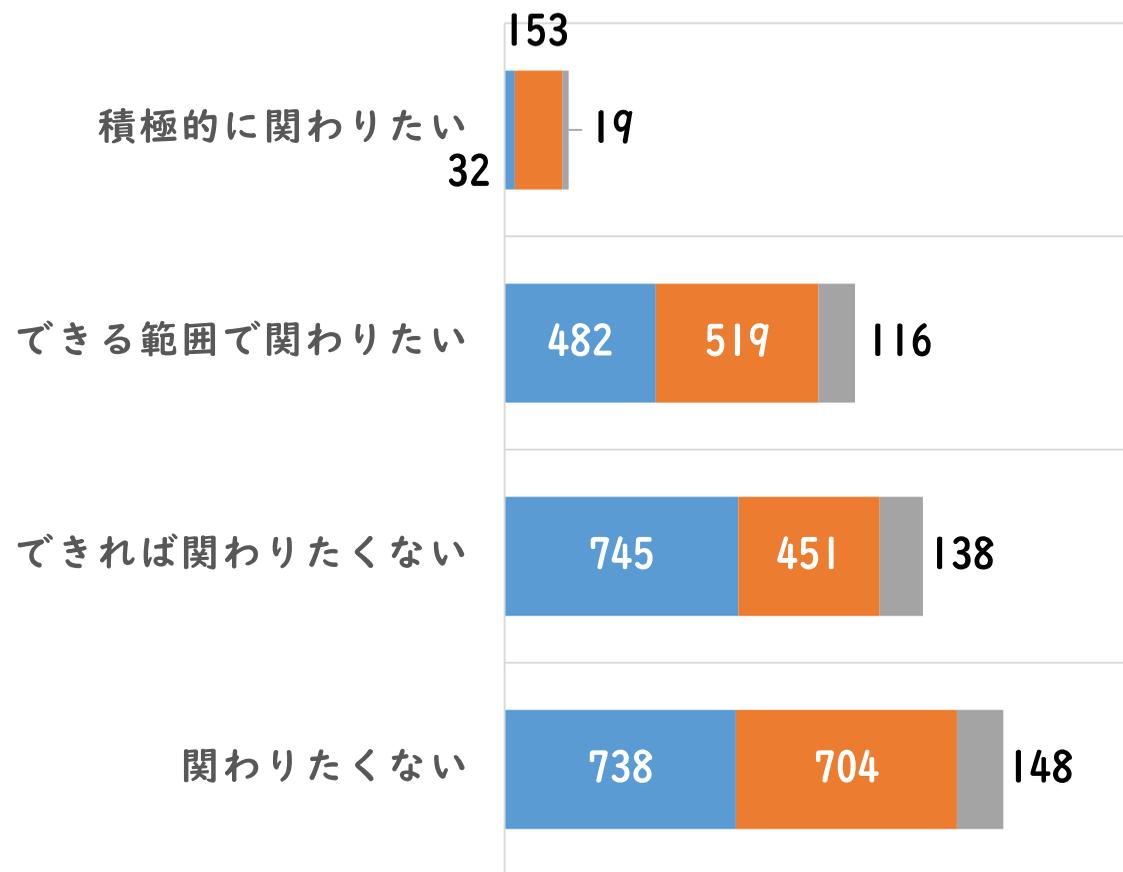
地域クラブへの移行について懸念することは

【4,207回答】



地域クラブへの関わり方は

【4,245人回答】

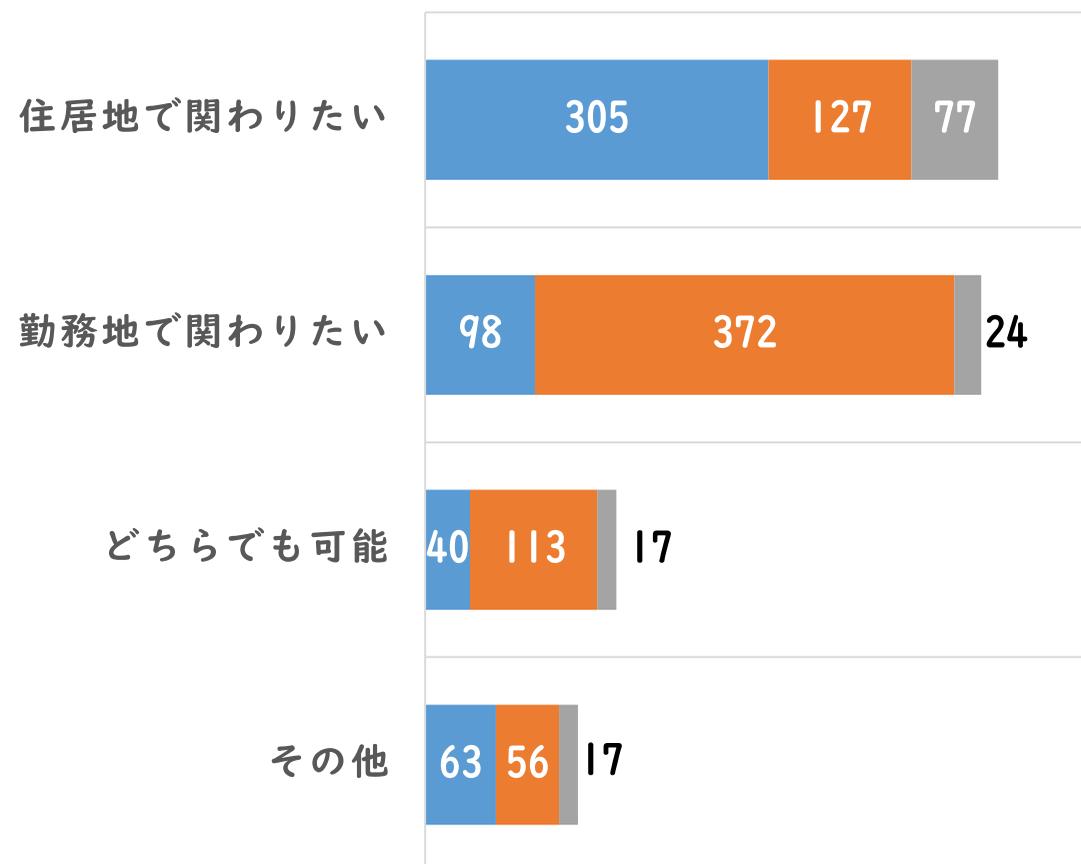


■ 小学校 ■ 中学校 ■ 特支学校

【1,997人回答】【1,827人回答】421人回答

地域クラブへ関わる場合の希望は

【1,309人回答】

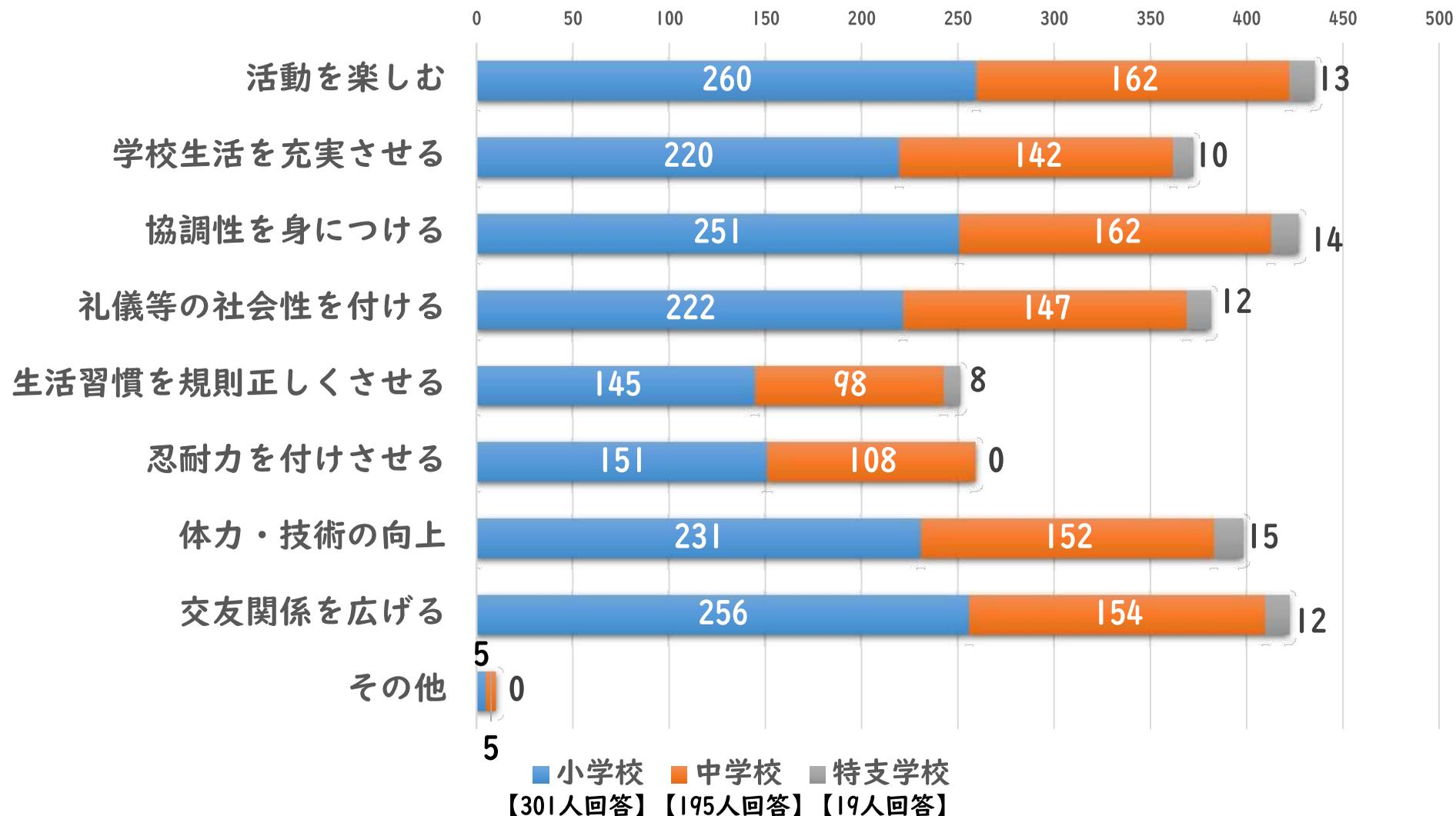


■ 小学校 ■ 中学校 ■ 特支学校

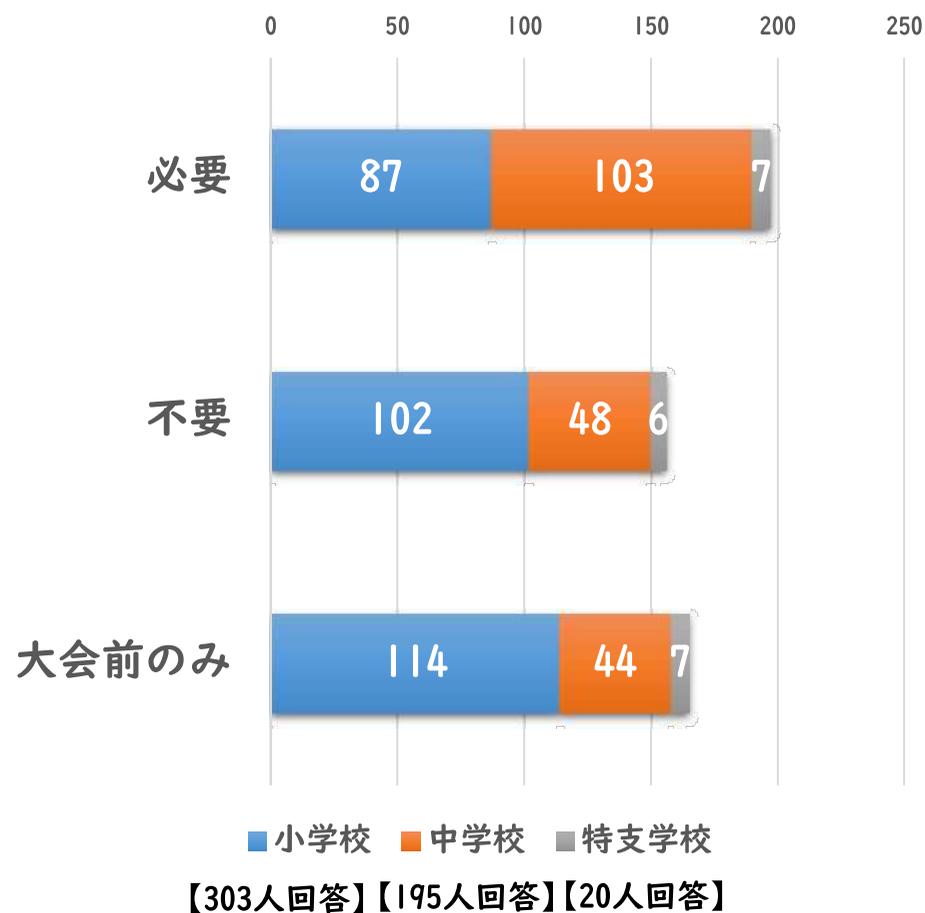
【506人回答】【668人回答】 【135人回答】

中学校部活動の意義

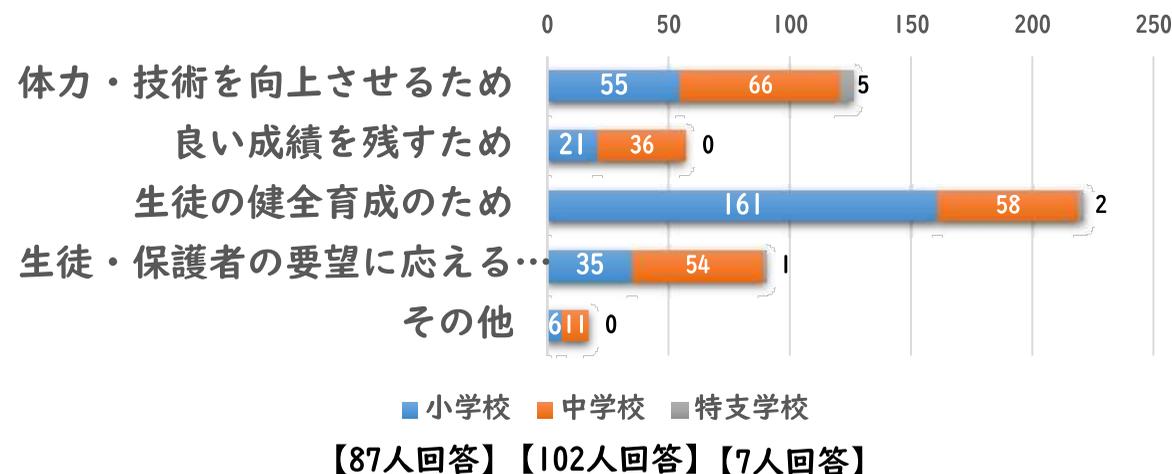
複数回答可【515人回答】



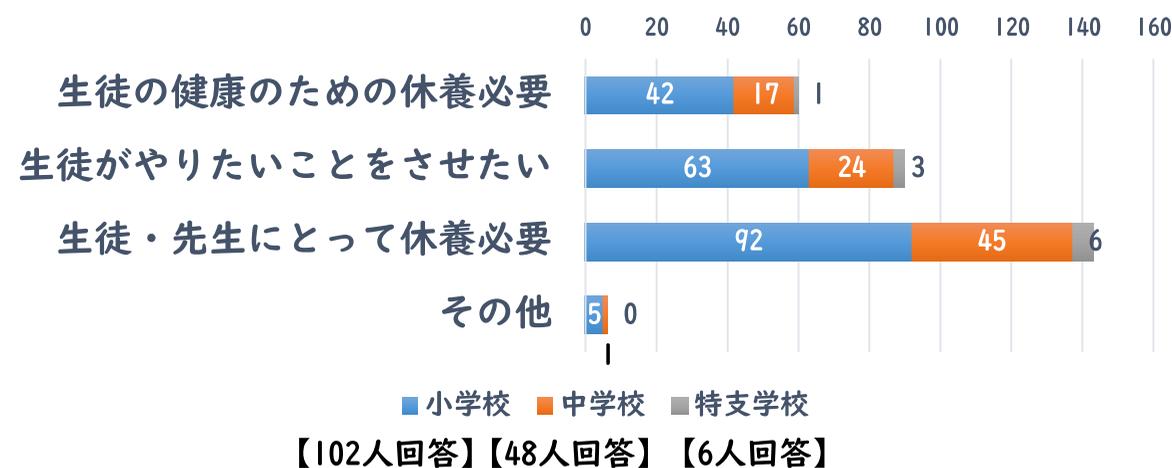
休日部活動の必要性 【518人回答】



休日の部活動を必要だと考える理由 【196人回答】

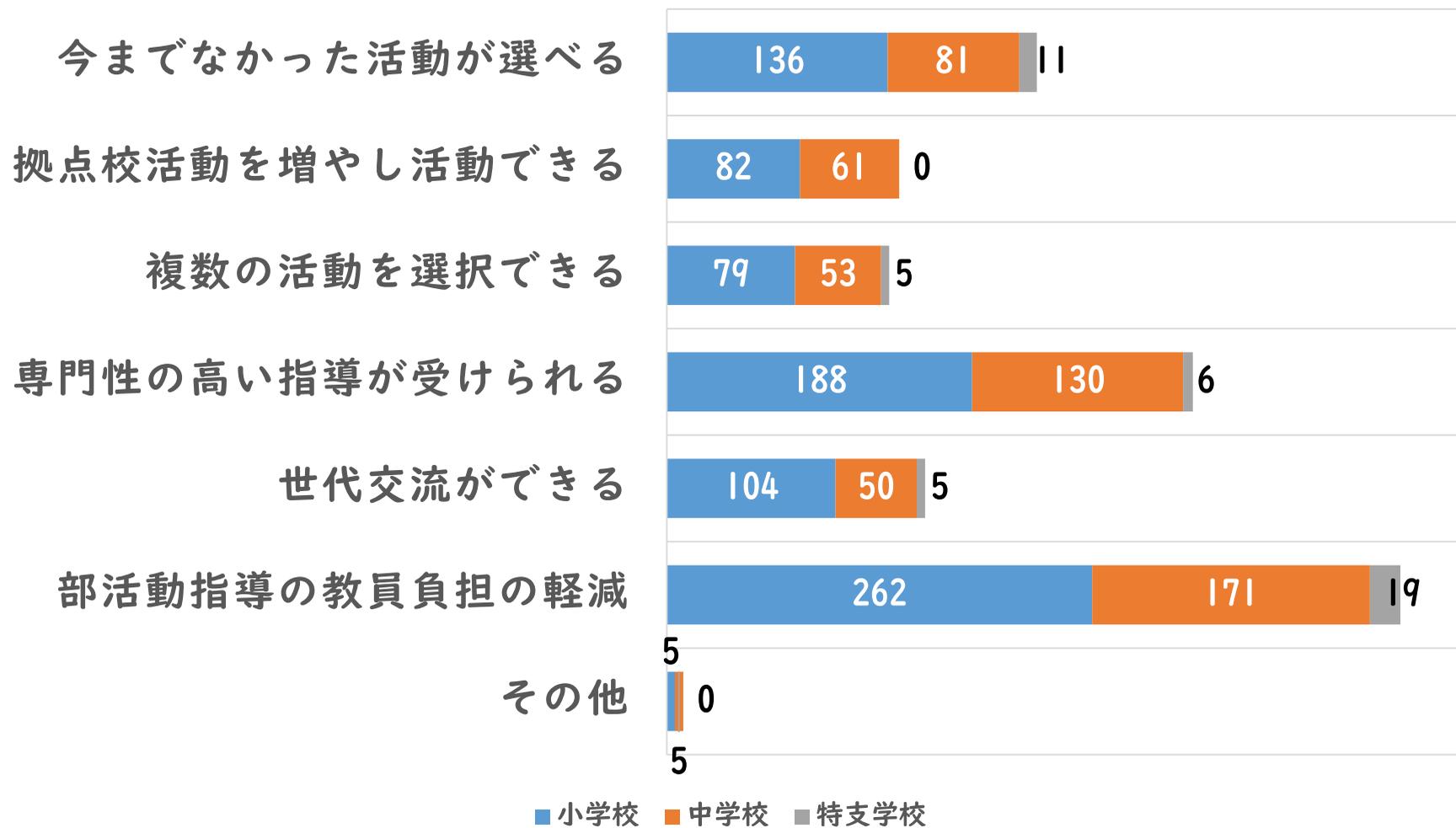


休日の部活動を必要ないと考える理由 【156人回答】



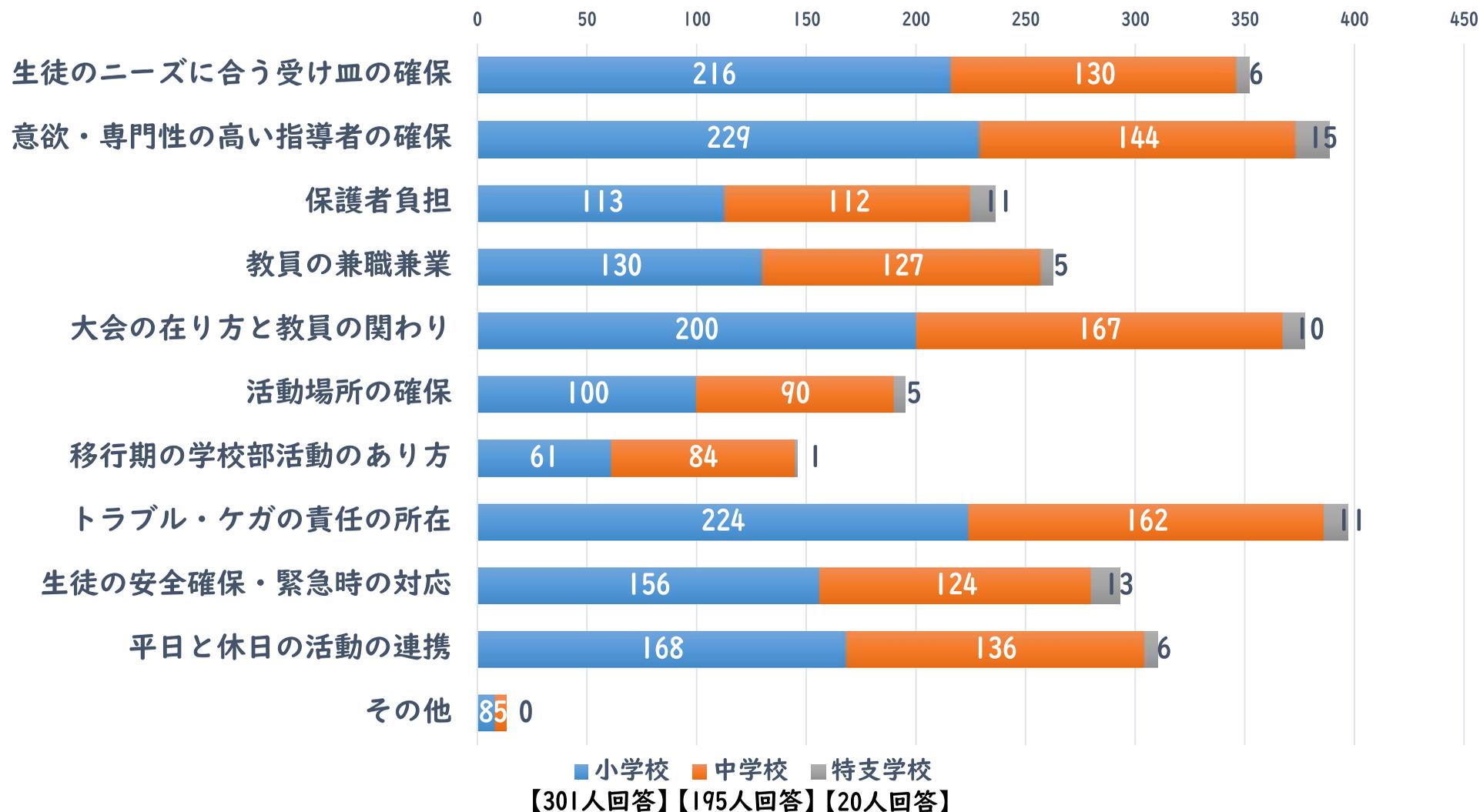
地域クラブへの移行について期待すること

【515人回答】

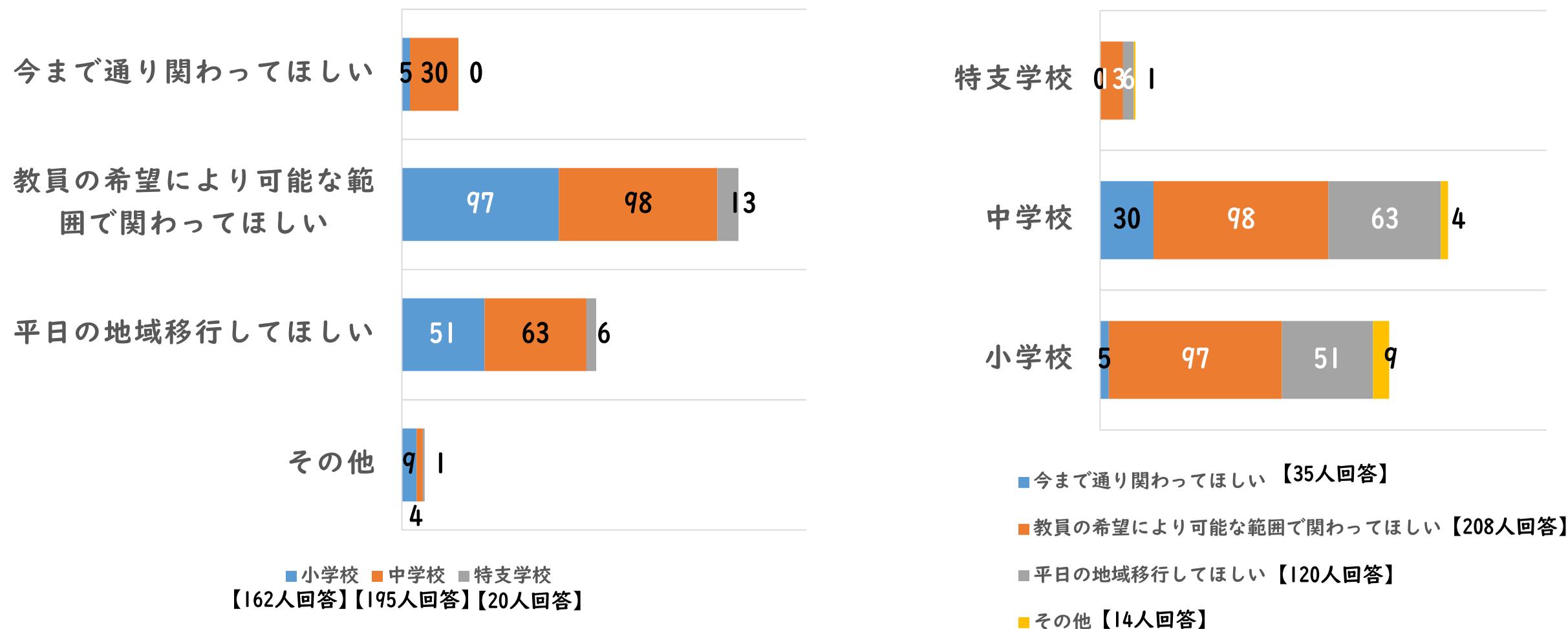


【300人回答】【195人回答】【20人回答】

地域クラブの移行について懸念すること 【516人回答】



地域移行後の教員の関わり方について 【377人回答】



地域移行に関するアンケート（総合型地域スポーツクラブ）

BE KOBE

区別	地スポ 総数	運動系 活動	文化系 活動	活動 総数	回答 地スポ	回答 活動	OK返事 の活動
1 東灘区	14	115	12	127	14	62	34
2 灘区	12	84	15	99	10	58	13
3 中央区	10	72	7	79	8	35	9
4 兵庫区	8	74	10	84	6	17	4
5 北区	34	200	39	239	20	69	35
6 長田区	13	72	6	78	11	21	14
7 須磨区	19	117	17	134	15	37	16
8 垂水区	22	157	27	184	22	67	34
9 西区	28	234	5	239	21	76	23
	160	1125	138	1263	127	442	182

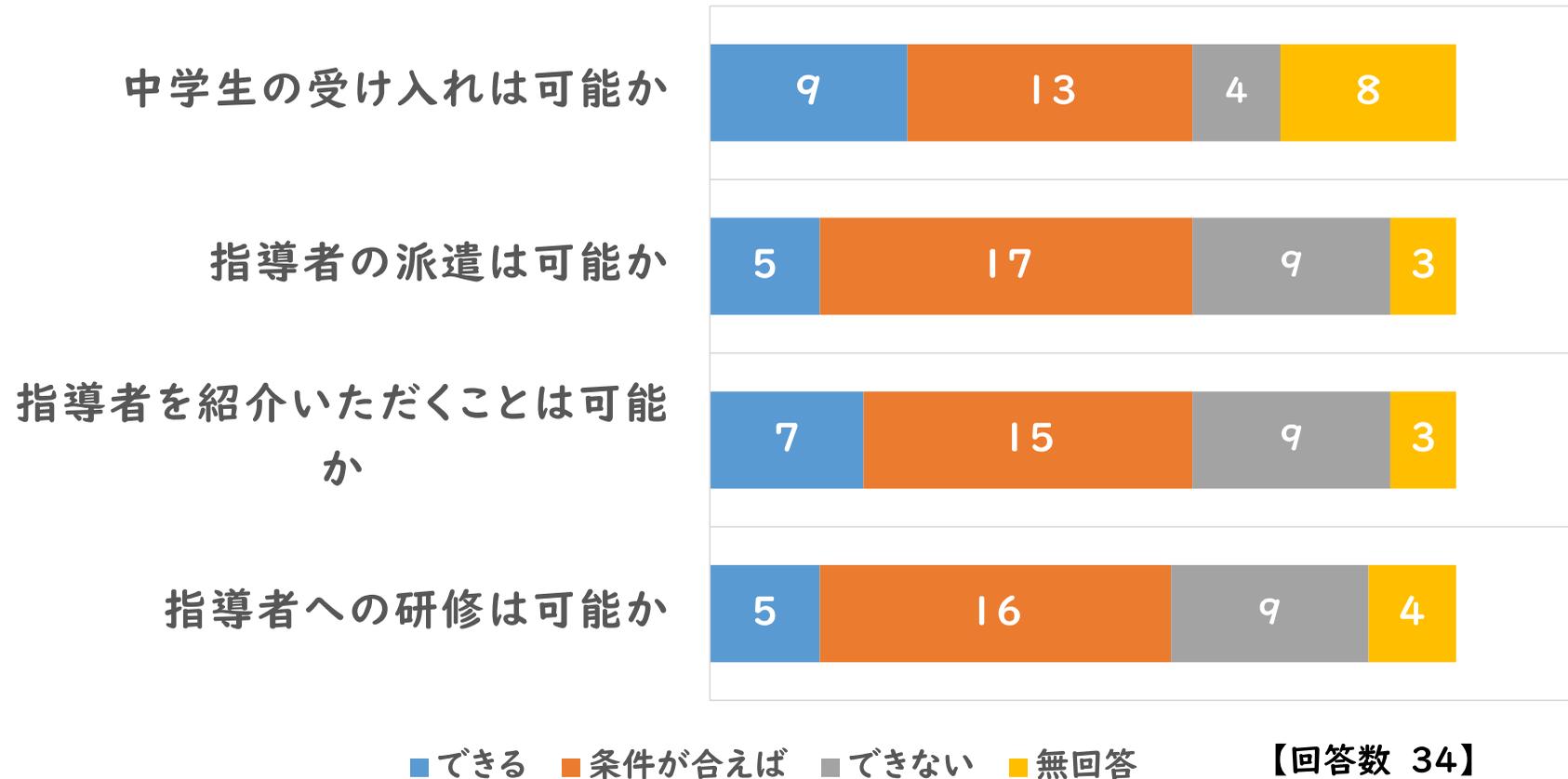
総合型地域スポーツクラブ所属者からのご意見

- ・中学生向けの指導者が不在、練習時間、場所がない
- ・中学校の部活動の活動条件や詳細が分からないので、受け入れ出来ると言えません。
- ・教師の負担軽減の1案とは思いますが、地域のボランティアに丸投げするのではなく、予算の裏付けのある専任のスポーツ指導者を制度化するのがよいと思います。
- ・どこまで求められているのかよくわかりませんが、子供達が健全で安全な活動ができるよう協力したい
- ・部活動を既存の地域クラブ活動へ移行した際に生じるギャップや小学生から中学生、高校生、大人までの幅広い年齢層を抱えるスポーツクラブにとっては現在中学生の部活道に求められている教育的視点を踏まえた活動を同時に実行できるかどうかの判断は難しいと感じる。幸い神戸市では総合型地域スポーツクラブで各地域にスポーツクラブがあり、指導者も集めやすく、地域で小学生の頃から培ったスポーツを一貫して指導できるような地盤はあるのでうまく活用すれば、「地域での一貫した継続指導」がかなうのではないかと感じます。
- ・中学生の大会と地域クラブの活動が重なるとか面倒を見る人員構成とか問題点の洗い出しが必要かと思えます。
- ・事故の対応。受入れによる中学校と中体協との連携でどれだけの負担が発生するか？不明。
- ・中学教師の中には、放課後や休日のクラブ活動を積極的に関わりたいと思っている方もいると聞きました。その部分も考慮して欲しいと思います。
- ・スポーツから離れて行く中学生がかなり増えています。部活の活動を活発に、脳も身体も健康にと賛成してます！元気な子供達を増やしていければと思います！

	総数	回答数	OK返事の団体
スポーツ協会加盟団体	39	26	9（要検討含む）

スポーツ協会加盟団体代表者からのご意見

- ・神戸市内において少林寺拳法部が存在しないが、休日部活動行うことは可能であると考えます。
- ・大会は休日が多い。平日指導している教員の引率ができなくなると、中高生の大会参加において帯同審判をお願いすることができず、大会運営が困難になる。
- ・指導者と現場のマッチング、地域で活動するチームの大会参加、活動チームへの安定した活動場所の提供などが同時進行していく必要があると考えます。
- ・競技種目によりますが、市内の中学校での空手のクラブはほとんどない状況で、休日部活動の地域移行は非現実的です。休日部活動の地域移行ではなく休日部活動は全面廃止し、休日は学校部活動以外の各種スポーツに参加。それにより自分の特性を見出す機会が増すと思います。



文化芸術団体で活動中の方からのご意見

- ・ けが事故等をした時の責任
- ・ 今、中学校の美術科担当教師は時間講師がほとんど。芸術科の時間講師に部活の指導も出来るようにすべき。
- ・ 休日部活動を望んでいる方はどのくらいいるのか
- ・ 顧問側としてはどこまでの内容を求められるのか
- ・ 指導者は専門知識はあっても難しい年頃の生徒への接し方はどうなのか
- ・ 月に1回か2回位なら出来るが、毎週は無理
- ・ 部活の地域移行により、日本の伝統文化の一つである茶道を広めることができるのであれば、応援したいです。
- ・ 吸収力が早い若い学生さんたちが、専門的に専門分野の先生から学ぶことができる環境を整えてあげることは、とても大事な事だと思います。
- ・ 専門家が、教える事は、良い事だと思います。

- (1) 受け皿団体の確保 (地スポ・スポーツ団体・民間事業者等)
- (2) 学校部活動の整理
- (3) 教職員の兼職兼業
- (4) 文化部の方向性
- (5) 受益者負担のバラツキ

部活動の「地域連携」・「地域移行」について

神戸市教育委員会事務局

児童生徒課



神戸市における中学校部活動の現状・課題

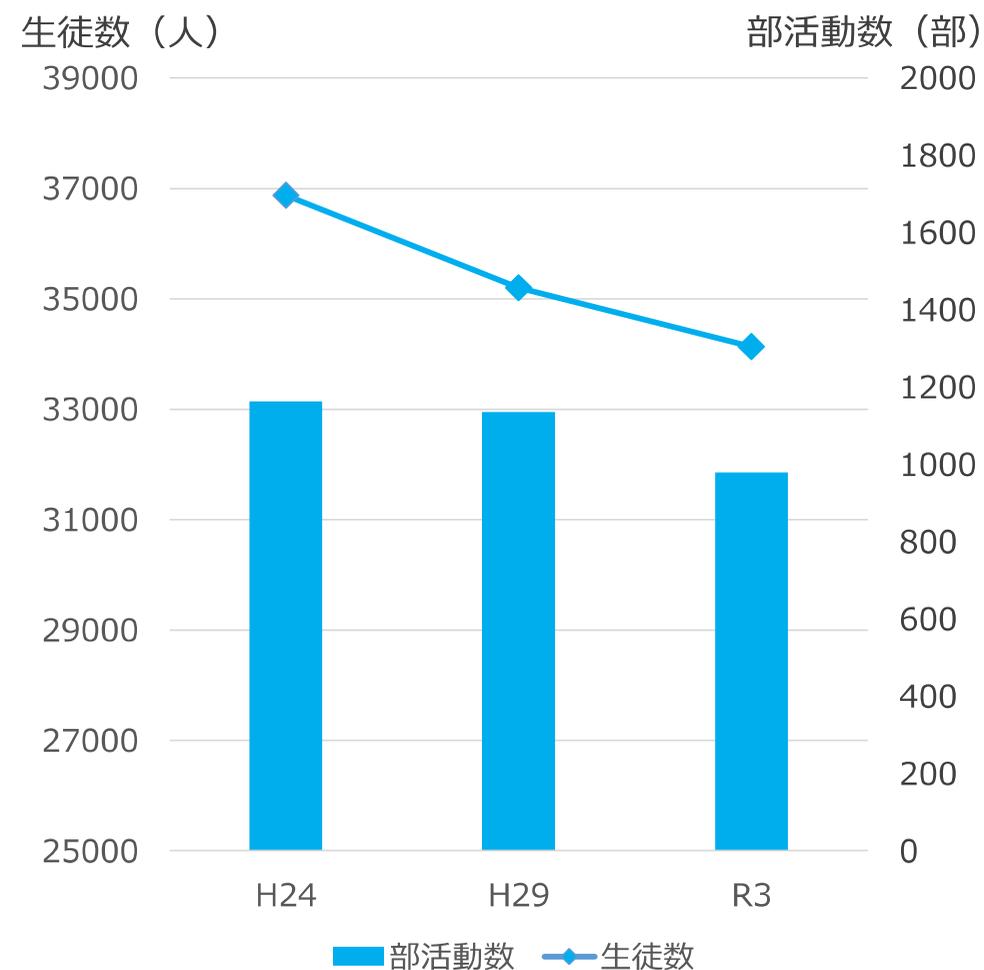
▶ 部活動数・生徒数の減少

→ 少子化に伴う生徒数自体の減少

地域クラブの発足に伴う部員の減少

(部員が集まらず大会に参加できない、練習ができないなど)

→ 今後、学校単位での部活動（特に団体
種目・活動）の継続が困難



神戸市における中学校部活動の現状・課題

(参考) 地域クラブの増加

- 兵庫県中体連が活動を認可したクラブ
全国大会につながる予選会に出場可能
- 今後、さらに増えていく可能性

※神戸市 認可21クラブ

陸上（1）、バレーボール（7）、バドミントン（4）、柔道（1）

ソフトテニス（2）、水泳（1）、剣道（1）、体操（1）、新体操（3）



神戸市における中学校部活動の現状・課題

▶ 競技・指導経験のない教員による指導

→ 生徒は十分な指導を受けられない



現在担当している部活動の経験 (R3.11月実施 部活動アンケートより)



国（文部科学省）の方針

休日部活動の地域連携・地域移行について早期実現を目指す

地域連携

- ▶ 外部指導員の配置
- ▶ 合同部活動の実施

地域移行

- ▶ 地域団体が主体となる
地域クラブ活動への移行

改革推進期間

R5

R6

R7



神戸市の部活動地域移行に向けた対応状況

地域運動部活動推進事業の実施（国からの委託事業）

R3

学校単位の部活動に、委託事業者から
専門的な部活動指導員を派遣

- ▶ 実施種目 男子卓球（住吉中）
陸上競技（鷹匠中）
女子ソフトテニス（大原中）
女子バレーボール（星陵台中・櫛谷中）
- ▶ 委託事業者 リーフラス株式会社

R4

拠点校部活動において、休日の部活動
業務全般を事業者へ委託

- ▶ 実施種目〔委託事業者〕
バスケットボール〔株式会社ストークス〕
硬式テニス〔株式会社 I T C〕
水泳〔コナミスポーツ株式会社〕



神戸市の部活動地域移行に向けた対応状況

「部活動の地域移行のあり方検討委員会」の開催

開催実績

①令和4年11月 ②令和4年12月 ③令和5年3月

検討委員

学識経験者、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、市民文化振興財団、市吹奏楽連盟、PTA連合会、民間事業者、学校

検討事項

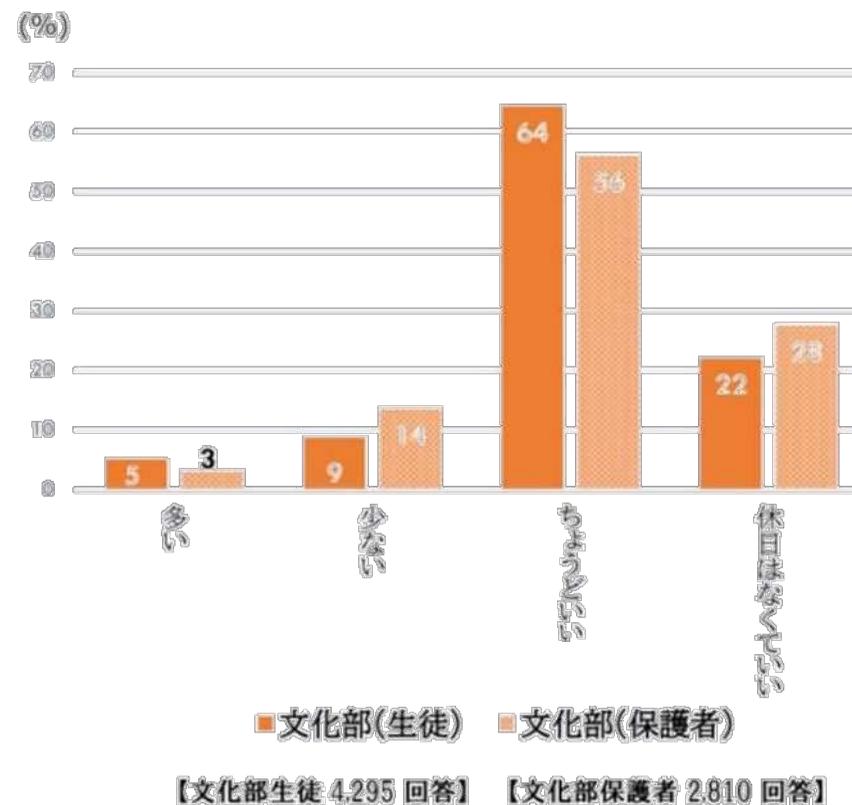
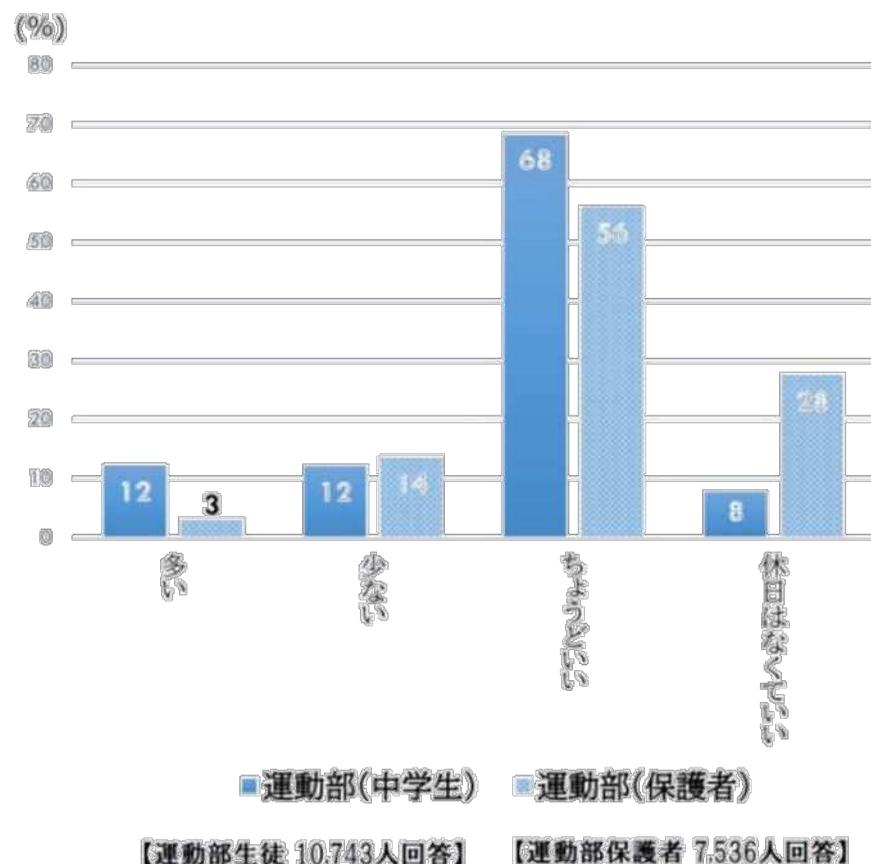
- ・生徒のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動の受け皿・指導者確保のあり方
- ・地域移行に伴う経済的負担のあり方
- ・平日部活動と移行後の休日活動との連携・調整のあり方 など



神戸市の部活動地域移行に向けた対応状況

地域移行に関するアンケートの実施（生徒・保護者）

休日の活動の日数や時間をどう思っているか(生徒と保護者の比較)



今後の取組

- ▶ **部活動の地域移行のあり方検討委員会の開催継続**
- ▶ **国や他都市の動向の注視**
- ▶ **地域クラブへの移行を見据えたモデル事業の実施**
- ▶ **検討内容に関する積極的な情報発信 など**



部活動の「地域連携」・「地域移行」に向けて

子供たちがそれぞれの個性や能力を伸ばし
社会性や人間性を育んでいける活動を目指します



垂水区における「合同クラブ」先行実施について

神戸市教育委員会事務局

児童生徒課



休日部活動の地域連携・地域移行について早期実現を目指す

地域連携

- ▶ 外部指導員の配置
- ▶ 合同部活動の実施

地域移行

- ▶ 地域団体が主体となる
地域クラブ活動への移行

改革推進期間

R5

R6

R7



休日部活動の地域連携・地域移行について早期実現を目指す

地域連携

- ▶ 外部指導員の配置
- ▶ 合同部活動の実施

地域移行

- ▶ 地域団体が主体となる
地域クラブ活動への移行

改革推進期間

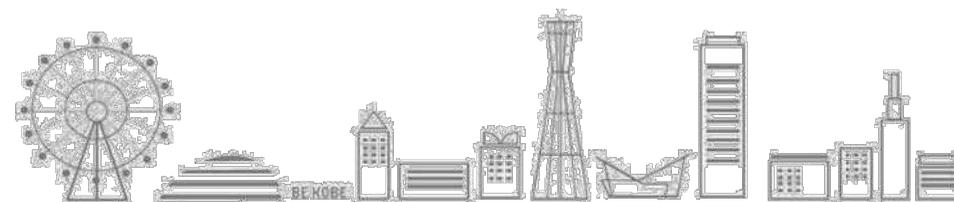
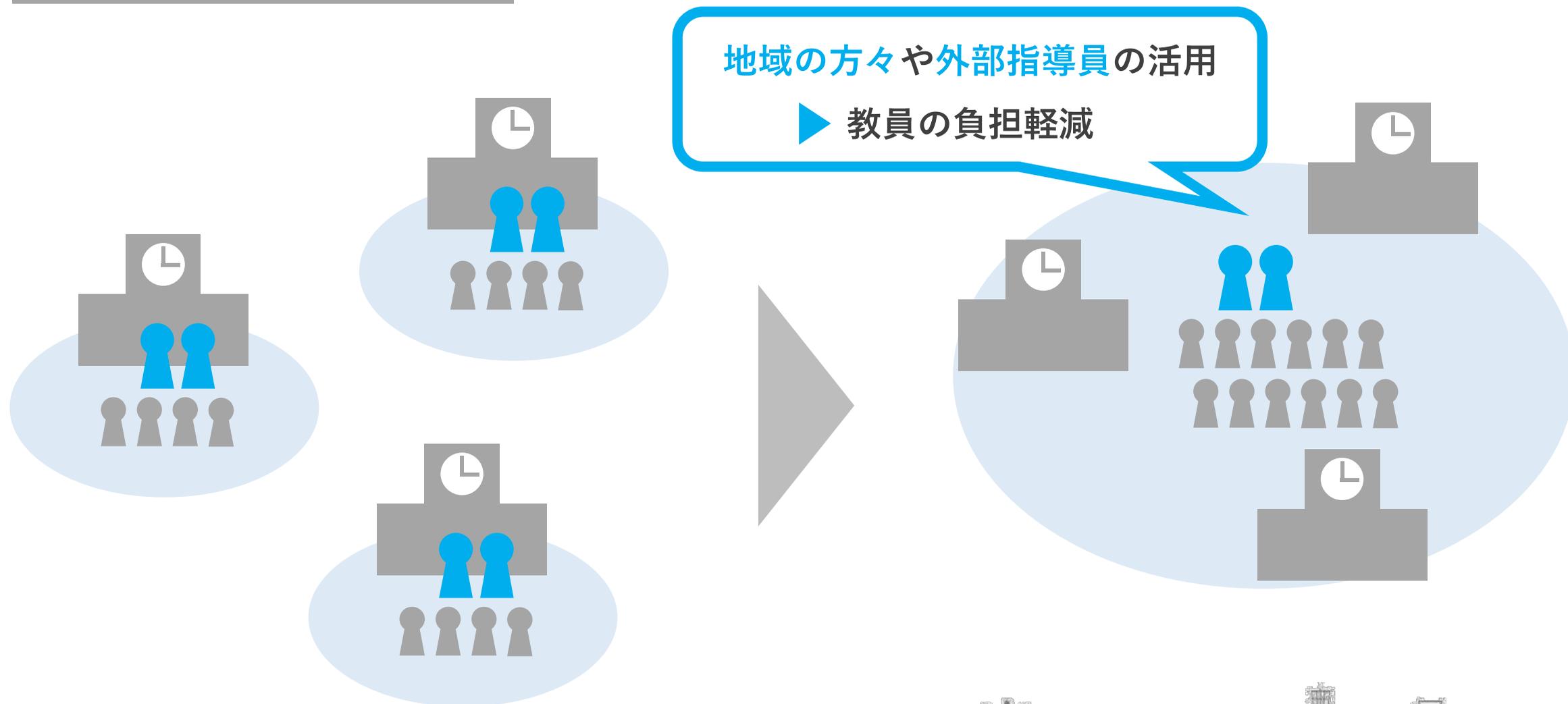
R5

R6

R7



「合同クラブ」の仕組み



垂水区での「合同クラブ」実施内容

期 間

令和5年9月～3月末（令和6年度も継続予定）

参加校

① 垂水中 星陵台中 福田中

② 多聞東中 本多聞中

▶ 学校間の距離が近い

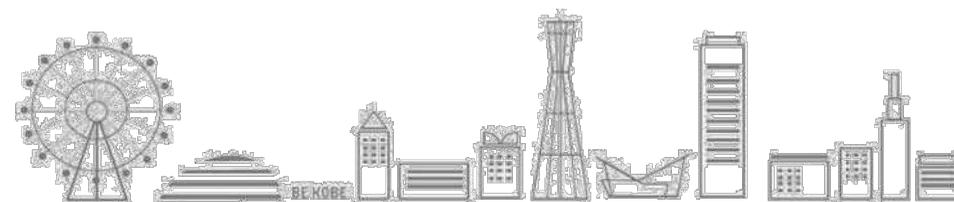
▶ 地域スポーツクラブが盛ん

費用負担

なし

対象種目

全13種目



垂水区での「合同クラブ」実施内容

実施回数

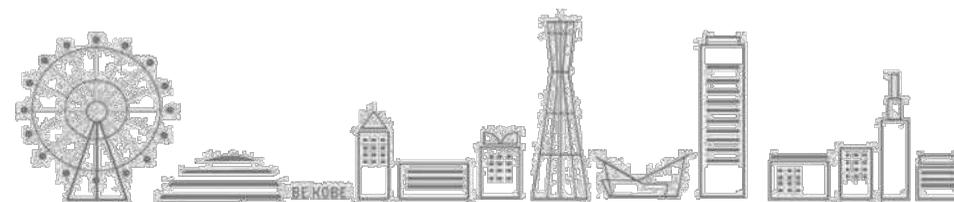
10回～15回（月2回程度、練習試合、公式戦などを配慮）

※休祝日の3時間／1回（活動日は、各種目で決定）

活動場所

↓黄色の学校が練習会場

垂水中	陸上競技	水泳競技	ソフトテニス男	ソフトテニス女	柔道	卓球男	卓球女		バスケ女	バレー男	バレー女		軟式野球
福田中	陸上競技		ソフトテニス男	ソフトテニス女	柔道					バレー男	バレー女	サッカー	軟式野球
星陵台中	陸上競技		ソフトテニス男				卓球女	バスケ男	バスケ女		バレー女	サッカー	軟式野球
多間東中	陸上競技		ソフトテニス男	ソフトテニス女			卓球女	バスケ男	バスケ女		バレー女	サッカー	軟式野球
本多間中	陸上競技	水泳競技	ソフトテニス男	ソフトテニス女	柔道	卓球男	卓球女	バスケ男	バスケ女	バレー男	バレー女	サッカー	軟式野球



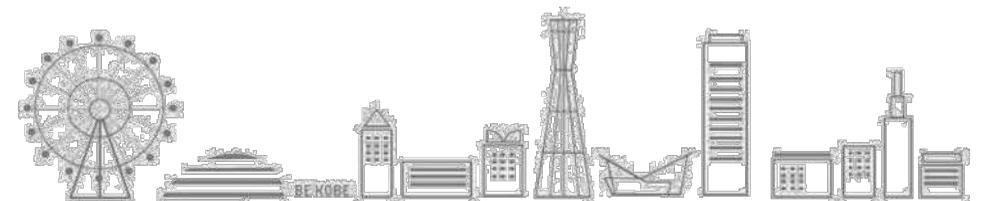
垂水区での「合同クラブ」実施内容

今後のスケジュール

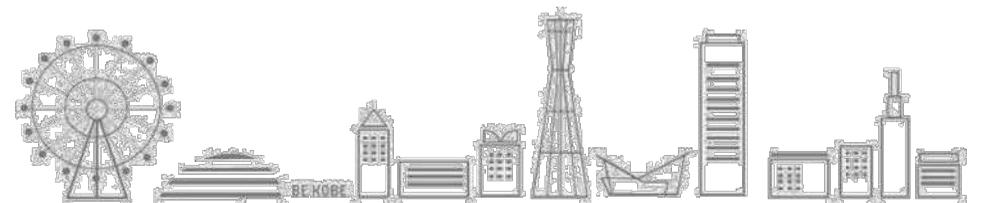
8月 保護者への説明（動画を予定）

質問受付、参加申込受付

9月 「合同クラブ」開始



今後の展開



垂水区「合同クラブ」の検証



垂水区内・近隣区への展開



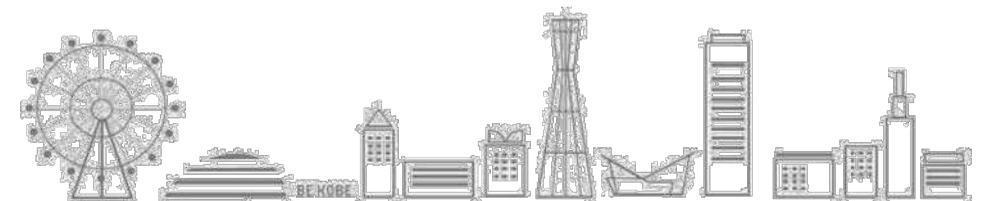
神戸市全域への展開



20××年 全市における休日部活動を地域移行



平日部活動への展開



部活動の「地域連携」・「地域移行」に向けて

子供たちがそれぞれの個性や能力を伸ばし
社会性や人間性を育んでいける活動を目指します



ご質問はこちら

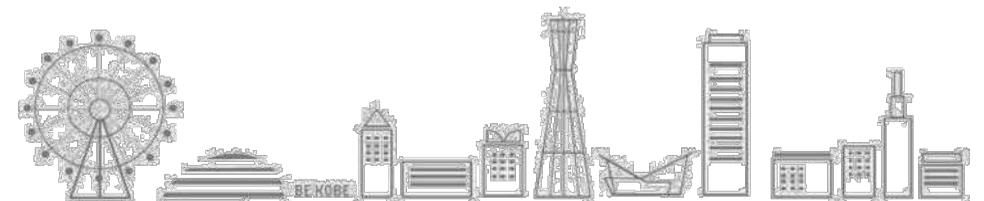


※ ご質問に対する回答は、

神戸市教育委員会HPに掲載いたします。



<https://forms.office.com/r/K3FYFge3nz>



学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や

地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）